官報 號外

大正十二年十二月二十四日(月曜日) 印刷局

第四十七回帝國議會 衆議院議事速記錄第九號

大正十二年十二月二十三日(日曜日)午後一時二十六分開議

議事日程 第八號 大正十二年十二月二十三日 午後一時開議

第一 大正十二年勅令第四百九號(承諾ヲ求ムル件)(府縣會議員任期ノ件)(貴族院送付)(委員長報告)

第二 非常徵發令(承諾ヲ求ムル件)(委員長報告)

第三 大正十二年勅令第四百五號(承諾ヲ求ムル件)(暴利取締ノ件)(貴族院送付)(委員長報告)

第四 大正十二年勅令第四百三號(承諾ヲ求ムル件)(治安維持ノ爲ニスル罰則ノ件)(貴族院送付)(委員長報告)

第五 農務省新設ニ關スル建議案(天春文衞君外九名提出)

第六 (特別報告第八號)乳製品輸入稅免除撤廢ノ請願(委員長報告)

第七 (特別報告第一九號)乳製品輸入稅免除撤廢ノ請願(委員長報告)

第八 (特別報告第二〇號)鴛泊漁港修築ノ請願(委員長報告)

第九 (特別報告第二一號)金鵄勳章年金額增加ノ請願(委員長報告)

第十 (特別報告第二二號)東京市魚市場ニ電信取扱郵便局設置ノ請願(委員長報告)

第十一 (特別報告第二三號)神戸村ニ無集配郵便局設置ノ請願(委員長報告)

第十二 (特別報告第二四號)岩國、德山間鐵道敷設速成ノ請願(委員長報告)

○議長(柏谷義三君) 諸般ノ報告ヲ致サセマス

〔原田書記官朗讀〕

一今二十三日政府ヨリ受領シタル答辯書左ノ如シ

衆議院議員志賀和多利君提出鐵道輸送ニ關スル質問ニ對スル答辯書

衆議院議員志賀和多利君提出官報ノ頒布方法ニ關スル質問ニ對スル答辯書

衆議院議員永井柳太郎君提出支那政府特派調查委員ノ資格及待遇ニ關スル質問ニ對スル答辯書

鐵道輸送ニ關スル質問主意書

右成規ニ據リ提出候也

大正十二年十二月十三日

提出者 志賀和多利君

贊成者 深見寅之助君 外三十一名

鐵道輸送ニ關スル質問主意書

九月一日ノ大震火災ニ因リ鐵道運輸ノ系統一時混亂ニ陷リ地方產業ニ至大ノ惡影響アルニモ拘ラス當局ハ優柔不斷今尙復舊ノ實ヲ擧ケス滯貨ハ各鐵道局管內ニ數十萬噸ヲ算シ之ヲ一掃スルノ期何レノ日ニ在ルカ測リ知ル能ハス依テ玆ニ左ノ各項ニ付政府ノ明快ナル答辯ヲ求ム

一 震災ノ鐵道運輸ニ及ホシタル災害程度

二 各區間ニ於ケル既往ノ輸送狀態

三 現在ニ於ケル輸送狀態殊ニ各鐵道局管內ニ於ケル出荷貨物ト配給車トノ數量

四 將來ニ對スル施設計畫

右及質問候也

大正十二年十二月二十三日

內閣總理大臣 伯爵山本權兵衞

衆議院議長柏谷義三殿

〔別紙〕

衆議院議員志賀和多利君提出鐵道輸送ニ關スル質問ニ對シ別紙答辯書差進候

衆議院議員志賀和多利君提出鐵道輸送ニ關スル質問主意書ニ對スル答辯書

一、震火災ニ因ル鐵道ノ被害ハ大體東海道線御殿場以東、中央線與瀨以東、東北線川口町及北千住以南總武線千葉以西及北條線ノ範圍ニ亙リ其ノ被害線路ノ延長三百四十有餘哩ニ達シ停車場驛舍ノ燒失又ハ大破シタルモノ六十有餘、車輛ノ燒損シタルモノ機關車百八、客車五百十七、貨車千二百三十六輛ノ多キニ及ヒ發變電所亦巽大ノ損傷ヲ蒙リタルノミナラス小運送機關ノ被害大ナルヲ以テ延テ運輸上言外ノ支障ヲ來セリ

二、震災ニ伴フ被害ニ對シ極力復舊ノ步ヲ進ムルト共ニ罹災者及救恤品ノ輸送ニ全力ヲ盡シタルモ秩序稍回復ノ緖ニ就キタリト認メラルル十月及十一月中ニ於ケル運輸量ト客年同期間トノ運輸量トヲ對比スレハ左ノ如シ

各鐵道局別乘車人員

	十一年度 十月	十二年度 十月	比較増減	十一年度 十一月	十二年度 十一月	比較増減
東京鐵道局	八、一四四、八三二	五、五〇〇、五六八	七、四〇五、七四六	一六、三七三、三〇〇	二四、三五五、二四六	七、九四二、〇三三
名古屋 同	五、一三八、八四九	五、一六八、一〇七	四九、二六八	一一、四〇七、五五五	一三、三〇二、六八一	二七二、六八一
神戸 同	九、三四六、三四二	九、四九八、一三八	一五一、六八六	七、一四四、九六九	七、一九九、四八〇	五四、五一一
門司 同	五、七四四、七二一	五、八四七、九一四	一〇三、一九三	四、八二一、五一〇	三七一、三三一	
仙臺 同	二、九八一、二七七	三、四一〇、八九八	四二九、六〇三	二、六六八、四四〇	三、〇五三、九八六	四二五、五六六
札幌 同	一、三四一、五八八	一、四七三、四〇八	一三一、八九〇	一、一四三、九七九	一、三〇八、四三一	一六四、四四二
計	四二、五七、七四九	五〇、九七九、二四四	八、四四一、三八五	三五、七六八、四六七	四四、九九九、一七六	九、一八〇、七一四

各鐵道局別發送噸數

	十一年度 十月	十二年度 十月	比較増減	十一年度 十一月	十二年度 十一月	比較増減
東京鐵道局	一、〇八、〇〇九	八七、六三	△三一〇、三七七	九九六、六三六	八〇八、一七四	△一八八、四六二
名古屋 同	五六三、五一三	五六三、八六八	△二九、六五五	五九三、八五五	五九九、八八〇	△三、八五五
神戸 同	七三七、四六〇	七三七、二六二	△二九、八〇三	七三〇、三六八	七三〇、八六六	△一四、五四二
門司 同	一、三九九、一〇六	一、三九四、二七八	△四、七二八	一、三九八、一〇六	一、三九八、一〇六	△五六〇
仙臺 同	四六五、〇七二	四九四、七一七	二九、六四五	四七五、九〇八	五〇三、三六五	二七、四五七
札幌 同	七三七、〇六三	七三七、〇六三	二九、八六五	六九八、九四八	六六八、六六三	二六、六六五
計	四、九三〇、四四四	四、七四四、八〇四	△一五五、六四〇	四、八四四、三三一	四、七四〇、九五五	△一四三、三六六

四、現在百三十万噸ノ在貨中驛構内ニ持込ミタルモノ約八十六萬噸即鐵道輸送力ノ約四日分ニシテ震災ニ因ル東海道及中央線ノ不通ト震災地ニ於ケル倉庫、小運送力ノ缺陷トニ因リテ此ノ如キ在貨ヲ見ルニ至リタルカ帝都ニ於ケル貨物小運搬力ハ水運ニ依ルモノヲ除キ著々恢復シ既ニ震災以前ヲ凌駕スルニ至リ各方面ニ於ケル鐵道輸送力亦極力増加ヲ計リツツアルヲ以テ燒失車輛ノ復舊、豫定新造貨車ノ落成、水運小運送力ノ増進ト共ニ在貨モ亦近キ將來ニ於テ漸次減少セシムル見込ナリ

右及答辯候也

大正十二年十二月二十三日

鐵道大臣　山之內一次

三、現在ニ於ケル輸送狀態殊ニ各鐵道局管內ニ於ケル出荷貨物ト配給車卽發送噸數トノ數量左ノ如シ

局別ノ在貨ト一日ノ發送噸數

十二月上旬

	在貨總噸數	內帶內ニ在ルモノ	發送噸數	對前年同上增減	割合
東京鐵道局	一二九、四一一	八五、五六一	二四、四〇一	△三、八四〇	△一〇〇
名古屋 同	四二、九三一	三三五、七〇三	二四、〇四〇	二、一四一	〇、九八
神戸 同	二六一、八〇三	二六、四一三	五一、七四〇	△一、四五七	△〇、〇三五
門司 同	一〇四、九一〇	五三、四二四	一、一三三	〇、〇三三	四四、〇九二
仙臺 同	三三、五二五	一八、九四四	八七七	〇、〇四六	三〇、四六
札幌 同	七〇、九九	四七、四〇三	三五、六三一	二六、四三七	一、四九三
計	一、三四、五一〇	八六、一〇二一	一八〇、九六八	△九二八	△〇、〇〇五

十二月中旬（十三日迄）

	發送噸數	對前年同上增減	割合
東京鐵道局	二四、八四〇	△三、一〇〇	三五、七三一
名古屋 同	二四、〇四〇	二、一四一	〇、九八
神戸 同	二六一、一〇三	△一、四五七	△〇、〇三五
門司 同	五一、七四〇	一、一三三	四四、〇九二
仙臺 同	三〇、四六八	三、三七七	〇、一九三
札幌 同	一、四九三	〇、〇四六	三〇、四六
計	一八〇、九六八	△九二八	△〇、〇〇五

但シ貨車ノ配給ハ獨リ出荷數量ノミニ據ルヲ得ス發送方面ニ於ケル操車、到著方面ニ於ケル荷役、途中ニ於ケル輸送、空車廻送ノ利用、輸送距離ノ長短等ヲ併セ考慮シ成ルヘク多量ノ物資ヲ目的地ニ輸送スルコトヲ計ルニ在リ

官報ノ頒布方法ニ關スル質問主意書

右成規ニ據リ提出候也

大正十二年十二月十三日

提出者　志賀和多利君

贊成者　深見寅之助君

外三十二名

官報ノ頒布方法ニ關スル質問主意書

官報ノ頒布方法ハ多年郵便ヲ以テ執行セシモノナリシカ近時之ヲ民間ニ請負ハシメタルカ爲配達漏等尠カラス殊ニ震災以後中央ハ勿論地方ニ至ル迄配達甚シク遲延シ爲ニ其ノ所載ノ法令等民生ノ利害ニ關シ一日モ緩ウスヘカラサルモアルニ拘ラス施行後數日ヲ經過スルニ非サレハ之ヲ知ルコト能ハサルノ狀態ニアリ斯ノ如キハ國家ノ意志ヲ中外ニ發表スル所以ニ於テ遺憾ナリト謂ハサルヲ得ス今ニ於テ改良シ郵便局ヲシテ其ノ頒布ノ申込竝配付ヲ執行セシムルコトハ緊切ノ要務ナリト信ス政府ノ所見如何

右及質問候也

大正十二年十二月二十三日

衆議院議長柏谷義三殿

衆議院議員志賀和多利君提出官報ノ頒布方法ニ關スル質問ニ對シ別紙答辯書差進候

內閣總理大臣　伯爵山本權兵衛

〔別紙〕

衆議院議員志賀和多利君提出官報ノ頒布方法ニ關スル質問ニ關スル答辯書

官報ノ頒布ヲ民間ニ請負ハシメタルハ頒布ヲ迅速且正確ニシ一面購讀ノ普及ヲ圖リ其ノ數ヲ增加セシメンカ爲ニ出テタルモノナリ販賣所中一、二配達不良ノモノアリシモ之カ監督ニ力メ

漸次其運用宜キヲ得ルニ至リ販賣部數ノ如キ郵送時代ニ比シ一割五分ヲ增加シ次第ニ普及ノ目的ヲ達シ來レリト信ス然ルニ不幸這般ノ震火災ニテ印刷局ニ於ケル官報ノ製造設備全燒シタル爲メ應急ノ手段トシテ現今ハ其ノ製造ヲ民間ニ委スルノ已ムナキニ至リ不如意ノ折柄加フルニ帝國議會ノ開會ニ際シテハ速記錄等モ亦同一工場ニ於テ印刷セシメサルヘカラサル爲メ一層製造方遲延ヲ來シ從テ官報ノ配達モ遲延スルコトナリ當局者大ニ苦心シ居ルトコロナリ目下政府ハバラック式ノ假工場ヲ建設シ從前ノ如ク印刷局自身之レカ製造ヲ爲シ購讀者ヲシテ不便ナカラシメサル樣鋭意準備中ナリ本年度末迄ニハ完備スヘク然ラハ配達ノ遲延スルコトナシト信ス尙配達漏等ニ付テハ販賣人ヲ督勵シテ官報頒布ニ付圓滿ナル執行ヲ期セムトス

右及答辯候也

大正十二年十二月二十三日

內閣總理大臣　伯爵山本權兵衞

支那政府特派調查委員ノ資格及待遇ニ關スル質問主意書

右成規ニ據リ提出候也

大正十二年十二月二十一日

提出者　永井柳太郎君

贊成者　加藤　定吉君

外二十九名

支那政府特派調查委員ノ資格及待遇ニ關スル質問主意書

一、十二月十五日ノ本會議ニ於ケル本員ノ質疑ニ對シ外務大臣ハ王正廷氏一行ノ來朝ハ支那人誤殺事件ノ調查ノ爲ニ非サルコトヲ聲明セラレタリ然ルニ王正廷、沈其昌、劉彥ノ三氏ハ本月十九日國際記者協會ノ席上中華民國政府特派調查委員ノ名ニ於テ外務大臣ノ聲明ニ全然反對ノ「ステートメント」ヲ發表シ其ノ來朝ノ使命カ支那人誤殺事件ノ實地調查ニ存スルコトヲ公言シタリ外務大臣ニシテ自他ヲ欺カルル精神アラハ十二月十五日ノ本員ニ對スル聲明ヲ取消サルルコト至當ナリト信ス外務大臣ノ所見如何

二、既ニ王正廷氏一行來朝ノ使命カ支那人誤殺事件ノ實地調查ニ存スルコト明白トナレルノミナラス同調查委員ノ任命ハ支那政府カ日本ノ警察權及司法權ヲ信任シ能ハスト爲ス精神ニ出テタルコトハ右「ステートメント」ニ依テ明白ナリ外務大臣ノ同調查委員ニ對スル態度如何

右及質問候也

大正十二年十二月二十三日

內閣總理大臣　伯爵山本權兵衞

衆議院議員永井柳太郎君提出支那政府特派調查委員ノ資格及待遇ニ關スル質問ニ對シ別紙答辯書差進候

衆議院議員永井柳太郎君提出支那政府特派調查委員ノ資格及待遇ニ關スル質問ニ對スル答辯書

一、十二月十五日ノ本會議ニ於ケル永井柳太郎君ノ質問ニ對シ本大臣ヨリ同君ハ王正廷氏カ共同調查ノ爲來邦シタルモノヽ如ク思考シ居ラルヽモ同氏ハ共同調查ノ全權ヲ有スルモノニアラサルコトヲ說明シタルニ過キス從テ王正廷氏限リノ所見發表ニ依リ之ヲ取消スヘキ限ニアラス

二、王正廷氏一行ノ來邦ハ何等我警察權又ハ司法權ニ觸ルヽ所ナシト認ム

右及答辯候也

大正十二年十二月二十三日

外務大臣　男爵伊集院彥吉

一、今二十三日貴族院ニ於テ本院ノ送付ニ係ル左ノ政府提出案ヲ可決シタル旨同院ヨリ通牒ヲ受領セリ

東京帝國大學臨時政府支出金繰入ニ關スル法律案

帝都復興事業ノ施行ニ伴ヒ支拂フヘキ金額ヲ國債證券ヲ以テ交付スル等ニ關スル法律案

震災善後公債法案

（左ノ報告ハ朗讀ヲ經サルモ參照ノ爲玆ニ揭載ス）

一、昨二十二日保險會社ニ對スル貸付金ニ關スル法律案外一件委員板野友造君辭任ニ付其ノ補闕トシテ渡邊昭君ヲ臨時物資供給令（承諾ヲ求ムル件）外一件委員上田彌兵衞君辭任ニ付其ノ補闕ドシテ守屋松之助君ヲ孰レモ議長ニ於テ選定セリ

○議長（粕谷義三君）　是ヨリ會議ヲ開キマス、此際御諮リヲ致シタイコトガアリマス、昨日中野寅吉君ノ御演說ノ中ニ、其用語ニ付テ鈴木錠藏君ヨリ削除ノ希望ガアリマシタ、議長ニ於キマシテモ注意シテ取調ブル旨ヲ申シ置キマシタガ、其後速記ノ原稿ニ依ッテ見マスト、如何ニモ不用意ノ言ガ數點アルヤウニ認メタノデアリマス、此點ハ速記錄ヨリ削除ヲ致スガ宜シカラウカト認メルノデアリマスガ、尙ホ其其箇所ニ付キマシテハ、特ニ此件ニ限リマシテ、議長ニ御一任ヲ願ヒタイト思ヒマス、御異議アリマセヌカ

（「異議ナシ」「異議ナシ」ト呼フ者アリ）

○議長（粕谷義三君）　御異議ナシト認メマス、仍テ左樣ニ取計ヒマス、尙ホ昨日橫山勝太郎君ヨリ、火災保險金貸付ニ關スル委員會ノコトニ付キマシテ、議長ニ對シテ御希望ガアリマシタ、仍テ委員長ニ其事ヲ傳ヘマシタ所、委員長ヨリ說明ヲ致スト云フコトデアリマス、此際廣岡委員長ノ發言ヲ許シマス——廣岡宇一郎君

○廣岡宇一郎君　其前ニ一寸伺ツテ置キマス、私ハ丁度昨日缺席ヲ致シテ居リマシタ、本日新聞紙デ見マシタガ、ドウモ要領ヲ得マセヌ、横山君ノ御要求ハドウ云フ事柄デアリマスカ、今一應御確メヲ願ヒタイ

○横山勝太郎君　議長

○議長(柏谷義三君)　横山君何デスカ

○横山勝太郎君　簡單デゴザイマスカラ……

○議長(柏谷義三君)　只今アナタノ御發言ニ付テ委員長ノ方ニ傳ヘタノデアリマス、アナタ御述ニナリマスカ

○横山勝太郎君　(議長カラ仰シヤツテ下サレバソレデ宜シウゴザイマス

○議長(柏谷義三君)　昨日ノ横山君ノ御發言ハ斯ウ云フノデアリマス、「極テ簡單デアリマスカラ、此席カラ御許ヲ願ヒマス、只今承ル所ニ依リマスト、火災保險貸付金ニ關スル委員會ニ於キマシテ、其内容ハ能ク分リマセヌガ、審議ヲ停止スルト云フ意味ノ決議ヲシテ散會ヲシタト云フコトヲ承リマシタ、私ノ信ズル所ニ依レバ、委員會ニ於テ審議ヲ停止スルト云フガ如キ決議ヲ爲スト云フコトハ、法規ノ許サヾル所デアリマスルノミナラズ、今回ノ罹災者ニ對シテ甚ダ不深切千萬ナルコトデアルト私ハ思量致シマス、此故ニ其内容等ヲ能ク存ジマセヌガ、議長ニ於カレマシテ其眞相ヲ至急ニ御確メノ上デ、成ベク速ニ其審議ヲ進メテ、サウシテ其決ヲ得ルヤウニ御取計ヒヲ願ヒタイト思ヒマス、之ヲ議長ニ請求シテ置キマス」斯ウ云フ意味デアリマス——廣岡宇一郎君

〔廣岡宇一郎君登壇〕

○廣岡宇一郎君　横山君ノ御發言ニ對シテ一言致シマス、只今議長ヨリ承ル所ニ依レバ、審議中止ノ内容ガ分ラヌ、是ガ一ツ、今一ツハ議會ニ於テ審議ヲ中止スルコトハ法規ノ許サヾル所デアル、此二ツノヤウニ伺ヒマス(横山勝太郎君「委員會ニ於テデス」ト呼フ)委員會ニ於テ——此内容ヲ申上ゲル前ニ、委員會ニ於テ審議ヲ中止スルト云フコトガ法規ニ反スルヤ否ヤト云フコトニ付テ一言致シテ置キマスガ、此處デ徒ニ法律論ヲ鬪ハスコトハ甚ダ面白キコトデハナイト思ヒマス、唯、議會ノ先例ヲ見マスレバ、從來斯樣ナ事ハ幾度モアリマス、第三十四議會、第十六議會、第十四議會、其他委員會ニ於テ審議ヲ中止シタ先例ハ歷々トシテアリマス、殊ニ此法案ハ最モ能ク似テ居ル、適用スベキ先例ト認ムベキハ第十六議會ニ於キマシテ、會期ハ三十五年ノ三月九日ニ終了スルノデアリマス、會期ノ終了ハ三月九日デアルガ、其數日前、卽チ二月二十五日ニ於テ、倉庫營業ニ關スル法律案ト云フモノガ議會ノ委員會ニ附セラレテ居リマシタガ、法案不備ニ付審査中止ノ決議ヲ爲シテ、委員會ヲ終了シタリト云フ先例ガアリマシテ、最モ今回ノ法案ニ適用シ得ベキ先例ト考ヘテ居リマス、此一例ヲ擧ゲマスレバ此上——横山君モ法律家デアリマスカラ法律論ヲ鬪ハシテモ宜シイケレドモ、左樣ナル時間ヲ持チマセヌ、左樣御承知ヲ願ツテ置キマス、是ヨリ委員會ノ經過ニ付テ御話ヲ致シタイノデアリマスガ、經過ト云フヨリハ寧ロ中止ノ内容ガ御聽キニナリタイト云フヤウニ承ツテ居リマス、中止ノ内容ヲ御話シマスレバ、隨テ其經過ガ分ル譯デアリマス、其中止ノ内容ハ何カト云ヘバ、中止ニ關スル討論ノ贊否兩樣ノ議論ヲ御紹介スレバ、内容ガ明瞭ニナルコトト思ハレル、玆ニ其大要ヲ御紹介致シマス、卽チ委員會ハ連日此案ニ對シテ審議ヲ致シ、殊ニ東京、横濱數十萬ノ罹災者ノ利害ニ關スルコト頗ル大、且ツ我國ノ經濟界ニ及ボス影響モ甚ダ尠カラザル重要ノ要件デアリマスガ故ニ、此案件ヲ審議スルニ方ツテハ、互ニ最モ深甚ノ注意ヲ拂ヒ各派ノ諸君ト共ニ曾ニ質問應答ヲ重ネタルノミナラズ、或ハ筆記ヲ廢シテ懇談會ヲ催シ、或ハ祕密會ト爲シテ政府ノ了解ヲ得ルニ努メ、各派ノ協調ヲ保ツコトニ努力致シタト云フコトモ、各派委員諸君ノ十分ニ諒セラル、所デアリマス、横山君ノ屬スル憲政會ノ方ニモ、此點ニ付テハ非常ニ御努メニナツタ、然ルニ昨日ニ至ツテ熊谷直太君ヨリシテ、此審査中止ノ動議ガ出マシタ、此審査中止ノ動議ナルモノハ如何ナル理由ニ依ツテ出來タノデアルカト云ヘバ、第一ハ此法案ハ種々ナル不備缺點ガアル、其中ノ主ナルモノヲ列擧スレバ、第一ニ此法案ハ社會政策的ノ施設ヲ缺イテ居ル、一億八千万圓ト云フ巨額ノ金ヲ出シテ罹災者ヲ救助スルノデアルガ、其損害額ノ如何ニ拘ラズ悉ク一割ノ支拂ニナツテ居ル、今日三百圓ヤ四百圓ノ保險ヲ附ケテ居ル人ニ、三十圓ヤ四十圓ノ金ヲヤツタ所ガ何モ救濟ニナラヌ、是ハ寧ロ大口ノ人ノ割合ヲ少クシテ、小口ノ人ニ率ヲ多クスルト云フコトガ最モ必要デアル、五千圓以下ノ保險ヲ附シタ人ハ百分ノ九十、卽チ九割ヲ占メテ居ル、此九割ヲ占メテ居ル所ノ少額ノ被保險者ガドレ程ノ金ヲ持ツテ歸ルカト云ヘバ、百分ノ三十ニ該當スル金ヲ持ツテ歸ル、後ノ百分ノ七十ト云フモノハ十分ノ一ニ該當スル人ニ支拂ハレルト云フコトニナツテハ、本案ノ國家ガ斯樣ナ莫大ナ金ヲ支出シテ以テ、救濟ヲスルト云フ意味ニ於テ、甚ダ徹底セザルモノガアル、是ガ其一ツデアリマス、其二ハ本案ハ會社ガ見舞金ヲ出スノデアル、見舞金ト云フ以上ハ、是ハ恩惠的ノモノデナケレバナラヌ故ニ、被保險者ニ對シテ普ク一割ノ割ヲ以テ唯、之ヲ恩惠的ニ出スト云フナラバ、是ハ分ツテ居リマス、併ナガラ一面ニ於テハ此見舞金ヲ出スト同時ニ、保險證券ト云

フモノヲ會社ヘ取上ゲナケレバ渡サヌノデアル、サウスルト云フト、司法省ノ調査ニ依リマシテモ發火ノ原因ガ放火ニ基クガ如キモノハ澤山アル、又其他ト雖モ商法ノ規定ニ依ツテ、會社ニ對シテ請求權アリト主張シテ居ル者ガ多々アルノデアル、之ヲ今日是等ノ罹災者ノ窮境ニ在ルニ乘ジテ、サウシテ此見舞金ニ依ツテ保險證券ヲ取上ゲルトカ云フガ如キ事ハ、人ノ窮狀ニ乘ジテ以テ訴訟ノ請求權ト云フモノヲ拋棄サスト云フ結果ニナルノデアル、或ハソレハ人ノ自由デアルト言フカモ知ラヌ、自由デアルト言フカモ知レナイガ、何等カノ手段ヲ以テ必ズ之ヲ捲上ゲテシマフ、全部捲上ゲルト云フコトニ此法律ガ成立ツテ居ルト云フ事柄ハ、全部ノ保險即チ一億八千万圓ヲ計上シテアル上カラ見テモ明瞭デアル、斯ノ如キ事柄ハ嘗ニ不合理デアルノミナラズ、保險證券ノ大部分ト云フモノハ銀行其他ニ擔保ニナツテ這入ツテ居ル、故ニ此保險證券ト引換ニ見舞金ヲ渡スト云フコトニナレバ、債權者ノ懷ロニ金ハ這入ツテシマツテ、眞ニ目下ノ窮境ニ陷ツテ居ル所ノ罹災者ハ殆ド何ノ得ル所ハナイ、罹災者ノ救濟ニアラズシテ、罹災者ノ債權者ノ救濟ニナルノデアル、是亦大ニ考慮ヲシナケレバナラヌ點デハナカラウカ、更ニ此貸付金ト云フモノハ、保險會社ガ法律上支拂ノ義務ノ無イモノデアル　行政官廳ニ於テモ斯樣ニ解釋シテ居ル、震災約款ノ有效デアル、法律上支拂ノ義務ハ無イノデアルケレドモ、此目下ノ憐ムベキ罹災民ニ對シ、會社ハ犧牲的精神ヲ發揮シテ見舞金ヲ出スノデアル、而モ其資力ガ無イカラ國家ノ援助ヲ得タイ、斯樣ニ言ウテ居ル、是モ善イ事デアラウ、然ラバ保險會社ハ眞ニ支拂ノ能力ガ無イカト云ヘバ、少クモ其或ル二三、若クハ四五ノ會社ニ於テハ綽々トシテ餘裕ガアルノデアル、保險金ノ全部ヲ支拂ツテモ尙且ツ餘裕ノアル會社ガアル、是等ノ會社ガ其積立金、其他莫大ナル資金ヲ如何ニ運用シテ居ルカト云ヘバ、或ハ七朱、八朱若クハ一割ノ高率ニ之ヲ廻シテ以テ會社ハ利殖ヲシテ居ル、此會社ニ對シテ、尙ホ年二朱ノ低利ヲ以テ、長期ノ貸付金ヲセナケレバナラヌカドウカ、政府ノ說明スル所ニ依レバ、政府ノ公債ノ利廻リハ概シテ七朱デアルト云フ、之ヲ二朱トシテ貸セバ五分位ノ利鞘ノ損ヲスルノデアルガ、一億八千万圓ニ對シテ利子ダケデモ年々九百万圓ト云フモノヲ吾々國民ガ負擔ヲシナケレバナラヌノデアル、之ヲ資力豐富ニシテ、今日十二圓五十錢、二十五圓ノ拂込ノ株券ヲ、七百万圓モ八百万圓モ持ツテ居ル會社ニ、尙ホ長期貸金ヲシナケレバナラヌト云フ理由ハ一體何處ニ在ルカ、是等モ其主ナルモノデアリマス、（「政友會ノダ」ト呼フ者アリ）政友會ノ熊谷君ノ提案ノ理由ヲ說明シテ居ルノダ、（「報告デスカ」ト呼フ者アリ）議會ノ報告デハアリマセヌ、默ツテ御聽キナサイ、殊ニ此貸金ト云フモノハ、會社ノ貸借對照表ニ計上シナイコトニナツテ居ル、斯ノ如キコトガアリマシテハ、其會社ノ資產狀態ハ不明瞭ニナツテ、會社ノ信用ガ漸次減少シテ、遂ニ弱小ナル所ノ會社ハ是ガ爲ニ倒產スルヤウナ結果ニモナリハシナイカ、斯樣ナ種々ナル理由ニ於テ、此法律ニ於テハ非常ナル缺陷ガアル、殊ニ此以外ニ保險ヲ附シテナイ所ノ罹災者、又ハ單ニ火災ニ罹カラズシテ、地震ノミニ因ル所ノ被害者ト云フモノガ、東京ハ申スニ及バズ、埼玉ナリ或ハ千葉縣、神奈川縣、靜岡縣等ニ多々アルノデアル、是等ノ者ノ救濟ヲシナケレバナラヌノデアルカラ、單ニ保險ヲ附シタル人ノミノ救濟ヲ爲スト云フ事柄ハ穩當デナイ、或ハ是等ノ施設ハ徐ロニ他ノ方策ニ依ツテ宜イト云フノデアルケレドモ、而モ來ルベキ通常議會ニ於テハ、是等ノ政策ハ相當ナル考慮ヲ以テ政府ガ提案ヲスルト云フノデアルカラ、是等ノ一般計畫ヲ見テ、サウシテ此案ト兩々相對シテ互ニ其並行ヲ保チ、均衡宜シキヲ得ル程度ニ於テ之ヲ爲スモ、未ダ晚シトセヌノデアル、若シ又其上ニ於テ更ニ財政上大ニ餘裕ガアルナラバ、尙ニ一億八千万圓ノミナラズ、之ヲ更ニ增額スルコトモ一向差支ナイノデアル、他ノ一般ノ計畫ノ定マラザル時ニ當ツテ、此巨額ナル金ヲ支出シテ、之ニ依ツテ此問題ヲ先ニ決シタガ爲ニ、他ノ問題ノ解決ノ妨害ヲ與フルト云フヤウナ事柄ハ、吾々ノ執ルベキ途デハナイ、殊ニ此火災保險ノ貸金ニ付テ、特ニ此年末ニデモ渡スコトガ出來テ、目下ノ窮境ニ在ル所ノ罹災者ガ目前ニ、直ニ救フコトガ出來ルト云フ名案ガアルナラバ兎モ角モ、本法ノ如ク今日十二月何日迄——是カラ更ニ會社ト協定ヲ爲ス、或ハ辨濟方法ニ依ツテ農商務大臣ガ說明セラレテ居ル所ノ共濟辨濟ノ規約ヲ設ケ、之ニ各組合ノ協調ヲ得テ以テ農商務省ガ更ニ之ニ認可ヲ與ヘテ、サウシテ是等ノ一切ノ手續ヲ爲スト云フニ至ツテハ、到底之ヲ短時日ノ間ニ實行スルコトガ出來ナイ、既ニ短時日ノ間ニ實行スルコトガ出來ナイトスルナラバ、來ルベキ通常議會ノ初メニ於テ更ニ一般計畫トモ之ヲ對照シ、案ノ內容モ修正シテ、徐ロニ之ヲ決スルトスルモ未ダ晚シトセヌノデアル、斯樣ナ事柄デアツテ、殊ニ吾々ハ只今擧ゲタ缺點ノ全部ヲ直ニ實現スルコトガ困難デアルナラバ、憲政會ノ諸君モ頻ニ主張シ、或ハ革新俱樂部ノ人ガ主張スル此社會政策的ノ施設ヲ加ヘル、是ダケデモ加ヘテモ出來ルモノナラバ、通過ヲシタイト云フコト迄諮ツタノデアル、併ナガラ之ヲ政府ニ交涉シマシテモ、政府之ニ應ジマセヌ、應ジナイト云フノハ何デアルカ、政府之ニ應ゼズトモ議會是ナリト信ジタナラバ、之ヲ修正スレバ宜イ筈デアル、元來此法案ハ政府ト會社トノ間ニ或ル諒解ヲシテ、或ル協約ヲ

爲シテ、其協約ヲ原因トシテ出テ來テ居ル法案デアリマス、故ニ政府ト議會ガ協議ヲ致シテ居ル法律ヲ修正シテモ、會社ガ横ヲ向イテ承諾セザル限リハ實行不可能ニ陷ル、ドウシテモ政府ト會社ノ役員ヲ二十人モ三十人モ後ニ呼ンデ　テ、此同意ヲ得ナケレバ修正ヲシテモ實際實行ノ出來ナイト云フ、帝國議會始マツテ以來ノ珍奇ナル法案デアルト云フコトヲ玆ニ知ラナケレバナラヌ(拍手)ソコデ革新俱樂部ノ明敏達識ノ方デアリマス植原君ハ、法律ハ直サヌデモ宜イカラ政府ハ是ダケノ希望ヲ附ケレバ宜イ、是ハ寔ニ植原君ニ似合ハヌ話、法律デ百分ノ十、卽チ一割ノ金ヲ拂フト云フコトヲ決メテ置イテ、政府ニ希望シテ手加減ヲセイ、政府ガ出來マスカ、一體ドウモ實ニ植原君トモアラウ方ニシテハ、餘程奇妙ナ議論ヲ聽イタモノト私共ハ委員長トシテ左樣ニ心得マシタ、斯ウ云フヤウナ譯デアリマシテ、此案ハ中止スルト云フ提案ヲサレタ、之ニ對シテ反對ヲ爲サレタノハ憲政會ト革新俱樂部ノ方デアルガ、革新俱樂部ノ植原君ノ如キモ反對ハサレテ居リマスケレドモ、此法案ノ缺點ノアルト云フコトハ明ニ言ハレテ居ル、又質問應答ノ際ニ於テモ、種々ナル缺點ヲ指摘サレテ居ルコトガ明カナノデアリマス、唯缺點ガアル、通過ハサスガ、只今言フ所ノ社會政策的ノ施設、是ダケハドウシテモ承知ハ出來ヌカラ、之ヲ希望條件トシテ通過シタイト云フ意味ニ於テ反對シテ居ル、是ハ法律ヲ拵ヘテ置イテ政府ニ法律ヲ破レト云フ注文デ、遂ニ衆議ノ容ルヽ所トナラナンダ、憲政會ノ諸君ノ反對ハ、ドウモ十分ナ反對ノ理由ハ分ラナイガ、兎モ角モ此際デアルカラ成ベク早ク解決ヲシタイト云フ御趣意ニ承ツタ、併ナガラ憲政會ノ諸君ノ中デモ賴母木君ガサウ云フ意見ヲ述ベラレタガ、從來ノ質問應答ノ結果ヲ見マスレバ、憲政會ノ諸君モ此法案ニハ多大ノ缺點アルコトハ御承知デ、又屢〻之ヲ指摘サレテ居ル、殊ニ加藤君ノ如キハ、此法案ノ如キモノニ依ツテ、到底今日ノ罹災者ト云フモノヲ救濟スルト云フコトハ出來ヌノデアルカラ、ドウシテモ保險官營ニ依ツテ此問題ヲ解決シナケレバナラヌト主張サレテ居ル、隨テ保險官營ニ關スル建議案ヲ出サレテ、同ジク委員會ニ付託サレテ居ツタ、所ガ此法案ガ中止ニナルト同時ニ、此法案ガ中止ニナルノナラバ自分ノ建議案モ中止シテ、更ニ通常議會デ審議ヲシテ貰ヘバ宜イカラト云フ發案者ノ御意見ニ依ツテ中止シタノデアル、斯樣ナモノデアル、卽チ此案ニ反對トモ何トモ言ハヌケレドモ、保險官營ニアラズンバ此問題ヲ解決ガ出來ヌト云フ以上ハ、本法ノ如キモノヲ通過サシテモ何ニモナラヌト云フコトハ、加藤君ノ一般ノ行動言議ニ依ツテ明瞭デアルト思フ、更ニ賴母木君ガ昨日反對サレマシタガ、昨日反對サレル迄ニハ、審議未了ノ儘此議會ヲ經過シヤウデハナイカト云フコトヲ再三吾々ニ交涉ガアツタ、昨日採決ノ前ニ、君ノ所ハドウカ、多分審議未了ニナルダラウト言ツタラ、ソレデハソレデ纏メテ吳レト云フコトマデ言ツテ、控室ニ行ツテ委員長ハ暫ク委員會ノ開會ヲ待ツタヤウナ譯デアリマス、顧フニ憲政會ノ諸君ハ、此案ニ對スル一定ノ定見ガ無イノデアル、政友會ガ右スレバ左シ、政友會ガ左スレバ右シ、政友會ニ反對スル事ヲ以テ能事ト考ヘテ居ルノデハナイカ、斯ノ如キ論議ハ國家民人ノ爲ニ深憂ニ堪ヘマセヌ、以上御報告致シマス(拍手)

○議長(粕谷義三君)　只今議事進行ニ付テ發言ヲ求メラレテ居リマス、植原悅二郎君

〔植原悅二郎君登壇〕

○植原悅二郎君　火災保險ノ問題ハ恐ラク此臨時議會ニ於ケル所ノ是モ重大ナル所ノ案件デアリマス、其解決ノ如何ハ、嘗ニ被保險者、保險會社ノ問題ニ關スルバカリデナク、罹災地ハ勿論、帝國ノ全體ノ經濟復興ニモ重大ナル所ノ影響ヲ有スル問題デアリマス、此問題ヲ委員會ニ於キマシテ審議致シマシテ、只今此議場ニ於テ事實明瞭トナツタ如ク、委員會ニ於キマシテハ政友會ノ熊谷直太君ガ、是レ以上審議ヲ續行セシメズト云フ動議ヲ提出サレマシテ、政友會ノ方ノ贊成ニ依リマシテ其動議ハ成立致シマシタ、凡ソ一ノ案ガ委員會ニ付託サレルノハ、議會ガ之ヲ委員會ニ付託シ、其委員會ニ於キマシテハ其審議ヲ進メマシテ、決定致シマシタナラバ、之ヲ議場ニ報告致サナケレバナリマセヌ、故ニ私ハ此問題ガ必ズ議場ニ報告サルベキモノト信ジマシテ、是ハ個人デハアリマスガ、昨日委員會ノ終了後ニ議會ニ報告ナサルカト申シマシタ所ガ、委員長ハ報告セヌト云フ御話デアリマシタ、是ハ個人ノコトデアリマスカラ、別ナ問題ト致シマシテモ、今日ノ公報ヲ見マシテモ、既ニ昨日火災保險ノ委員會ニ於キマシテハ、是レ以上此審議ヲ進行セシメズト云フ動議ヲ出シ、其動議ガ成立致シマシテ、委員會ニ於テハ結了致シテ居ル問題デアリマス、結了シテ居ル問題デアルト致シマスナラバ、必ズヤ之ヲ議會ニ報告シナケレバナラナイモノデアルト云フコトヲ信ジテ居リマス、ソレヲ報告セズニ、其儘之ヲ棄テ置クト云フコトハ出來ナイ筈、議長ニ於カレマシテモ、左樣ナ場合ガ起リマシタナラバ、院議ノ付託ニ依リマシテ、審議ノ委託サレタ所ノ委員會ガ、其審議ヲ進メルコトガ出來ナイト云フコトデアルナラバ、或ル意味カラ申シマスレバ、其委員會自ラガ審議ヲ進メル所ノ能力無シト自決シタモノト同一デアリマス、故ニ斯樣ナ場合ガアリマシタトスルナラバ、議長ハ此問題ヲ院議ニ諮リマシテ、更ニ特別ノ委員ヲ選ンデ此案ノ審議ノ進行ヲ圖ラナケ

レバナラナイノデアリマス、此問題ノ重大ナルコトハ、只今委員長タル廣岡君モ此處ニ於テ縷々申述ベラレマシタ、私ハ如何ニ此問題ガ重要デアルカ、其理由ヲ簡單ニ申述ベテ、而シテ此議事ノ進行ニ付テ私ハ議長ニ御尋致シタイノデアリマス、政友會ノ諸君ハ、政府提出ノ此法案ニ付キマシテハ、五千圓以下ノ被保險者ハ總テノ件數ノ九割ヲ占メテ居ル、サウシテ其金額略ゞ三分ノ一ニ達シテ居ル、然ルニ之ヲ一樣ニスルノハ不都合デアル、ソレ許リデナク被保險者以外ノ罹災民ノ問ニ、被保險者以外ノ罹災民ニ一層困難ニ陷ツテ居ル者ガアル、此問題ヲモ併セテ解決シナケレバナラヌト云フ御意見ノヤウニ承ハレマシタ、私共斯樣ニ考ヘテ居リマス、保險ノ問題ヲ此儘ニ法理上ノ爭ニシテ置クコトナラ別問題デアリマス、震災後三箇月ヲ經過シタ今日ニ於キマシテ、日本全國ノ輿論ヲ見テモ保險ノ問題ヲ此儘ニ拋擲シテ宜イト云フ議論ハ一ツモアリマセヌ、又十日、十一日間ニ於ケル委員會ノ議論ヲ一々判斷致シマシテモ、保險ノ問題ヲ此儘ニ、スツポリカシテ置イテ差支ナイト云フ御議論ハ一ツモナイヤウデアリマス、何トカ致シテ此保險ノ問題ヲ解決シナケレバナラヌ、ソコデ何故斯樣ナ問題ガ起ツタカト云フコトヲ、私共ハ考慮致サナケレバナラヌ、元來此保險ノ問題ニ付キマシテ、震災ニ對スル約款ヲ保險會社モ、被保險者モ、初メカラ十分ニ諒解シテ震災ノ場合ノ火災ニ於テハ保險金ガ取レナイモノト諒解致シテ居リマシタナラバ、斯樣ナ問題ハ起リマスマイ、通例保險ヲ掛ケル場合ニ於テハ、先ヅ保險會社ノ率ヲ聞イテ、サウシテ保險金ヲ掛ケル、保險會社デハ其受取リヲ寄越ス、後デ一週間、二週間、若クハ一箇月後ニ、保險證券ヲ渡サレマス、保險ニ掛カリマスル所ノ人ガ火災ニ遭ヒサヘスレバ、火災保險金デアルカラ保險金ガ取レルモノト決メテ、鋭敏ナル所ノ實業家デモ、左樣ナ諒解ヲ持ツテ居ツタ人ガ大多數デアリマス、而シテ御承知ノ如ク今回ノ震災ハ實ニ前代未聞ノコトデアリマス、其慘劇ニ付テハ私ガ此處デ喋々述ベル必要ハアリマセヌ、此國家非常ノ場合ニ於テ、被保險者ガ左樣ナ狀態デ震災後デモ自分ノ保險金ガ取レルモノト思ウテ、隨分此要求ガ世間ニヤカマシクナリマシタ、所デ保險會社ノ方カラ法理ノ問題ヲ申シマシタナラバ、約款ノ上ニ、震災ニ基ク間接直接ノ火災ハ、保險金ヲ支拂ハナイト云フコトノ條件ヲ楯ニ取リマシテ、保險會社ハ其支拂ヲシナイト聲明シタコトニ依ツテ　天下ノ人心ハ極メテ不安ニナリ、經濟上ニ於キマシテモ、非常ナ不安定ノ狀態ヲ實現シタノデアリマス、是ニ於テ問題ガアル、被保險者ハ保險金ガ取レルト思ツタ、保險會社ハ支拂ハナンデ宜シイト云フ立場ニ居ル、而シテ今回ノ震災ハ非常ナル大震災デアリマス、故ニ斯樣ナ問題ハ法理一片ノ問題トシテ解決サレベキモノデハアリマセヌ、苟モ國家ノ多數ノ者ノ、國家全體ノ利福ヲ考慮スル所ノ政府ト致シマシテハ、斯樣ナ問題ニ付テ、保險會社ハ一面ニ於テハ營利的デアリマスケレドモ、一面ニ於テハ公共的ノ營業デアリマス、ソレ故ニ保險會社ヲシテ存續セシムルヤウニ、被保險者ヲシテ此非常ナル場合ニ於テ失望セシメナイヤウニ、而モソレニ依ツテ經濟的復興モ迅速ナラシムルヤウニ致サナケレバナラナイ案ヲ立テルコトハ當然デアリマス、是ハ政府ト保險會社ト被保險者ノ三ツノ問題ヲ、併セテ解決シヤウトスルコトガ此案デアリマス、ソレ故ニ被保險者以外ノ者ガ此法案ニ這入ツテ居ラナイカラト云フ所ノ政友會ノ方々ノ議論ハ、全ク議論ニナラナイノデアリマス、私共被保險者以外ノ……

〔ソレガ議事ノ進行カ」ト呼フ者アリ〕

○議長（粕谷義三君）　植原君一寸……

○植原悅二郎君　討論デハアリマセヌ、議事ノ進行ニ付テ理由ノ說明ヲスルノデス、ソレ故ニ政友會ノ諸君ノ被保險者以外ノ者ガ、此法案ニ含マレテ居ラナイト云フ議論ハ、私共問題トスルト云フコトハ、此問題ヲ審理スルニ對シテ甚ダ不條理ナコトデアルト思ヒマス、ソレ許リデナク、一億八千万圓ノ金ヲ出シテ、ソレヲ極メテ適當ニ此法案ノ下ニ於テ分配セヨト云フ案ヲ私共ガ主張スルノハ當然デアリマス、ソレ許リデナク此問題ヲ極メテ迅速ニ解決シナケレバ、非常ナル所ノ被保險者其他以外ノ者ニモ不安ナル狀態ヲ生ズルコトハ明カデアリマス、ソレ故ニ私共ハ若シ此場合ニ於キマシテ國家非常ナル場合ニ處スル、火急ノ場合ニ於テ事ニ處スル場合ニハ人間トシテ爲シマスコトニ付テ完全ナ事ハ出來マセヌ、多少ノ缺點ハアリマシテモ、此問題ヲ此處デ解決スレバ、啻ニ多數ノ被保險者ガ利益スルノミナラズ、經濟上ノ振興ニモ有利デアル、更ニ被保險者以外ノ罹災民ニハ、政府ニ於テ案ヲ立テロト迫レバ宜シイノデアル、其意味ニ於キマシテ、私共ハ此案ヲ極メテ重大ナリト思フ、故ニ議長ニ於キマシテハ、——既ニ委員會ニ於キマシテハ、私ガ冒頭ニ於テ申上ゲマシタ通リ、此審議ノ進行ヲ進メズト云フ決定ヲ致シマシタ、此決定ヲ議長ハ此議會ニ報告セシメテ、サウシテ若シ此委員會ガ自分等ノ實力ニ依ツテ此重大ナル火急ノ場合ニ處スルコトガ出來ナイ、震災後既ニ三箇月ヲ經過シ、委員會ニ於テ十日以上モ審議シテ、更ニソレニ對スル所ノ修正モ對案モナクシテ、此儘玆ニ議事ノ審議ヲ進メズシテ委員會ヲ終リマシタ以上ハ宜シク議長ハ此報告ヲ一切此議場ニ報告セシメテ、更ニ此重大ナル案件ヲ此儘ニ放擲スルコトハ不可ナリト思ヒマスルガ故ニ、議長ハ宜シク、新ニ委員九名ヲ選ンデ、

而シテ新タナル所ノ委員會ニ之ヲ付議セラルヽ、所ノ手續ヲ執ラレルコトガ當然デアルト思ヒマス、之ニ對シテ私ハ議長ニ斯ノ如キ處置ヲ執ラレンコトヲ望ム次第デアリマス

○議長（粕谷義三君）　只今ノ植原君ノ議事進行ニ對スル發議ニ對シマシテハ、後ニ御答ヲ致シマス、ソレヨリ先ニ一身上ニ關スル（「動議デス、カ」ト呼フ者アリ）動議デハアリマセヌ、希望デアリマス、一身上ニ關スル件ニ付テ辯明ガアリマス、賴母木君

（賴母木桂吉君登壇）

○賴母木桂吉君　只今廣岡君カラ横山君ノ質問ニ對シテ御答ニナツタ中ニ、私ノ名前ガ出マシタ、而シテ私ノ委員會ニ於テ申シマシタコトノ御報告メイタコトガアツタ、併シソレハ大變ニ相違致シテ居リマシタカラ、私トシテハ玆ニ辯ヲ好ム譯デハアリマセヌガ、一應辯明ヲ致シテ置カナケレバナラヌト考ヘルノデアリマス、昨日ノ委員會ハ、一昨日ノ委員會ニ於テ質問ヲ終リマシテ、而シテ昨日ノ委員會ハ討議ニ入ルベキ順序ニナツテ居ルノデアリマス、然ルニ突然熊谷君カラ審議ヲ進メナイ、而シテ政府ハ次ノ議會ニ適當ナル案ヲ具シテ提出スベシト云フ動議ガ出タノデアリマス、之ニ對シテ贊否ヲ決スル場合トナツタノデアリマスカラ、私ハ兎ニ角昨日一日及今日一日ノ時間ガアルノデ、質問ニ終結シテ而シテ之ニ修正ヲ加ヘ、若クハ是レノ討論ヲスルト云フコトガ順序デアル、時間ガアルノデアル、之ヲヤルノガ當然デアル、然ルニ質問ヲ打切ツテ討論ニモ入ラズシテ、直ニ審議ヲ停止スルト云フコトハ、議場ノ決議ニ於テ吾々委員ニ選バレ、此議案ヲ愼重審議セヨト命ジテ居ル、其審議ヲ中止シテ止メルト云フコトハ不都合千萬デアル、是非是ハ進メナケレバナラヌ、殊ニデス、殊ニ此火災保險問題ハ帝都復興ノ第一義デ、此問題ヲ解決スルニアラザレバ、復興問題ヲ解決スルコトガ出來ヌト迄吾々ハ考ヘテ居ルノデアリマス、殊ニ貴衆兩院議長ヲ中心トシテ、所謂天下ノ大實業家及政友會ノ代表者、憲政會ノ代表者、革新俱樂部ノ代表者、庚申俱樂部ノ代表者モ、皆出テ、此問題ニ付テ政府ハ速ニ保險問題ヲ解決スベシト云フ決議ヲシテ、其議ヲ總理大臣ニ提出シタノデアリマス、三土君、小川君等モ非常ニ御盡力ニナツタノデアル、吾々モ驥尾ニ附シテ盡力シタノデアル、斯ウ云フコトガ動機トナリ、同時ニ天下ノ輿論ガ被保險者ヲ此儘ニ置イテハ、震災約歎ニ依ツテ、震災約歎ヲ楯トシテ、商法第四百十九條ノ所謂火災ニ罹ツタ場合ハ保險會社ハ其責ニ任ズルト云フ此國法ヲ無視スルモノデアルト云フ譯デ、非常ニ吾々ハ此問題ニ付テハ天下ノ人ト共ニ（發言スル者アリ）兎ニ角聽イテ居給ヘ、輿論ガ斯ノ如クナリマシタノデアリマス、政府モ捨テヽ置ケナイカラ案ヲ出シタノデアル、而シテ若モ政府ガ政友會ノ言フ通リニ次ノ議會ニ出スト云フ言明ヲスレバ、私共ハ政友會ノ仰シヤルコトガ相當ダト思フ、併シ農商務大臣ハ此案ハ何所マデモ支持スル、次ノ議會ニ於テモ之ヲ改メナイト言明シテ居ルデハナイカ、然ラバ諸君ハ之ニ修正ヲ加ヘルノガ當然ノ義務デハナイカ、此修正ヲ加ヘズシテ、政府ハ斷ジテ次ノ議會ニ於テモ此以外ノ案ヲ提出シナイト言ツテ居ルノニ、尙ホ外ノ案ヲ提出シロト云フコトハ、卽チ無理ヲ强ユルモノデアル、諸君ノ義務ハ、若モ此案ガ惡ケレバ政府ガ次ノ議會ニ提出シナイト言ヘバ、此議會ニ於テ此案ニ十分討議ノ結果修正ヲ加ヘルト云フコトガ當然爲スベキ方法デハナイカ、ソレヲ爲サナイト云フノハ、諸君ガ無責任ノ極デアルト思フ（「議論ジヤナイカ」ト呼フ者アリ）議論デハナイ、サウ云フ成行ニナツテルヂヤナイカ（「ソレハ一身上ノ辯明デハナイ」ト呼フ者アリ）私ノ言ツタコトガ違ツテ居ルカラ言ツテ居ルノダ、而シテ私ガ何カ次ノ議會ニ提出スベキコトヲ一ツ諮ツテ、延期ニスル運動ヲシタト云フ話デアリマス、是ハ私ハ成ベク良イ案ガ、此以上ノ良イ案ガ出來ルナラバ結構デアルト思フ、此案ハ實際ニ於テ缺陷ノ多イコトハ明カデアリマス、併ナガラ今日ノ罹災民ノ窮狀坐視スルニ忍ビズ、何トカシテ早クシナケレバナラヌト云フ私共ノ衷情デアリマスカラ、私共ハドウシテモ此案ヲ、不完全デアツテモ、訴權ヲ拋棄シナイ限リ、一般ノ罹災民ニ對スル救助ヲ與フルト云フ言明ヲ得ルナラバ、之ヲ通過サシテモ差支ナイト考ヘテ居ルノデアリマス、併ナガラ尙ホ良イ案ガ出來ルト云フナラバ、何トカヤツテモ宜カラウト考ヘタノデアリマスルガ、不幸ニシテ政府ハ斷ジテ是ヨリ外ニ案ハ無イ、是ガ一番ノ名案デアルト言明シタ以上ハ、私共ハ之ニ向ツテ審議ヲ進メルト云フコトガ、當然デアルト考ヘタカラ、私共ハ言ツタノデアル、是ガ私ノ昨日取ツタ經過デアリ、私ノ取ツタ總テヾアルコトヲ玆ニ言明シテ置キマス

○議長（粕谷義三君）　議事進行ニ付テ發言ノ通告ガアリマス――横山勝太郎君

○横山勝太郎君　極メテ簡單デアリマスカラ、此席カラ御許ヲ願ヒマス、只今廣岡委員長カラ極メテ詳細ナル報告ガアリマシタカラ、委員會ニ於ケル議事ノ經過ヲ私ハ諒ト致シマス、併ナガラ此際廣岡委員長ノ報告ニ關シテ、議長ニ御尋ヲ致シ、又議長ニ希望スルコトガアリマスカラ、ソレダケヲ申上ゲマス、第一ハ只今極メテ詳細ナル御報告ヲ委員長カラサレマシタ（「報告デヤナイ」「說明ダ」ト呼フ者アリ）終リニ報告ト言ヒマシタ、說明デモ報告デモドチラデモ宜シウゴザイマスガ　廣岡委員長カラ聲明セラレマシタコト

ハ、私ニ對スル答辯デアリ、且ツ御報告デアルト、斯様ニ私ハ諒解致シマス、之ニ關シテ斯ノ如ク委員會ニ於テ、本會ノ委託シタル審議ヲ停止スルト云フヤウナ決議ガアツタト致シマスレバ、之ヲ議長ノ手許ニ報告スベキモノト思ヒマスガ、議長ノ手許ニ斯様ナ報告ガアリマシタカ、ドウカト云フコトヲ、第一ニ承リタイ、假ニ報告ガアツタト致シマスレバ、議長ハ何ガ故ニ速ニ本會ニ之ヲ御報告ニナラスノデアリマスカ、之ヲ第一段トシテ質問ヲ致スノデアリマス、又第二ニハ、左様ナ手續ハ別トシテモ、兎ニ角廣岡委員長ガ此議場ニ於テ斯ノ如ク詳細ナ說明ヲ致シマシテ　審査ノ停止ヲ致シタト云フ事實ハ明瞭デアリマス、此委員長ノ報告ニ依ツテ、本會ノ委託シタル委員會ノ決議ハ、之ヲ以テ終レルモノト見ルノデアリマスカ、卽チ之ヲ以テ委員會ノ仕事ハ全部終局シタモノト、議長ハ御認ニナルノデアルカドウカ、第四ニハ、若シ斯ノ如ク致シマスナレバ、本案ニ付テハ、本會ガ審議ノ權利ヲ持ツテ居ルノデアリマスガ、其審議ヲ進ムル便宜上、此詳細ナル審議ヲ委員會ニ委託シタルモノナルニモ拘ラズ、委員會ニ於テ其審議ヲ停止スルト云フコトデアリマスルナレバ、事實ニ於テハ本會ニ於ケル審査ノ權利ト云フモノヲ、委員會ガ之ヲ獨占スルト云フコトニナリマスガ、議長ハ之ヲ看過スルノデアリマスカ、廣岡委員長ハ先例ガアルト云ウテ居リマスケレドモ、斯ノ如キ惡例ヲ遵奉スル義務ハアリマセヌ、殊ニ左様ナ先例ガアリト認メマシテモ、今日ノ場合ハ、地震ト大火災ニ依ツテ何百万ノ罹災民ガ困窮シテ居ル場合デアリマスカラ、帝都復興ニ關シテハ、斯ノ如キ先例ガアツテモ、其先例ヲ破ツテ審議ヲ進メルト云フコトハ、當然吾々ノ取ルベキ途デアルト思ヒマス、議長ハ宜シク此邊ノ事ヲ御諒解ノ上ニ、相當ナル手段ヲ取ラレタリヤ、尙ホ私ノ發シタル以上數箇ノ問題ニ付テ、明瞭ナル御答辯ヲ仰ギタイト思量致シマス

○議長（粕谷義三君）　尙ホ議事進行ニ付テノ發言ガアリマス大口喜六君

〔大口喜六君登壇〕

○大口喜六君　私ハ極メテ簡單ニ、矢張此問題ニ付テ議長ニ質問致シテ置キタイト思ヒマス、實ハ特別委員會ニ於テ審査ノ中止ヲ議決サレタト云フコトハ、將來ノ前例ニモナルコトデ、決シテ輕輕シク見ル譯ニイカナイノデ、私ハ決シテ是ガ火保問題ニ關聯シテ居ルガ故ニ云々スルノデハナイノデアリマス、如何ナル問題デアリマシテモ、特別委員會ニ於テ爲シタル行動ヲ本議會ガ認メマシタ以上ハ、將來ノ前例ニナルノデアリマス、斯様ナ前例ヲ作リ出スト云フコトハ、吾々トシテハ餘程考ヘナケレバナラヌコト、思ヒマス、ソレ故ニ私ハ此際議長ニ十分ナル御說明ヲ煩ハシテ、議長ノ御答辯ニ依ツテハ、更ニ吾々ハ意見ヲ提出シナケレバナラヌト思フノデアリマス、只今廣岡委員長ヨリ承ハル所ニ依リマスレバ、火災保險問題ハ特別委員會ニ於テ審査ヲ停止セラレタコト、其停止ノ決議ヲ爲サレタト云フコトデアルノデアリマス、是ハ成程前例ハ無イコトハアリマセヌ、只今廣岡委員長モ言ハレマシタ通リ、止著シキ例ハ矢張第十六議會ニ於キマシテ、倉庫營業ニ關スル法律案ハ、審査ヲ無期ニ中止スルト云フ決議ヲ致シテ居ルニ相違ナイノデアリマス、併ナガラ此時ハ特ニ委員長ガ、此事ヲ議場ニ報告ヲ致シテ居ルノデアリマス（拍手）而シテ議員全體ヲシテ此無期ノ中止ニ對シテ口ヲ容ルヽ所ノ餘地ヲ與ヘテ居ルノデアリマス、議論ノ出來ルヤウナ餘地ヲ與ヘテ居リマス、委員長ハ立派ニ此事ヲ議場ニ報告ヲシテ居ルノデアリマス、凡ソ此審査委員特別委員ト云フモノハドウデアルカト云ヘバ、只今横山君モ申サレマシタ通リ、議院法ノ第二十條ヲ第二項ニ依リマシテ、「特別委員ハ一事件ヲ審査スル爲ニ議院ノ選擧ヲ以テ特ニ付託ヲ受クルモノトス」ト云フノデ、特別委員ノ權限ハ議院法ノ第二十條ニ明瞭ニナツテ居リマス、卽チ特別委員ノ權限ハ、一事件ヲ審査スル爲ニ議院ノ選擧ヲ以テ、特ニ付託ヲ受ケテ居ルノデアリマス、隨テ審査ヲシナイ、審査ヲ中止スルト云フ決議ヲスルコトハ、既ニ此議院法ニ於テ、議院ヨリ委託ヲ受ケテ居ルコトヲ十分ニ盡サナイコトニナルノデアリマス（拍手）ソレ故ニ委員長ハ須ラク議場ニ之ヲ報告致シテ、此中止シタルコトガ是ナリヤ、非ナリヤ、之ヲ認メルカ、認メナイカ議場ノ承認ヲ得ナケレバナラヌ道理ニナリマス（拍手）ソレ故ニ委員會ニ於キマシテ、火保問題ノ中止ヲ爲スツタト云フ決議ニナツタコトハ、吾々先例ヲ認メルノデアリマス、同時ニ先例ヲ重ンゼラレテ、何故ニ委員長ハ此議場ニ正式ニ報告サレヌ、只今ハ横山君ノ質問ニ對シテ答辯サレタヽケデアリマス、是ハ決シテ默目ナモノデアリマス、是デハ吾々ハ議論スルノ餘地ガ無イノデアリマス、ソレデアリマスカラ委員長ハ正式ニ、第十六議會ニ於ケル先例ヲ重ンゼラレテ、正シキ道ニ依ツテ適法ニ此中止シタト云フコトヲ議場ニ報告サレテ、此議場ガ承認スルカシナイカヲ御認ニナツテコソ、先例ニ合ヒ、又議院法ノ精神ニ合フノデアリマス、然ルニ委員會ハ多數ヲ以テ此審査ヲ中止シテ、議院法ニ於キマシテ定メラレタル所ノ職權ノ委託ヲ十分ニ盡サレヌデ、而シテ多數デ決メレバ宜イト云フノデ、議場ニモ報告シナイ、此儘握ツテシマフト云フコトハ、全體衆議院ガ委託ヲシタ此委託ニ背イタル委員會ノ行動デアルコトハ明瞭デアリマス、之ニ對シテ議長ハ如何ヤウナル御處置ヲ御取リニナルカ、之ヲ確メテ置キタイ、其議長ノ御

答辯ニ依ツテハ、吾々ハ當派ノ如何ヲ問ハナイ、衆議院ノ權限ノ上ニ於テ更ニ大ニ考慮シナクテハナラヌト思ヒマス（拍手）

○議長（柏谷義三君）　只今各諸君ヨリ議事進行ニ付テ御述ニナリマシタコトハ、大體ニ於テ皆其趣旨ヲ同ウシテ居ルト思ヒマス、故ニ之ニ對シマシテ議長ノ信ズル所ヲ御答致シマス、先ヅ第一ニ横山君ノ御尋ガアリマシタガ、之ニ御答ヲ致シテ置キマスガ、議長ニ對シテ委員長カラ何等カ報告ガアツタカ、斯ウ云フ御尋ガアリマシタ、是ハ議長ニ對シテハ正式ニハ無イノデアリマス、只今廣岡君ガ此壇上ニ於テ述ベラレタバケデアリマス、或ハ廣岡君ノ只今御述ニナリマシタモノヲ、委員會ノ經過報告ト見テモ私ハ差支ナイト思ヒマス

〔「ノウ〳〵」ト呼フ者アリ　議場騒然〕

○議長（柏谷義三君）　併ナガラマダ委員長ヨリハ正式ニ議長ニ向ツテ何等ノ報告モ無イノデアリマス、速記錄モ未ダ出來テ居ナイノデアリマス、ソレ故ニ議長ト致シマシテ、委員會ノ經過ハ十分ニ之ヲ承知致シテ居リマセヌ、若シ夫レ委員長ヨリ正式ニ此審査中止ノ報告ガゴザイマシタナラバ、其場合ニ於テハ其善後ヲ如何ニスベキカト云フコトハ、議長ト致シマシテハ之ヲ院議ニ諮ツテ決スルノ外ハナイノデアリマス、卽チ諸君ガ更ニ新ニ委員ヲ選擧シテ、之ニ再付託ヲスルト云フ手續ヲ執ルコトモ諸君ノ自由デアリマス、斯ノ如ク致スコトガ宜イカ否ヤト云フコトハ、一ニ諸君ノ御意見ニ從フノ外ハナイト私ハ信ズルノデアリマス、ソレ故ニ私ハ此場合ニ於キマシテ、只今廣岡委員長ガ此席ニ於テ述ベラレマシタル、此委員會ニ於キマシテ、廣岡委員長ノ取ラレタル處置ヲ、是認スルヤ否ヤト云フコトヲ諸君ニ御諮リヲ致シマス

〔「ノウ〳〵」ト呼フ者アリ　議場騒然〕

○大口喜六君　只今ノ議長ノ御宣告ニ對シテ更ニ質問ガアリマス

○議長（柏谷義三君）　宜シウゴザイマス

○大口喜六君　此席ヨリ……

〔「登壇」「登壇」ト呼フ者アリ〕

〔大口喜六君登壇〕

○大口喜六君　只今議長ノ御答辯ハ確ニ席ニ於キマシテ拜聽致シマシタ、然ルニ議長ノ只今ノ御話ニ依リマスト、只今廣岡委員長ガ、横山君ノ質問ニ對シテ答ヘラレタルコトヲ、委員長ノ報告ト見テモ宜イト云フヤウナ御話ガアツタノデアルガ、是ハ甚ダ怪シカラヌコトデアルト吾ハ思フノデアリマス（拍手）委員長ノ報告デアルナラバ、宜シク之ヲ日程ニ上ボセラレテ、其委員長ノ報告ニ對シテ之ヲ是トスルカ非トスルカ、吾々議員ハ相當ニ意見ヲ述ベ、討論スルト云フコトヲ御許シニナツテ然ルベキモノデアルト思フ（拍手）果シテ議長ガ此廣岡君ノ報告ヲ認メラレテ、玆ニ之ヲ議場ニ諮ラレヤウトスルナラバ、然ルベク日程ヲ玆ニ設ケラレテ、之ヲ是トスルヤ非トスルヤ、吾々議員ガ贊否ノ議論ヲ致サレルヤウニ願ヒタイ、之ニ對シテ議長ハ如何ナル處置ヲ執ラレルカ、承ツテ置キタイ（拍手）

○岩崎勳君　議事進行ニ付テ動議ヲ出シマス

〔「議長答辯」「議長答辯」ト呼フ者アリ〕

○議長（柏谷義三君）　只今大口君ヨリ御述ニナリマシタ所ノ議長ガ先刻廣岡君ノ此壇上ニ於テ述ベラレタルコトヲ報告ト認メテモ宜イト申シマシタコトニ付テハ、是ハ取消ヲ致シマス（拍手）尙ホ此問題ガドウセ此議場ノ問題トナリマシテ、彼此レ論議ニナリマシタ以上ハ、此結果ハ何トシテモ議長ハ之ヲ採決ニ依ルノ外ハナイト思ヒマス（拍手）

〔「改メテ委員長ノ報告ヲ求メル」「日程ノ變更ヲ望ミマス」ト呼フ者アリ〕

○議長（柏谷義三君）　議長ハ只今委員長ガ此處ニ述ベラレタルコトニ付テ、玆ニ問題ガ起リマシタ以上ハ、其可否ヲ議場ニ諮ルノ外ハナイト思ヒマス

〔「ノウ〳〵」ト呼フ者アリ〕

○議長（柏谷義三君）　岩崎勳君

〔岩崎勳君登壇〕

○岩崎勳君　私ハ緊急動議ヲ出シマス、此際議事日程ヲ變更シテ、保險會社ニ對スル貸付金ニ關スル法律案外二件ノ委員會ノ經過ノ報告ヲ、廣岡特別委員長ニ求メタイト思ヒマス、此事ニ御同意ヲ求メマス（拍手）

○議長（柏谷義三君）　只今岩崎君ヨリ日程變更ノ動議ガ出マシタ、此動議ニ御異議アリマセヌカ

〔「異議ナシ」「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○議長（柏谷義三君）　御異議ナイト認メマス、仍テ動議ノ如ク日程ハ變更セラレマシタ、尙ホ此日程變更ニ付テハ政府モ同意サレテ居リマス、火災保險金貸付ニ關スル法律案　委員長ノ報告ヲ求メマス、廣岡宇一郎君

保險會社ニ對スル貸付金ニ關スル法律案
外一件委員會經過報告

〔廣岡宇一郎君登壇〕

○廣岡宇一郎君　火災保險金貸付ニ關スル法律案竝ニ保險會社貸付資金公債法案、右兩案ニ對スル委員會ノ經過竝ニ結果ヲ報告致シマス、其事柄ハ先刻横山君ニ對スル說明ニ於テ盡キテ居リマスカラ、委細ハ之ニ讓リマス、右御報告致シマス（拍手）

〔「採決」「採決」「討論」「討論」ト呼フ者アリ〕

○議長（柏谷義三君）　討論ノ通告ガアリマス、作間耕逸君

〔作間耕逸君登壇〕

○作間耕逸君　本員ハ只今ノ廣岡委員長ノ委員會

ニ於ケル審議中止ノ報告ニ、絶對反對ノ意見ヲ表明シ、而シテ此場合ニ於テ尚ホ委員會ノ審議ヲ繼續スベシト云フ意見ヲ主張スル者デアリマス、而シテ此火災保險問題ハ、御承知ノ通リ其實質カラ申シマシテモ、又手續ノ上カラ申シマシテモ、到底此際院議ノ付託ヲ受ケタル特別委員會ニ於テ、其審議ヲ遽ニ中止スルガ如キハ不合理、不都合許スヘカラザル議院ノ罪惡デアルト考ヘルノデアリマス(拍手)先ヅ手續ノ上カラ申シマスレバ、先刻大口君カラモ仰セラレマシタ通リ、特別委員ト云フモノハ、本會ノ院議ニ依リ唯一部ノ議員ニ於テ、本會ニ代ツテ審議ヲ囑託セラレタル特別ノ機關ニ過ギナイノデアリマスルカラ、時日ノ許ス限リ、時間ニ餘裕ノアル限リ、飽迄自己ノ持ツテ居ル所ノ意見ヲ交換ヲ致シテ、其審議ノ結末ヲ著ケナケレバナラヌ、若シ日時ノ許サヾルモノアリト致シマスレバ其日時ノ許ス限リ、卽チ閉會時刻ノ切迫スル迄ノ間ハ、晝夜通シテモ、其討論竝ニ審議ヲ繼續スベキコトガ蓋シ吾々ノ法律上、憲法上、特別ニ持ツテ居ル所ノ權利デアリ、又其義務デアルト謂ハナケレバナラヌノデアリマス(拍手)然ルニ何事ゾヤ、横暴ニモ多數黨タル政友會ノ諸君ハ、突如トシテ自己ノ意見ノ未ダ定マラザルヲ顧ハンガ爲ニ、卽チ自己ノ不見識ヲ隱サンガ爲ニ、審議中止ノ動議ヲ提出シ、多數ヲ以テ之ヲ可決セントハト申サナケレバナラヌノデアル、而シテ其實際ノ事情カラ申上ゲマスレバ、本案ハ成程其案ノ內容、其案ノ實體ニ於テ修正ヲ加ヘテ是ガ改善ヲ期スベキ餘地ハ少クナイト云フコトハ、本員等ト雖モ亦之ヲ認メルノデアリマスガ、昨日ノ正午ニ於テ打切ノ動議ガ成立シタノデアリマスカラ、昨日ノ正午ヨリ今日ノ閉會ノ時間迄ヲ計算致シマスレバ、マダ優ニ一日半モ餘シテ居ルノデアリマスカラ、此間ニ於テ多數黨ノ諸君ガ若シ政府及國民ニ對シ、誠意ト好意ヲ以テ努力セラルヽナラバ、如何ナル立派ナル修正案デモ出來上ラナケレバナラヌ筈デアリマス、然ルニ此修正ヲ行フコトヲ敢テセラレナイ、是レ吾々ガ衷心カラ國民ノ爲メ、殊ニ罹災者ノ爲メ、遺憾極マル次第デアルト考ヘルノデアリマス(拍手)成程罹災者ハ今日此案ニ對シマシテハ、全ク完璧デアル、滿足デアルト云フコトハ思ウテハ居リマセヌ、併ナガラ若シ政友會諸君ノ如ク、何等之ニ對シテ是レ以上ノ美事ナル、滿足ナル修正ヲ加ヘルコトガ御出來ニナラナケレバ、セメテ此案デモ我慢ヲシテ、早ク保險金ヲ一割デモ取リタイト云フダケノ心持ヲ持ツテ居ルノデアリマス、政友會諸君ガ此議會ニ於テ立派ナル、滿足ナル修正ヲサレヤウト思ヘバ、セラレル權限ガ御有リニナルニ拘ラズ、之ヲ敢テセラレナイ所カラ、罹災者ハ政友會諸君ガ此議會ニ多數ヲ占メテオキデニナル以上ハ、迚モ滿足スル解決ハ出來ナカラウカト思ッテ居ルノデハナイカト察セラルヽノデアリマス、吾々ハ此案ニ付キマシテ、固ヨリ滿足ヲ致シテ居ル者デハナイ、併ナガラ若シ政友會諸君ガ、吾々ノ修正ノ意見ヲ快ク容レテ戴クナラバ、吾々ノ方デハ何時ト雖モ進ンデ修正案ヲ提出スベキ意見ヲ持ツテ居ルノデアリマスルケレドモ、其意見ヲ出ス餘裕ト機會ヲスラ與ヘラレズニ、突然審議中止ノ動議ニ遭ッタト云フコトハ、實ニ吾々ノ意外千萬ト致ス所デアリマス(拍手)然ルニ一方此案ガ今期議會ニ提出セラレマスルヤ、罹災者ノ中ニハ、既ニ此案ガヨモヤ政友會諸君ニ依ツテ握潰シ同樣ノ目ニ遭ハウト云フコトハ考ヘテ居リマセヌカラ、既ニ兎モ角モ一割ダケハ貰ヘルモノデアラウト云フ考カラ保險證書ヲ融通ニ供シ或ハ之ヲ擔保ニ置キ、サウシテ以テ自己ノ生活ナリ、復興ノ資金ノ一部ニ當テ、居ル者モアリマスシ、殊ニ又保險會社側ニ於キマシテモ、最早斯クナル以上ハ一割ダケハ拂ハナケレバナルマイト云フ觀念ヲ極メテ、其支拂手續ニ著手シタ會社モアルノデアリマス、若シ政友會諸君ニシテ、此案ヲ不備不完全ノモノナリトセバ、何故速ニ之ニ對スル所ノ對策ヲ世ニ公ニセラレテ、サウシテ是等ノ會社竝ニ多數ノ憐ムベキ罹災者ヲ誤ラシムルコトノナイヤウナ手續ヲ講ゼラレナカツタカト云フコトモ、吾々ガ諸君ニ向ツテ責メタイ點デアリマス(拍手)而シテ政友會諸君ハ、此案ハ斯樣々々ナ不備ガアルカラ、之ヲ相當ニ考ヘ直シテ、サウシテ次ノ議會ニ完全ナル案トシテ提出セヨト云フ註文ダケハ發セラレマシタケレドモ、幾ラ政府ニ左樣ナ註文ヲ爲サレテモ、院議ノ存スル所、委員會ノ意見ノ存スル所、凡ソドノヤウナ方針ヲ取レバ宜シイノデアルカト云フコトヲ御示ニナラヌデハ、政友會ノ意向トシテモ、又院議ト致シマシテモ、政府ハ何等纏マッテ居ル所ハアリマセヌガ爲ニ、次ノ通常議會ニ凡ソ如何ナル方針、凡ソ如何ナル條件、凡ソ如何ナル內容ヲ有スル案ヲ出セバ宜シイカ、其方向ニサヘモ迷ハセラル、ノ已ムヲ得ザルニ至ッタノデアリマセヌカ、農商務大臣ハ假令通常議會ニ至リマシテモ是レ以上ノ案、之ニ代ルベキ案ヲ具體的ニ拵ヘテ、サウシテ提出ヲスル見込ミ考慮ハ今ノ所持ッテ居リマセヌト云フコトヲ、諸君ノ前ニ言明ヲ致シテ居ル、然ラバ諸君ハ更ニ其農商務大臣ニ對シテ、斯クノ々ノ條件ヲ具ヘ、斯クノ々ノ內容ヲ有スルモノニ改メヨト云フコトヲ、何故ニ懇切ニ、之ニ向ッテ敎フル所、導ク所ナクシテ可ナランヤデアリマス、然ルニ政友會諸君ハ一モ此態度ニ出デラレナイ、現ニ政府モ其方針ニ迷ウテ、農商務大臣ハ遂ニ此重大ナ時期ニ於テ辭表ヲ提出セザルヲ得ザル餘儀ナキニ至ッタト云フコトサヘモ傳ヘラレテ居ルデハアリマセヌカ、

吾々ハ若シ審議ニ日時ガ掛カツテ、到底兩院ノ議決ヲ經ルト云フコトガ困難デアリマシタナラバ、セメテ我ガ衆議院一院ノ抱持スル所ノ議決デサヘモ之ヲ公ニシテ、以テ、政府竝ニ會社及多數ノ罹災者ニ對シテ彼等ノ依ル所ヲ知ラシメテヤリタイト思ツタノデアリマス、然ルニ院議モ纏マラズ、又委員會ニ於ケル所ノ意見モ纏マラズ、而シテ唯ダ單ニ政友會ノ諸君ハ、原案ニ對シテ一應ノ批評的意見ヲ試ミラレタト云フコトニ過ギマセヌノデアリマスルカラ、政府、會社竝ニ罹災者多數ノ被害民ハ、洵ニ何レニ向ツテ宜イカ、如何ナル處置ヲ講ズレバ宜イカ、殆ド其自己ノ赴クベキ方角サヘモ分ラザル間ニ、有耶無耶トシテ此問題ヲ遂ニ葬ラレテシマヒ、此先ハ先ヅ暗黑ト相成リマシテ、當分ノ所如何ニ此問題ノ前途ニ光明ガ射スカ、ソレモ遂ニ見込ガナイヤウナ羽目ニ陷ルコトニ相成リマシタノハ如何ニモ同情ニ堪ヘヌ、私共ハ憐ムベキ限リデアルト考ヘルノデアリマスルガ、是レ皆政友會諸君ガ纏マリタル意見ヲ以テ、セメテ委員會ノ意見ダケデモ之ヲ公ニセラルヽコトヲ爲サズ、況ヤ進ンデ衆議院ノ院議ヲサヘモ世ノ中ニ示スノ手續ニ進マレズシテ、横槊ニモ、專斷ニモ、自己ノ議員タル所ノ特別ノ權利ヲ弄ビ、特別ノ權限ヲ濫用シテ、此重大ナル問題ニ對シ、此重大ナル場合ニ於テ、遂ニ此問題ヲ――此重要ノ案ヲ有耶無耶ノ中ニ葬リ去ラレタト云フコトハ、返ス返スモ重ネテ申上ゲマス、遺憾至極ノ次第デアル、吾々ハ多數ノ罹災民ト共ニ此問題ノ經過ヲ永ク印象ニ留メテ、而シテ政友會諸君ガ次ノ議會ニ於テ、此本期議會ニ於ケル罪滅シニ、セメテ如何ヤウナル態度ニ出ラレルデアラウカト云フコトヲ、更ニ注意ト監視ヲ向ケタイト思フノデアリマス、此卑見ヲ申上ゲマシテ、只今ノ委員長ノ審議中止ノ委員會ノ報告ニハ絕對ニ反對ヲ致シマシテ、尙ホ更ニ時間ノ許ス限リ其審議ヲ進メテ、セメテハ委員會ノ意見デモ之ヲ定メテ、世ノ有力ナル參考ニ供シタイト云フコトヲ希望致シテ此壇ヲ降ル者デアリマス（拍手）

〔東武君登壇〕

○東武君　只今火保問題ニ對スル特別委員長ノ報告、卽チ審議中止ノ報告ガアリマシタガ、此中止ニ私共ハ贊成ヲ表スル者デアリマス、デ此事ニ對シマシテハ餘リ多クノ論議ハ要セナイト思ツテ居リマス、各派各黨ヲ通ジテ殆ド之ニ對シテハ共通ノ意見ヲ特ツテ居ルト思フ、其理由ハ私ハ玆ニ特ニ原案贊成者トシテ述ベル人ノ理由ヲ反駁スルノデハアリマセヌガ、委員會トシテノ經過ダケヲ申上ゲマスガ、植原君ガ矢張革新俱樂部ヲ代表致シマシテ、原案贊成、卽チ中止ニ反對ノ意見ヲ述ベテ居リ、又憲政會ヲ代表致シマシテ賴母木桂吉君カラシテ矢張反對ノ意見ヲ述ベテ居ルケレドモ是ハ私ハ眞ノ反對トハ見テ居ラヌ（「ノーノー」）御聽キ下サイ、又只今作間君ノ意見モアリマシタシ、各人ノ意見ガアリマシタガ、要スルニ大體ニ於テハ、此院ノ總テノ共通的ノ見地ハ萬人同ジデアルト思フ、何故ナレバ植原君ハ此原案ハ實ニ百万ノ罹災者ヲ救護スル爲ニ、是非通過ヲサセタイト云フ希望ヲ持ツテ居ル、吾々モ其希望ハ同樣デアル、又賴母木君ノ意見モ同樣デアツテ、罹災者ヲ救助スルト云フコトニ付テハ何トカシナケレバナラヌト云フコトニ付テハ、同ジ意見ヲ持ツテ居ル、又只今ノ作間君ノ意見ヲ聽イテモ同ジコトデアリマス、此罹災者ヲ救助シヤウト云フ意見ハ共通ノ意見デアツテ、之ニ就テハ何人モ反對ハナイ、吾吾モ反對ハ毛頭ナイ、ヨリ以上完全ナ案ヲ作ツテ此罹災者ヲ救護シタイト云フコトヲ萬々祈ツテ居ル次第デアルノデアル、然ラバ此點ニ付テ皆一樣ノ共通ノ意見ヲ持ツテ居ル、之ヲ贊成ヲシテ、卽チ委員長ノ審議中止ニ反對ヲスルト云フ意見ニ付テハドウ云フ意見ガ出テ居ルカト申シマスト、植原君ハ昨日ノ委員會ニ於キマシテ、原案所謂政府案贊成ノ意見ヲ述ベルニ際シマシテ、吾々ハ此案ヲ是非通過致シテ置キタイ、併ナガラ之ニ就テハ一ツノ條件ガアル、其條件ハ何デアルカト云ヘバ、社會政策ト云フ方針ヲ加味シテ居ナイガ爲ニ、此法案ハ非常ニ缺陷ガアル、故ニ吾々ハ此缺陷ヲ無クスルガ爲ニ、百分ノ一ト云フ第一條ニ明定シテ居ル所ノモノヲ、五千圓以下ノモノニ對シテハ二割、或ハ一割五分、或ハ一万圓以上ニ對スルモノハ七分、或ハ八分ト云フヤウナ風ニ社會政策ヲ加味シタ等級、卽チ段階ヲ附スベシ、詰リ斯樣ナ條件デアルノデアル、諸君、此法案ノ第一條ヲ見レバ既ニ百分ノ一ト云フコトヲ明定シテ居ル法律デアルカラ、（「希望ヲ容レルト云フコトニナレバ、此法案ニハ反對ト云フコトニナルノデアル」）（「反對デナイ」ト呼ブ者アリ）宜シイカ、一割ト云フコトヲ明定シテ居ルノデアルカラ、其條件ヲ幾ラ提出シテモ、是ハ詰リ雙務的ニナツテ居ルノデアル、又賴母木君ノ意見ニ依リマスレバ保險ノ契約、所謂訴權放棄ト云フコトハ非常ニ不都合デアル、多クノ罹災者ガ十割ノ詰リ保險金ヲ附ケテ居ルモノヲ、一割ノ見舞金ヲ出シテ九割ノ權利ハ有スルカ無イカト云フコトヲ決定スルノハ、大審院ヨリ外ニ決定スル所ハ無イ、其決定スル所ガ無イノニ、一割ノモノヲ渡スト云フ場合ニハ、其一割ノ見舞金ハヤルガ、見舞金ト稱スルガ其實貰潰シニナル、保險證書ヲ持ツテ來ナケレバ此一割ヲ渡サヌト云フコトニナル、然ラバ詰リ九割ト云フモノハ、一割ヲ提供シテ貰潰スコトニナルカラ、是ハ非常ニ罹災者ニ氣ノ毒デアル、行政權ガ司法權ノ權利義務ヲ確定スルヤウナコトハ氣ノ毒デアルカラ、之ヲ無イヤウニシテ貰ヒタ

ト思ヘバ　矢張此法案ニハ反對ノ意見ニナル、植原君ノ意見モ同樣反對ノ意見ニナル（「サウデナイ」ト呼フ者アリ）反對ニナルノデハナイカ、ソレガ分ラヌコトハナイ、此法案ヲ實行シヤウト思ツタラ反對ニナル（「修正ダ」ト呼フ者アリ）而シテ私共ハ政府ノ原案ニ贊成スル人デモ、斯ノ如キ非常ノ缺陷ト實行ノ出來ナイコトヲ包容シテ居ル所ニ贊成シ得ヌノデアル、故ニ私共ハ此法案ノ缺陷ヲ種々ニ解剖シテ見マスレバ、先程委員長カラ澤山色ト議論ガアリマシタ、此議論ヲ今私ガ此處デ一々申上ゲマセヌガ、吾々諸君ト共通的ノニ見トシテ、此罹災者ヲ前ニ控ヘテ、此幾百萬ノ罹災者ノ幾分ニテモ是ガ復興資金ニナルト云フコトニ付テハ、滿腔ノ誠意ト同情トヲ持ツテ居ルガ爲ニ、此場合諸君ハ此處ヲ理窟ヲ言フケレドモ、事實ト實際ニ依ツテ見マシタナラバ、斯ノ如キ不備ナル法案ヲ、如何ニ立法府ガ之ヲ呑マントシテモ呑ムコトガ出來ナイノデアル（拍手）此呑ムベカラザル天下公ケナル不備缺陷ノアルモノヲ提出シテ居テ、一厘一毛モ讓歩スル餘地ガナイ、此點ヲ動カス餘地ハナイ、何故ナイカト云ヘバ、最初保險會社ト云フモノヲ抱込ンデノ法案デアル、此保險會社ヲ抱込ンダ法案デアルカラ、實際ハ是ハ立法府ガ獨立ノ權威ニ依ツテ爲スベキモノデアルニモ拘ラズ、茲ニ保險會社ト云フ一ツノ相手ヲ控ヘテ立法シタカラ、斯ノ如キ間違ガ出來タル故ニ、之ヲドウシテモ此處デ否決スルカ、鵜呑ニスルヨリ外ナイト云フコトニナル、之ヲ否決スルト云フコトハ吾々ノ本旨デナイ、又之ヲ修正シヤウトシテモ、是等ノモノハ今ノ保險會社ヲ相手ニシテ之ヲ修正シナケレバ出來ナイ法案ニナツテ、法案ニ付テハ殆ド一字一句ヲ斟酌左右スルコトハ政府ハ斷ジテ同意ガ出來ヌ、若シソレヲヤツタナラバ此法案ハ廢案ニナルヨリ外ナイト云フコトヲ政府ガ既ニ言明シテ居ル、吾々ハ決シテ斯ノ如キモノヲ立法府ニ強要スルト云フコトハ、既ニ議會政治立憲政治ヲ無視シテ居ルモノト言ハナケレバナラヌ（拍手）故ニ私共ハ此審査ノ中止ヲ致シタト云フ意味ハ、諸君ト共ニ同論デアル、同論デアルガ此際カ一日カ半日ノ議會ニ於テ一億八千万圓ト云フ巨額ノモノ、而モ之ニ對シテ利害關係ヲ有シテ居ル者ハ多數デアル、是等ノ利害ヲ考慮シ、國家ノ財政ノ上カラ考慮シ、又罹災者、被保險者以外ノ罹災者モ澤山アル、此罹災者ハ卽チ四十五万戸ト稱シテ居リマスケレドモ、保險ニ依ツテ救濟サレルモノハ僅ニ十万戸位シカナイ、總體ノ被保險額ハ二十九万件アル、二十九万件アリマスケレドモ、其二十九万件ト云フモノハ戸數ニシテ見ルト云フト、其保險ハ二重ニナツテ居ルノモ、三重ニナツテ居ルノモアリマスカラ、之ヲ分類シテ精密ニ調査シテ見ルト十万戸カ八万戸ニナル、四十五万戸ノ中ノ八万戸ダケハ救濟シ後ノモノハドウスルカト云フ、實ニ重大ナル問題ガ横ハツテ居ル、併ナガラ此問題ハ社會政策ヲ加味シタル所ノ法案トスルナラバ、農商務省ノ所管デナクシテ、是ハ社會局ノ所管ニナツテ來ル、故ニ大藏大臣、內務大臣、農商務大臣ト併セテ是等ノモノヲ綜合シナケレバ、此救濟ノ社會的ノ實際ノ實行ト云フコトハ出來ナクナル、故ニ此法案ハ如何ニ見テモ不備デアルカラ、已ムヲ得ズ政府ノ考慮ヲ待ツテ、最早半日カ、僅カ數時間ヲ餘スノミデアリマスカラ、此場合強テ贊否ヲ決シテ否決ヲスルト云フコトハ、多大ノ玆ニ失望ヲ生ズル點モアルシ、又之ヲ貴族院ニ送ツテ見テモ、審議未了ニナルコトハ明カデアル、ソンナコトハ考慮スル必要ハナイト云フケレドモ、ソレハ政治ハ實際ヲ論ジナケレバイケナイ、唯ゝ空論デハイケナイ、貴族院ニ廻ツテ審議スル餘地モナシ、衆議院ニ於テ之ヲ否決スルト云フコトハ敢テシナイ、其處ニ溫情ヲ持チ、好意ヲ持チ　罹災者ニ同情ヲ持ツテ此法案ハヨリ以上ノモノヲ揆ヘテ、救濟ノ目的ヲ達シヤウト云フノガ卽チ吾々ノ目的デアリマスカラ、此意味ニ於テ中止ト云フ動議ニ贊成ヲ致シタ次第デゴザイマス（拍手）

○議長（粕谷義三君）　植原悅二郎君

〔植原悅二郎君登壇〕

○植原悅二郎君　私ハ玆ニ委員長ノ報告ニ贊成ノ意思ヲ表示スル者デアリマス（「贊成カ」ト呼フ者アリ）不贊成ノ意思ヲ表示スル者デアリマス、此委員長ノ報告ニ反對スルニ付キマシテハ、此法案ノ審議ヲ進行セシメズトスル所ノ理由ヲ、政友會デ御述ニナツタモノガ正シイカ否ヤヲ正確ニ判斷スル必要ガアルト思ヒマス、色ゝノ感情ニ渉リマスル所ノ議論ハ別問題ト致シマシテ、先ヅ第一ニ此問題ヲ考慮スルニ付テ考ヘナケレバナラナイトコトハ、此法案ハ保險會社ニ關スル問題ヲ解決スルモノデアル、保險會社ニ關スル問題ヲ解決シナイ場合ニ於テハ、今日ノ狀態ニ於テハ隨分法律上ノ紛糾ヲセシムル、且結果保險會社ヲ破產ノ狀態ニ陷ラシムル虞ハ非常ナモノデアルト云フコトガ一ツノ點デアリマス、モウ一ツノ點ハ被保險者ハ保險ガ取レルモノト思ウテ居ツタガ、ソレガ地震約款ニ依ツテ取レナイ、非常ナ悲慘ナル所ノ狀態デアル、此被保險者ノ悲慘ナ狀態ヲモ一面ニ於テ救濟シテ、保險會社ノ存立ヲ完ウセシムルト共ニ、被保險者ニ對シテモ相當ノ援助ヲ與ヘテ、經濟的復興ヲ圖ラナケレバナラナイト云フコトガ、此法ノ出來マシタ所ノ根本ノ義デアルコトヲ諒解シナケレバナリマセヌ、只今東君ガ縷々述ベラレマシタケレドモ、私ハ其要旨ヲ得ルニ苦シンダ者デアリマス、私ノ昨日ノ議論ニ對シテハ、

東君ハ全ク御諒解ナスッテ居ラナイ、只今東君ノ述ベラレタ問題ハ、中心ハ此一點ニ歸スルノデアリマス、澤山言葉ハ述ベラレマシタケレドモ、結論ハ斯樣ナ事デアル、保險ニ掛ッテ居ル者以外ニ、震災ノ爲ニ非常ナル慘害ヲ受ケタル者ガ多イ、其戶數ハ四十五万戶ニモ達スル、然ルニ保險ニ掛ッテ居ル者ハ十万內外デアル、其十万圓內外ノ爲ニ、此問題ヲ解決シテアトヲ殘シテ置クト云フヤウナコトハナイカラシテ、故ニ此問題ヲ是レ以上審議スル必要ハナイト云フ、此一點ニ御議論ガ歸著スルモノト私ハ承知致シマシタ（「ノー〳〵」）其先ガアル」ト呼フ者アリ）私ハ其他ノ問題ヲ論ジマスガ、ソレガ主ナル要點デアリマス、其要點ニ對シテ私ハ斯樣ニ考ヘマス、總テノ罹災民ヲ一般ニ經濟的ノ復興ヲセシメヤウトシテ、純然タル社會政策ヲ實行致シマシテモ、保險會社ノ問題ハ、其儘ニ殘ッテ居リマス、故ニ保險會社ノ問題ヲ解決セナイデ宜シイト云フ政友會ノ議論デアルナラバ、此問題ヲ審議未了ニ付シ、若クハ否決スルモ更ニ差支ナイノデアリマスケレドモ、政友會ノ諸君ト雖モ、保險會社ノ問題ヲ此儘ニ捨テ置イテ宜シイトハ仰シヤラナイ、又被保險者ノ問題ヲ此儘ニシテ置イテ宜シイトハ仰シヤラナイ、故ニ私共ノ立場ト致シマシテハ、保險會社對被保險者ノ問題ハ之ニ依ッテ解決スル、罹災民一般ニ對シテハ社會政策ヲ施ス爲ニ、政府ニ適當ナル所ノ立案ヲ爲シテ、次ノ議會ニ臨マシムルト云フコトガ、私共ノ主張デアリマス（拍手）一般ノ罹災民ニ對スル社會政策ト保險問題解決トハ全ク根本ニ於テ異ナル問題デアルト云フコトヲ、諒解シテ掛ラナケレバナリマセヌ、次ニ政友會ノ諸君ノ主張セラルル所ハ、若シ此問題ヲ此樣ニ解決シタナラバ、被保險者ノ立場カラ云ッテ、法律上保險會社ト相當ニ爭フ所ノ權利ガアルモノヲ、之ヲ拋棄シナケレバナラナイト云フ御議論デアリマス、併ナガラ此法案ニ依リマスレバ、左樣ナ必要ハアリマセヌ、此法案ハ見舞金トシテ、保險會社カラ被保險者ニ提供シヤウ、其提供ノ手續ハ示談ニ依ルコトハ當然デアリマス、若シ被保險者ガ其見舞金ヲ領收スルコトヲ拒絕シテ、法廷ニ於テ爭ハウトスルナラバ、是ハ敢テ保險會社ト云ヒ、政府ト云ヒ、強制スルモノデハ斷ジテアリマセヌ（ソンナ事ハナイ」ト呼フ者アリ）法文ノ上デハ左樣デゴザイマス、強制的ニスルモノデハアリマセヌ、若シ政友會ノ諸君ガ、此法律ガ通過シタ爲メニ、被保險者ガ法理上ニ於テ保險會社ト其權利義務ノ問題ヲ爭ハウトスルモノヲ、政府ガ強テ案ヲ成立セシメテ強制スルモノデアルト解釋スルニ至ッテハ、其解釋ガ極メテ曲解無法ナ解釋デ、政府ニ於テモ左樣ナ意思ナキコトヲ言明サレテ居リマス、次ニ政友會ノ諸君ノ申ス事ハ、政府カラ保險會社ニ貸渡ス所ノ金ハ、之ヲ會社ノ貸借對照表ニ辨濟ノ期ノ到達スル迄明記セシメズト云フコトガアルカラ不都合デアルト云フ御議論デアリマス、是ハ現在ノ商法ノ規定ニ異例ヲ作ルモノデアルガ故ニ、其御議論ハ御尤モデアリマス、ケレドモ非常ナル場合デアリマス、法律上ノ問題ヲ以テ之ヲ爭フ問題ナラバ、問題ハ起リマセヌ、前代未聞ノ此ノ慘事ニ對シテ、極メテ迅速ニ被保險者ヲ救濟シテ、經濟的復興ヲ圖ラナケレバナラナイ、ソレト共ニ保險會社ヲ強テ破產ノ窮境ニ陷ル立場ヲモ幾分救濟シテ、保險會社ノ存續ヲ圖ラナケレバナラナイト云フ意思ガアリマス、火急ノ場合ニ於テ、非常ナル所ノ事變ニ對シテ應急ノ政策ヲ執ル場合ニ於テハ、異例ヲ設クルコトハ當然デアリマス、非常ナル所ノ前代未ダ曾テ類例ノ無イ事デナケレバ、異例ヲ取ル必要ガアリマセヌ、諸君ノ目前ニ此震災地ノ慘憺タル光景ハ御分リデアリマセウ、東君モ之ニ對シテ同情ヲ有シテ居ルト云フ、然ラバ此非常ナル場合ニ於テ、或ル一部ノ異例ヲ設ケテ此問題ヲ解決スルコトハ、當然デアリマセウ、更ニ昨日モ政友會ノ熊谷君ハ斯樣ナ御議論ヲ爲サレマシタ、此問題ニ依ッテ內國ノ保險會社ハ、日本ノ法律デ處置スルコトガ出來ルカモ知レナイ、外國ノ保險ニ掛ッテ居ル者ハ、日本ノ法律ヲ以テ強制スルコトガ出來ナイカラ、外國ノ保險ニ掛カッテ居ル被保險者ヲ同一ニ救濟スルノ途ナシ、ソレ故ニ此案ノ審議ヲ進行セシムル事不可ナリト云フ御議論ガアリマシタ、之ニ對シテ政府當局ハ斯樣ニ答ヘテ居リマス、內國ノ保險金ガ十五億アル、外國ノモノガ約三億アル、全體ヲ通ジテ十八億ト計算ヲシ、此一割トシテ一億八千万圓ヲ政府ハ保險會社ニ共濟共辨ノ途ヲ以テ貸付ケルコトニナッテ居ルノダ、外國ノ保險會社ハ日本ノ保險協會ト、其協會ノ一員トシテ同一ナル步調ヲ取ッテ居ル、保險協會、保險會社ノ言明ニ依リマスルト云フト、是等モ協調ノ步調ヲ取レルモノト確信シテ居ルト云フコトデアリマシタ、シテ見レバ政友會ノ諸君ノ言フ外國ノ保險ニ掛カッテ居ル者ヲ同一ニ救濟スルノ途ナシト云フ、理由ヲ以テ、此案ノ審議ノ進行ヲ中止セシムルト云フ事ハ、極メテ不當ナル事ト申サナケレバナリマセヌ、更ニ政友會ノ諸君ノ御議論ハ、小口保險者ト大口保險者トヲ同一ニ取扱ッテ居ル事ハ不都合ダ、是ハ私共モ社會政策ノ立場カラ考ヘマスレバ、左樣ニ思ヒマス、ケレドモ是ハ政府對罹災民ノ問題ダケデアリマスルナラバ、極メテ公平ニ取扱フコトガ、出來マス、然ルニ政府ト被保險者トノ中間ニ保險會社ガ存在シテ居リマス、大口ノ保險ヲ持ッテ居ル保險會社ハ、財政極メテ裕カデアリマス、併ナガラ小口ノ保險ヲ取扱ッテ居リマスル所ノ保險會社ハ、財政ノ狀態極メテ貧弱デアリマス、故ニ政府提案ノ小

日保險ヲ取扱ツテ居ル保險會社ガ、一割ノ金ヲ被保險者ニ與フルニ致シマシテモ、尚ホ其金利ニ朱ノ負擔ヲ負ウテ行クコトニナツテ居リマス、若シ是レノ率ヲ非常ニ增加セシメルヤウナコトガアリマシタナラバ、其金利ノ支拂ノミヲ以テシテモ、將來保險會社ハ現在ノ財政ノ狀態ニ於テ、極メテ窮地ニ陷リ、甚シキニ至ツテハ破產スル者頻出スルト云フ虞レ無シトモ斷言ハ出來ナイノデアリマス、此法案ノ趣意ハ成ベク社會公共ノ爲メ現在セル保險會社ヲ存續セシメタイト云フ精神ニ基クノデアリマス、大キイ保險會社カラ申シマスレバ、共濟共辨ノ途ニ依ツテ共通ニ一割ヲ支拂フト致シマシテモ、辨濟ノ場合ニ於テ大保險會社ハ小保險會社ノ爲ニ多少ノ犧牲ヲ拂ハナケレバナラナイ立場ニナリマセウ、若シ此率ヲ變ヘルヤウナコトガアリマシタナラバ、大保險會社ト小保險會社トノ間ノ利益反スルガ故ニ、遂ニ火災保險ノ問題ヲ永久ニ未解決ニ殘シ、有ユル所ノ被保險者ノ狀態ヲ不安狀態ニ陷ラシメ、又保險會社ラシテ破產頒出セシメルト云フ虞アルノデアリマス、ソレ故ニ私共ド致シマシテハ、此大口保險會社ト小口保險會社トノ間ニ於テ、政治的ニハ之ヲ解決出來ル、併ナガラ社會政策ノ立場カラ申セバ、稍〻徹底セザル所ガアル、是ハ此法ヲ實行スル場合ニ於テ、政府デモ努メテ此缺陷ヲ諒解シテ、成ベク此缺陷ヲ補フ所ノ方針ヲ取ツテ、此案ニ依ツテ保險會社ト最善ノ努力ヲ盡セト云フコトガ私共ノ希望デアルノデアリマス、若シ保險會社ト被保險者ノ問題ヲ解決シヤウトシ、大保險會社、小保險會社モ同一ノ理由ニ於テ存續セシメヤウトスルナラバ、東君モ此缺陷ヲ認メテモ吾々ノ意見ニ同意セラレナケレバナラナイ筈デアルノデアリマス、而シテ今日マデ保險ノ問題ガ天下ノ問題トナツテカラ三箇月、此問題ガ議會ニ於テ論議セラレルコト十日以上、而シテ政友會ノ諸君ハ色〻ニ之ヲ非難攻擊ナザレマス、法理ノ上カラ、純理ノ上カラ缺點ノアルハ免レマセヌ、非常時ニ處スル所ノ應急政策デアリマス、政治的ニ法律デ解決ガ出來ナイ問題ヲ解決シヤウトスルコトガ此案ノ精神デアリマス、若シ政友會ノ諸君ガ保險會社ヲ潰シテハナラナイ、被保險者ヲ此儘ニシテ置イテハナラナイト云フナラバ、三箇月天下ノ問題トナツテ居ル此問題ヲ、委員會ニ於テ審議未了ノ儘ニ握潰サウトスルノハ、無責任極マルコトデハアリマスマイカ、諸君ハ宜シク此案ガ不都合ナラバ、之ヲ否決シテ、對案ヲ御出シナサルガ宜シイ、若シソレモ出來ナケレバ修正ヲスルコトモ否決スルコトモ、特別委員會、本議會、議員ノ有スル所ノ權能デアリマス、ソレヲ爲シ能ハザルガ故ニ、其責任ヲ免レヤウトスル爲ニ、審議未了ニ此問題ヲ閣カラ閣ニ葬ラウトスルノハ、少クモ國民ノ輿論ヲ擔ウテ政治ノ責任ヲ有スル者ニ對シテハ、無責任ノ行動ナリト批評サレテモ辯明ノ辭ハアリマセヌ、如何ナル立場カラ考慮致シマシテモ、否決スルカ修正スルカ、政友會ノ諸君ハ吾々ハ議會ノ多數黨デアル、吾々ハ國民ノ輿論ヲ擔ウテ居ルト云フコトヲ屢〻公言ナサル、其立場カラ申シマシテモ、此位ノ問題ヲ審議未了ニ握潰サズシテ、是ニ對シテ對案ヲ立テ、修正案ヲ立テルダケノ御用意ト責任トヲ持チ能ハザルモノデアリマスカ、誠ニ私ハ政友會諸君ノ此問題ニ對シテ不深切デアル、加之若シ將來此問題ヲ玆ニ解決セズシテ未解決ノ儘ニ置イタガ故ニ、天下ノ人心ハ不安ニナリ、保險會社ノ破產ガ續出シ、經濟的ノ復興ヲ遲延ナラシメルヤウナ事ガアリトスレバ、其責任ハ政友會ノ諸君御取リナサラナナレバナラヌト御覺悟ヲ爲サナケレバナリマセヌ、故ニ私ハ玆ニ此理由ニ依ツテ委員長ノ報告ニ反對スルト共ニ、私ハ議事ノ進行ニ付キ議長ニ御尋シテ置イタガ、其後ノ御答辯ガナイヤウデアリマスガ、宜シク是ハ既ニ今迄ノ特別委員ガ自ラ此議事ヲ進行セシムル所ノ能力ナキコトヲ自覺シテ、審議未了ニ付シタモノデアリマスナラバ、議長ハ宜シク此際ニ九名ノ特別委員ヲ擧ゲテ、委員會ニ付託セラレルコトヲ私ハ希望スルノデアリマス

○議長（柏谷義三君）　政府委員ヨリ發言ヲ求メラレテ居リマス、竹內政府委員

〔政府委員竹內友次郎君登壇〕

○政府委員（竹內友次郎君）　只今御討議ニナツテ居リマスル議題ハ議事ノ手續ニ關スル事ト考ヘルガ、隨テ政府カラ彼此レ申スベキ筋合デハナイノデゴザイマス、只今ノ御討議ノ內容ヲ伺ツテ見マスルト、贊否雙方ノ方々トモ政府案ハ極メテ不完全、不完全ト云フコトヲ御聲明ニナツテ居リマス、而シテ此議場ノ大勢ヲ考ヘルニ、恐ラク火災保險ニ關スル政府案ガ、此議場ノ本會議ニ於テ御討議ニナル機會ガナカラウト密ニ危ンデ居リマスガ、サウナルト云フト、政府案不完全、不完全ト云フコトニ對スル辯明ノ機會ヲ有セナイコトニ相成ルノデアリマス、此際手續ニ關スル御討議デゴザイマスルガ、緣故ヲ持チマシテ簡單ニ一言致シテ置キマス、政府ハ火災保險ニ關スル案トシテ玆ニ提出致シマシタルモノハ、此場合此時期ニ於テ、極メテ適切ナル對策デアルト云フコトノ確信ヲ持ツテ居ルノデゴザイマス、是ダケ申上ゲテ置キマス

○高見之通君　討論終結ノ動議ヲ提出致シマス

○議長（柏谷義三君）　高見君ノ討論終結ノ動議ニ御異議アリマセヌカ

〔「異議ナシ」ト呼ブ者アリ〕

○議長（柏谷義三君）　御異議ナシト認メマス、仍テ討論ハ終結サレマシタ

○高柳覺太郎君　何ノ討論デアリマスカ、問題ハ

何デアリマスカ

○議長（柏谷義三君）　只今討論ハ終結シマシタカラ、採決ニ臨ンデ一言致シマス、此採決ハ先刻來御討論ノ模樣カラ考ヘマシテモ、先刻廣岡委員長ノ御報告ニナリマシタ此問題ニ對スル委員會ニ於テ取ラレタル措置、卽チ此審議ヲ中止セラレタル、此措置ヲ是認スルヤ否ヤト云フコトニ付テ採決ヲ致シマス、此委員會ニ於テ取ラレタル措置ヲ是認スルト云フコトニ同意ノ諸君ノ起立ヲ求メマス

〔同意者　起立〕

○議長（柏谷義三君）　多數デアリマス、仍テ是認スルコトニ決シマシタ――是ヨリ日程ニ入リマス、日程第一、大正十二年勅令第四百九號、承諾ヲ求ムル件ヲ議題ト致シマス委員長ノ報告ヲ求メマス、石川玄三君

第一　大正十二年勅令第四百九號（承諾ヲ求ムル件）（府縣會議員任期ノ件）（貴族院送付）

報告書

一大正十二年勅令第四百九號（承諾ヲ求ムル件）（貴族院送付）

右ハ本院ニ於テ承諾ヲ與フヘキモノト議決致候此段及報告候也

大正十二年十二月二十二日

大正十二年勅令第四百九號（承諾ヲ求ムル件）委員長　石川　玄三

衆議院議長柏谷義三殿

〔石川玄三君登壇〕

○石川玄三君　此勅令ニ基イテ一時延期サレマシタ選擧ハ其地方ノ中靜岡縣ハ既ニ選擧ヲ終リマシテ、更ニ千葉縣ハ近ク來一月ノ二十日ヲ以テ、埼玉縣ハ同月ノ二十五日ヲ以テ選擧ヲ行フコトノ告示ニナツテ居リマス、餘ス所ハ東京府ト神奈川縣ノ兩地方ノミニナツテ居リマス、之ニ對シマシテハ革新俱樂部ノ平野君、憲政會ノ野村君等ヨリ、政府ハ何時頃其選擧ヲ行フ豫定デアルカ、又縣會議員ノ選擧ト衆議院議員ノ選擧トハ何レヲ先ニスル考カ、或ハ同時ニ行フ考カト云フヤウナコトヲ交々質サレマシタガ、政府ハ之ニ對シマシテ、非常災害ニ基ク臨時ノ變則ノ立法ヨリ、一日モ早ク原則ニ復歸シタイ考ヲ以テ努力中デアルガ、未ダ其豫定期日ヲ明言スルノ域ニ達シテ居ラヌ、併ナガラ縣會議員ト衆議院議員ノ選擧ヲ同時ニ行フコトハ、徒ニ民心ノ安定ヲ缺キ、選擧ヲ混亂セシメルノ虞ガアルカラ此兩者ノ間ニハ若干ノ間隔ヲ保ツ考デアルト、斯樣ナ答辯ガアリマシタ、更ニ平野君ヨリハ、既ニ此勅令ニ基イテ延期サレタル選擧ヲ行ヒタル地方ノ期日ノ極メ方ガ甚ダ腑ニ落チナイ、斯ノ如キハ公平ヲ缺クノ嫌ガアルト云フヤウナ感想モ述ベラレマシタガ、委員會ニハサシタル反響モナク、委員會ハ全會一致ヲ以テ承諾ヲ與フベキモノナリト云フ決定ヲ致シマシタ、以上ハ委員會ノ顚末デアリマス

○高見之通君　本案ハ委員長報告通リ承諾ヲ與ヘラレンコトヲ望ミマス

〔「贊成」「贊成」ト呼フ者アリ〕

○議長（柏谷義三君）　高見君ノ動議ニハ御意義アリマセヌカ

〔「異議ナシ」「異ナシ」ト呼フ者アリ〕

○議長（柏谷義三君）　御異議ナシト認メマス、仍テ本案ハ承諾ヲ與ヘルコトニ決シマシタ――日程第二、非常徵發令承諾ヲ求ムル件、日程第三、大正十二年勅令第四百五號承諾ヲ求ムル件、右兩案ヲ一括シテ議題ト爲シ委員長ノ報告ヲ求メマス、委員長不在ニ付キ一宮房治郎君

衆議院議長柏谷義三殿

第二　非常徵發令（承諾ヲ求ムル件）（貴族院送付）

報告書

一非常徵發令（承諾ヲ求ムル件）（貴族院送付）

右ハ本院ニ於テ承諾ヲ與フヘキモノト議決致候此段及報告候也

大正十二年十二月二十二日

非常徵發令（承諾ヲ求ムル件）理事　一宮房治郎

衆議院議長柏谷義三殿

第三　大正十二年勅令第四百五號（承諾ヲ求ムル件）（暴利取締ノ件）（貴族院送付）

報告書

一大正十二年勅令第四百五號（承諾ヲ求ムル件）（貴族院送付）

右ハ本院ニ於テ承諾ヲ與フヘキモノト議決致候此段及報告候也

大正十二年十二月二十二日

大正十二年勅令第四百五號（承諾ヲ求ムル件）理事　一宮房治郎

衆議院議長柏谷義三殿

〔一宮房治郎君登壇〕

○一宮房治郎君　委員會ノ結果ヲ御報告致シマス、非常徵發令ハ去ル九月一日ノ地震ニ因リマシテ、東京ニ於ケル食糧、建築材料、衞生材料、其他勞力等ノ非常ナル缺乏ヲ見ルニ至ツタノデアリマス、然ルニ被害者ノ救濟ノ爲ニ、是等ノ材料ヲ至急ニ供給スルノ必要ガ生ジタノデアリマスルガ、商業機關其他是等ヲ供給スル所ノ民間ノ材料ガ缺乏致シテ居リマスルガ爲ニ、之ヲ緊急勅令ニ依ツテ、官廳ノ手ニ於テ之ヲ徵發スルコトヲ許スコトヲ規定シタノガ、卽チ本勅令ノ大要デアリマ

ス、本勅令ノ目的ト致シテ居ルコトニ付キマシテハ、既ニ大體其目的ヲ達スルコトヲ得マシテ、今後ニ於テハ最早本令ニ依ツテ建築材料、衞生材料、其他勞力等ノ徵發ヲ行フ必要ハナイノデアリマス、ケレドモ本令ノ適用ニ依ツテ徵發シタル所ノ材料勞力等ニ對スル賠償、或ハ價額ノ辨濟ト云フモノガマダ完了致シテ居ナイ、ソレデ是等ノ事務ノ完了スル迄本令ヲ存續シタイト云フノガ政府ノ本令ヲ尚ホ存置致シタイト云フ希望デアルノデアリマス、委員會ニ於テハ仔細ニ質問應答ノ結果、是等ノ殘務ヲ完了スル迄ハ存置ノ必要アルモノトシテ　承諾ヲ與フルコトニ決定ヲ致シマシタ、次ニ大正十二年勅令第四百五號デゴザイマス、是ハ所謂暴利取締ニ關スル緊急勅令デアリマシテ、震災ノ際ニ生活必需品ガ非常ニ缺乏ヲ來シタ、此間ニ乘ジテ民間ノ當業者ガ暴利ヲ貪ル目的ヲ以テ買占又ハ賣惜ヲ爲シテ、サウシテ不當ナル價格デ販賣ヲ爲ス者ガアルコトヲ慮ツテ、之ヲ豫防スル爲ニ本令ノ施行ヲ見タ次第デアリマス、今日ハ最早經濟機關ガ餘程回復ヲ致シテ居ルノデアリマスケレドモ、今日ニ於テモマダ十分是ガ平生ノ狀態ニ返ツテ居ラナイ、隨テ此間ニ乘ジテ尚ホ斯カル暴利ヲ得ル目的ヲ以テ、不當ナル賣惜、買占ヲ爲ス者ガアリマスカラ、尚ホ本案ヲ存續スル必要ガアルノデアラウ、是ハ委員會ノ質問應答ノ結果ニ於テ、尚ホ此必要アリト認メマシテ、委員會ハ滿場一致承諾ヲ與フルコトニ決シヤウナ次第デアリマス、就テハ右二案ニ付キマシテハドウカ委員會ノ決定ノ如ク、承諾ヲ與ヘラレンコトヲ希望致シマス

○高見之通君　日程第二及第三ノ兩案ハ一括シテ委員長報告ノ通リ、承諾ヲ與ヘラレンコトヲ望ミマス

〔「贊成」「贊成」ト呼フ者アリ〕

○議長（粕谷義三君）　高見君ノ動議ニハ御異議ナイト認メマス、仍テ兩案共承諾ヲ與フルコトニ決シマシタ――日程第四、大正十二年勅令第四百三號、承諾ヲ求ムル件、之ヲ議題ト致シマス、委員長ノ報告ヲ求メマス　委員長鵜澤總明君

第四　大正十二年勅令第四百三號（承諾ヲ求ムル件）（治安維持ノ爲ニスル罰則ノ件）（貴族院送付）（委員長報告）

報告書

一大正十二年勅令第四百三號（承諾ヲ求ムル件）（貴族院送付）

右ハ本院ニ於テ承諾ヲ與フヘキモノト議決致候此段及報告候也

大正十二年十二月二十二日

大正十二年勅令第四百三號（承諾ヲ求ムル件）委員長

鵜澤　總明

衆議院議長粕谷義三殿

〔鵜澤總明君登壇〕

○鵜澤總明君　勅令第四百三號ノ委員會ノ經過及結果ノ報告ヲ極メテ簡單ニ致シマス、此勅令ハ御承知ノ如ク暴行、騷擾、其他生命、身體、又ハ財產ニ危害ヲ及ボスヤウナ犯罪ノ煽動ヲ罰スルト云フコトガ一箇條デアリマス、モウ一箇條ハ、安寧秩序ヲ紊亂スルノ目的ヲ以テ治安ヲ害スル事項ヲ流布シタル者ヲ罰スル、最後ノ一ツハ、人心ヲ惑亂スルノ目的ヲ以テ流言　浮說ヲ爲シタル者ヲ罰スル、斯ウ云フノデアリマス、刑期ハ十年以下ノ懲役若クハ禁錮又ハ三千圓以下ノ罰金ニ處ス、斯ウ云フ簡單ナ勅令デアリマス、之ニ付キマシテ委員會ニ於キマシテハ、原君、清水君、横山君、高柳君、南君、其他諸君ノ質問ガアリマシタ、春田君、黒住君ノ質問モアツタノデアリマス、ソレデ此緊急、卽チ九月一日ノ大震災ノ如キ非常ナル場合ニ於テ、公安維持ノ爲ニハ緊急儉儀ナキモノデアツタト云フ趣旨ヲ、質問者諸君ハ皆認メタノデアリマスルガ、尚ホ將來ニ向ツテ效力ヲ持續スル必要ガアルカナイカト云フコトニ付テ、深ク質問審議ヲ致シタノデアリマス、此勅令ニ依リマシテ現在檢擧セラレ、問題トナツテ居リマスルモノニシテ、裁判確定シタモノハ五件、確定セザルモノハ五件、其外ノモノハマダ搜査中ト云フコトニ相成ツテ居ルノデアリマス、犯罪ハ煽動ト云フヤウナ事例ト致シマシテハ、其事件ノ一ツハ或ル地方ニ於キマシテ、金持ハ貧乏人ヲ掠奪シタモノデアルカラ、金持ニ對シテ放火、殺人、詐欺等ヲ致スモ差支ナイ、大ニヤルベシ、斯ウ云フヤウナ事案ガ問題トナツテ居ルノデアリマス、ソレカラ流言蜚語ノ方ノ場合ニ付キマシテハ、或處ニ於テ二名ノ兇漢ガ捉マツタ、其兇漢ハ金ヲ二万五千圓持ツテ居ツタ、爆彈多數ヲ携ヘテ居ツタト云フヤウナコトヲ演說ヲ致シテ居ツタト云フヤウナ事例ガ問題トナツテ居ルノデアリマス、ソコデ本案ニ付キマシテハ質問終了ノ後ニ討論ニ移リマシテ、本案ニ付テ承諾ヲ與フベシトノ意見ハ中島君、横山君、春日君等カラ述ベラレタノデアリマスガ、承諾ヲ與フベシトスル其理由ニ至リマシテハ、多少ノ相違ガアルノデゴザイマス、是ハ何レ討論デゴザイマスカラ、其討論ノ際ニ於テ、竝ニ速記錄ニ於テ御承知ヲ願ヒタイノデゴザイマスガ、反對ノ論ハ高柳君、南君ガ反對ニナツタノデゴザイマスガ、委員會ハ多數ノ決議ニ依リマシテ、本勅令ニ對シ承諾ヲ與フベシト云フコトニ決議ヲ致シタノデアリマス、此段御報告ヲ致シマス

○議長（粕谷義三君）　是ヨリ討論ニ入リマス、通告ニ依ツテ順次其發言ヲ許シマス――高柳覺太郎君

〔高柳覺太郎君登壇〕

○高柳覺太郎君　私ハ只今委員長ノ報告ニナリマシタ其報告ニ反對ノ意ヲ表スル者デアリマス、即チ本勅令ノ廢止ヲ希望スル者デアリマス、極メテ簡單ニ此勅令ノ存續スベカラザル理由ヲ述ベヤウト思ヒマス、震災當時ニ於キマシテハ、種々ノ流言蜚語ノアッタガ爲ニ、此勅令ノ必要モアッタト認メマス、又此勅令ノ爲ニ相當ノ效果ヲ收メラレタコトモ、吾々ハ認ムル所デアリマス、併ナガラ既ニ三箇月有餘經過シテ居リマス今日ニ於テ、最早此勅令ヲ存續スル必要ハナイト思フノデアリマス、政府ノ言明ヲ聽キマスレバ、今猶ホ此社會人心ノ不安ガ去ラナイ、未ダ人心ノ安定ヲ得ナイノデアルカラ、ドウシテモ此勅令ハ存續シナケレバナラヌト云フノデアリマス、然シ吾々ノ見ル所ニ依リマスレバ、既ニ戒嚴令モ撤廢ニナリマシタ、今日、殆ド人心モ安定シ、大體ニ於テ秩序モ回復サレタル今日ニ於キマシテハ、此頗ル嚴格ニ失スル斯カル勅令ハ、全然廢止スベキモノデアルト思フノデアリマス、此勅令ノ發布以來、適用ヲ受ケタル所ノ犯罪事件ハ、只今委員長カラ御報告ニナリマシタガ僅ニ十件、被告人ハ十人デアリマス、而モソレハ九月七日、此勅令ノ發布サレマシタ當日カラシテ、九月二十四日ニ至ル間ノ犯罪事件デアリマス、九月二十四日以後ニ於テハ、何等起事ヲ生ジ、而モ鮮人ニ對シテノ虐殺事件ノ如キハ、全ク恐ルベキ意外ナル出來事デアッタノデアリマス、併シ今日ハ先以テ人心ガ稍〻安定ニ歸シテ、秩序ノ回復サレマシタル此場合ニ於キマシテハ、此危險ナル勅令ヲ存續スル必要ガ無イト認メマシテ、私ハ委員長ノ報告ニ反對スル者デアリマス（拍手）

○議長（粕谷義三君）　横山勝太郎君

〔横山勝太郎君登壇〕

○横山勝太郎君　極メテ簡單ニ戒嚴ヲ本令ニ對スル意見ヲ表白致シテ置キマス、連日ノ委員會ニ於キマシテ、本員ハ極メテ詳細ナル質問ヲ試ミマシタ、質問ノ大體ハ速記錄ニ依ッテ御諒承ヲ願ヒタイノデアリマスルガ、本員等ノ本令ニ付テ最モ遺憾ニ感ジマシタ點ハ、餘リニ本令ノ用語ガ廣汎ニ失シテ居ルト云フ點デアリマス、即チ僅カ一箇條ヲ以テ或ハ治安警察法、新聞紙法、爆發物取締法、警察犯處罰令ノ如キ法律ヲ始メトシテ、現行刑法ノ大部分ニ付テ、一ツソ變更ヲ加ヘタモノデアリマス、殊ニ刑法ニ關スル部分ハ御承知ノ通リニ「出版、通信其ノ他何等ノ方法ヲ以テスルヲ問ハス」ト斯ウ云フ文字ガ書イテアリマス、如何ナル方法ニ依ッテモ宜シイト云フコトデ、現代ノ吾々ノ知識ニ依ッテハ想像スルコトノ出來ナイ方法マデモ、總テ之ヲ包含スルト云フコトニナッテ居リマス、ノミナラズ暴行、騷擾ト云フガ如キ、洵ニ茫漠タル文字ヲ持ッテ居リマス、其ノ他生命、身體、財產ニ危害ヲ與フル犯罪ヲ煽動スルト云フコトデアリマスルカラシテ、殆ド刑法ノ全體ニ亙ッテノ煽動罪ト云フモノヲ規定シタコトニナッテ居リマス、此勅令ハ僅ニ一箇條デアリマスルケレドモガ、其適用ノ範圍ハ殆ド現行ノ刑罰法規ノ全體ニ及ンデ居ルト云ッテモ宜シイノデアリマス、而シテ其用語ノ範圍ヲ斯ノ如ク廣タ致シタルノミナラズ、法文ノ內容ニ付テ見マスレバ最モ吾々ガ不安ニ感ズルモノハ、「安寧秩序」ト云フ文字デアリマス、「此安寧秩序」ト云フ文字ノ意義ニ關シテハ、政府當局ト數回ノ質問應答ヲ重ネマシタガ、吾々ハ政府委員ノ言明ニ依ッテ此「安寧秩序」ナル文字ノ意義ヲ明確ニ理解スルコトノ出來ナイト云フコトヲ、甚ダ遺憾トスル者デアリマス、政府當局ハ「安寧秩序」ト云フ文字ヲ杞憂ヲ懷ク人ガアルカモ知レマセヌ、併シ私ハ實際ニ於テ無イト云フコトヲ確信スル者デアリマスガ、縱シ假ニアルト致シマシテモ、此勅令ガ廢止ニナリマシテモ、此勅令ニ代ル所ノ現行ノ各刑罰法規ニ於テ、相當取締ガ出來ルノデアル、例ヘバ新聞紙法ト云ヒ、或ハ治安警察法ト云ヒ、或ハ警察犯處罰令ト云ヒ、或ハ選擧法ノ罰則ト云ヒ、爆發物ノ取締規則ト云ヒ、是等ノ諸法規ニ依ッテ、此勅令ニ規定シテアル所ノ犯行ハ、大體ニ於テ取締ガ出來ルノデアリマス、唯、勅令以外ノ現行ノ法規ハ、此勅令ト比較致シマシテ、其多クハ刑ガ輕イノデアル、刑ハ輕イノデアリマスケレドモ、相當ノ取締ハ出來ル譯デアリマス、故ニ此嚴酷ナル刑罰ヲ存スル所ノ此勅令ヲ存續シテ居ル必要ハナイト思フノデアリマス、成程震災當時ニ於キマシテハ、非常ナ人心ノ不安ヲ極メタモノデアリマス、種々ノ流言蜚語ノアッタモノデアリマス、其流言蜚語ノ大ナルモノハ何テアルカト申シマスルト云フト、彼ノ鮮人襲撃ノ流言蜚語デアリマス、此鮮人襲撃ノ流言蜚語ハ一體何人ガ造ッタノデアリマスカ、何人ガ流布シタノデアリマスルカ、私ハ其出處ヲ調ベタラバ案外ナ處ニアルダラウト思フ、或ハ警視廳カ、或ハ警保局カ、流言蜚語ノ如キハ或ハ官憲ノ手ニ依ッテ搜造サレタノデハナイカト云フ疑ヲ懷クノデアリマス、併シ是等ノ流言蜚語ノ爲ニ、其當時ニ於キマシテハ意外ナル出來

ハ憲法ニモ其他ノ法規ニモ使用シテアル文字デアル、殊ニ幾多ノ前例モアルカラシテ、其意味ハ明瞭デアルト、斯ウ云フ御答辯デアリマシタ、古イ法律ニ揭ゲテアル文字、或ハ前例ハ暫ク別ノ問題トシテ、政府當局カラ此法令ニ使ツテアル――此勅令ニ使ツテアル「安寧秩序」ト云フ意味ハドウ云フコトデアルカ、ソレヲ積極的ニ定義ヲ下シテ吳レト申シマシテモ、ソレニ對シテハ明快ナ答辯ガナカツタノデアリマス、故ニ、政府當局デハ分ツテ居ルト云ツテ居リマスケレドモガ、吾々民間ノ者ニ於テハ分ラヌコトニナツテ居リマス、結局水掛論ニ了ツテ居リマス、而シテ此「安寧秩序」ト云フコトノ判例ニ付テ申上ゲマスレバ、司法大臣モ是ハ承認セラレテ居リマシタガ、第一審ニ於テ安寧秩序ヲ害スルモノデアルト裁判所ガ認メタモノガ、最終審ニ於テ安寧秩序ヲ害スルモノニアラズト認メラレタル例ガアル、又一審ニ於テ安寧秩序ニ害無シト認メタモノガ、最終審ニ於テ安寧秩序ヲ害スルモノデアルト認メラレタ反對ノ例モアリマス、是ハ全國ノ裁判所ニ於テ屢〻起ル問題デアリマス、即チ古キ既往ノ法律ニ「安寧秩序」ト云フ文字ヲ規定シテアリマシテモ、其意味ハ必ズシモ國民ニ徹底致シテ居ラヌト云フコトガ、是ガ實際ノ事情デアリマス、故ニ此勅令ノ適用上「安寧秩序ノ目的ヲ以テ」ト云フヤウナ文字ヲ使用致シテ置キマスレバ、國民ノ側ニ於テハ非常ナル危險ヲ感ズルト云フコトハ、之ヲ吾々今日忍耐セザルヲ得ヌコトニナリマス、一例ヲ擧ゲマスルナラバ、過日モ政友會ノ小川氏ヨリ御質問ニナツテ居リマシタガ、內務大臣ガ無政府主義者ニ金錢ヲ與ヘタト云フ例アリシト致シマス、內務大臣ハ無政府主義者ニ金ヲ與ヘテモ、ソレハ無政府主義者ヲ防グ爲デアツテ之ヲ保護スル爲デハナイト、斯ウ仰シヤツタケレドモガ、吾々常識ノ判斷ニ依リマスルト、無政府主義者ニ金ヲ遣ルト云フコトハ、或ル程度マデ無政府主義者ノ生活ノ安定ヲ得、生活ノ安定ヲ得ルナラバ、是ガ主義ノ宣傳ニ努ムル機會ヲヨリ多ク與ヘルト云フコトハ、當然ノ事デアリマスルカラシテ、此意味カラ申シマスレバ、與ヘタル本人ハ何ト辯護ヲ致シマシテモ、之ヲ審判スル檢事裁判官ノ側カラ見レバ、ソレハ安寧秩序ヲ害スルノ目的ヲ持ツテ居ルモノデアルト云ヘバ、ソレデ事實ノ認定ハ濟ムノデアリマズ、即チ本令ノ適用如何ニ依ツテハ、斯ノ如キ行爲ヲモ罰セラルヽト云フコトニナル、之ヲ罰スルノガ善イカ惡イカト云フコトハ暫ク前ノ問題トシテ、本令ノ適用上、適用ヲ受クル者ニ於キマシテハ非常ナル危險ヲ感ズルト云フコトハ申スマデモナイト思ヒマス、ソレカラ刑ノ範圍ニ關シテハ、必ズシモ本令ガ刑ガ悉ク重イトハ申シマセヌケレドモガ、流言浮說ノ點ニ關スルガ如キハ警察犯處罰令ノ規定ニ依レバ、僅カ二十日カ三十日、若クハ二十圓、三十圓ノ科料ニナツテ居ル、即チ單純ナル科料、若クハ拘留ニ關スル規定ガ、十年以下、三千圓以下ノ罰金ニナルト云フヤウナ事柄ハ、如何ニシテモ立法上甚ダ危險ナル方法デアルト云フ事柄ハ、殆ド疑ヒアルマイト私ハ考ヘマス、此故ニ吾々ハ本令ノ適用上非常ニ危險ヲ感ズルト云フコトヲ、政府當局ニ質問ヲ致シマシタ、當局ハ本令ノ適用ニ付キマシテハ十分ナル注意ヲスル、又是マデ相當ナ手段モ執ツテ居ル、今後質問者ノ申ス如キ危險ノ無イヤウニスルト云フコトニ付テハ、最善ノ努力ヲスル意味ノ聲明ガアリマシタ、此故ニ此問題ヲ承諾ヲ與ヘルカ與ヘヌカト云フコトノ根柢ハ、今反對ニナリマシタ高柳君ノ說モ、質問者ノ吾々ノ說モ、政友會ノ說モ殆ド皆同樣デアリマス、唯、各方面ノ意見ノ異ナル點ハ、之ヲ何時マデ存續セシムルカト云フコトガ、最モ重要ナル問題デアリマス、黑住君カラモ之ニ對スル詳細ナル質問ガアリマシタ、要スルニ是等ノ點ニ對スル平沼法相ノ答辯ノ要旨ハ、極メテ詳細ニ亙ツテ居リマスガ、其要點ヲ申上ゲマスルナラバ、結局國情ノ安定スルヲ待ツテ一日モ速ニ本令ヲ撤廢シタイ、而シテ官民ノ努力ニ依ツテ一日モ速ニ國情ガ安定スルコトヲ希望致シテ居ルノデアル、隨テ此勅令ガ一年半モ二年モ存續スルト云フヤウナ事ハ、洵ニ遺憾ニ思ウテ居ル所デアル、斯ウ云フ工合ニ消極的ノ方面カラ、長イ間本令ヲ適用スルノデハナイ、斯ウ云フ意味ノ聲明ガアリマシタ、之ヲ吾々ハ最モ冷靜ニ、最モ善意ニ解釋致シマスルナラバ、司法當局ニ於キマシテモ、一年半モ、二年モ、三年モ、長キ期間ニ亙ツテ、之ヲ存續セシムルノ意思ヲ持ツテ居ラナイト云フ事柄ヲ、明瞭ニ吾々ハ了解致シタノデアリマス、即チ勅令自體ニ於キマシテハ幾多ノ議論ガアリ、適用上ニ付テハ、吾々國民ハ最モ大ナル不安ヲ感ズル者デアリマスケレドモガ、當局ガ之ヲ長イ間存續セシムルノ意思ヲ有セズ、又之ガ適用ニ付キマシテハ、細心ノ注意ヲ爲シ、相當ナル手段ヲ執ルト云フコトノ御聲明ガアリマシタカラ、吾々ハ此誠意アル司法當局ノ言明ニ信賴シ、平沼法相ノ人格ヲ信ズルノ厚キ、暫ク忍耐ヲ致シテ、只今委員長報告ノ通リ、此案ニ承諾ヲ與ヘルト云フコトニ、我黨ノ態度ガ確定シタノデアルト云フコトヲ、茲ニ表白致シテ置キマス（拍手）而シテ此私ノ言葉ハ、或ガ言辭ノ末ニ於テ多少間違ツテ居ル點ガアルカモ存ジマセヌカラ、茲ニ極メテ簡單ニ文書ニ纏メタルモノヲ、此所デ一讀致シテ置キマシテ、是ガ即チ我黨ノ言ハントスル所ノ全部デアルト云フコトヲ、茲ニ申上ゲテ置キマス「勅令第四百三號治安維持令ハ其規定スル所

汎博ニシテ其用語的確正明ヲ缺キ之カ適用上多大ナル危險ヲ伴ヒ言論壓迫ノ結果ヲ生スヘキヲ以テ政府ハ本令適用上關係官憲ニ對シ相當ナル手段ヲ執リ且ツ次ノ帝國議會ニ本令廢止ノ法律案ヲ提出スヘシ」是デ以テ我黨ノ意思ノ在ル所ノ全部ヲ表白致シタコトニナルノデアリマス、茲ニ終リニ臨ンデ私ハ司法當局ニ希望致シマスコトハ、從來此種ノ適用ニ關シマシテ、幾多ノ人權蹂躙、言論壓迫ノ不祥事ヲ爲シタルコトハ、屢〻此壇上ニ立ツテ諸君ニ向ツテ訴ヘタ所デアリマス、本令ノ適用ニ付テモ、忌ムヘキ言論ノ壓迫デアルトカ、人權蹂躙トカ云フコトノナイヤウニ、最善ノ努力ヲ給ハルコトヲ切ニ希望致シマシテ、茲ニ我黨ノ態度ヲ表明致シ置テキマス（拍手）

○議長（粕谷義三君）　南鼎三君

〔南鼎三君登壇〕

○南鼎三君　私ハ委員長ノ報告ニ反對、卽チ高柳君ノ反對說ニ贊成スル者デアリマス、此勅令ハ彼ノ騷擾ノ場合ニ於テ、最モ時宜ニ適シタルモノデアルト云フコトハ、何人モ之ヲ認メ、ソレハ一致シテ居ル、唯、此勅令ハ將來尙ホ其效力ヲ有セシムル必要アリト云フ此點ガ、贊成ト反對トニ別レルコトニナツテ居ルノデアリマス、橫山君ガ茲ニ只今我黨ヲ代表スルト申サレマシタガ、橫山君個人トシテハ、一日モ早ク斯ウ云フヤウナ勅令ガ廢棄サレンコトヲ希望スル御一人デアルコトハ憲政會ノ控室ニ於テ、吾々之ヲ廢棄スルコトニ努メルノデアルト云フコトヲ申サレマシタノデモ分ツテ居リマス、併シ黨トシテ斯ウ云フ工合ニ此承諾ヲ贊成スルト云フコトニナツテ來タ、ソレハ公私二重人格ノ遣ヒ分ト私ハ之ヲ見テ居ルノデアル、ソコデ九月一日ノアヽ云フヤウナ非常ナ混亂ノ狀態ニ陷ツタ、此一日ノ夜カラ二日、三日、四日、非常ナル流言浮說ガ行ハレタ、ソレカラ是ガサウ云フ流言浮說、或ハ種々ナル騷動、或ハ虐殺、殺人ノ行爲ガ行ハレマシタ結果、只デハナラヌト云ウテ、九月七日ニ本令ガ勅令トシテ出タノデアリマス、ソレデ委員長ノ報告通リ、七日カラ二十四日マデ十件、之ニ關係シタル者十二人、其中最モ激シク、最モ秩序紊亂ニ値スベキ言動ハ、何處ニ於テ行ハレタカト申セバ、是ハ東京トカ、橫濱トカ云フ罹災地ニハ行ハレナイ、ソレハ神戸ノ貧民窟ノ、名前ハ政府當局カラ聽キマシタガ、吾々ハ常ニ配慮シテ居ラヌ所ノ名モ無キ勞働者ガ、我國ノ法律ハ富豪ヲ保護シテ居ル法律デアル、無產階級ヲ虐待スル所ノ法律デアル、サウシテ有產階級ノ今日ノ財產ト云フモノハ、吾々無產階級カラ掠奪シタル結果デアル、故ニ此時代此際、殺人、强盜、强奪ハ勝手氣儘ニヤルベシト云フ此事柄ガ、本令ニ引掛ツテ、ヤツタ最モ重キ中ノ、サウシテ吾々ガ卽チ戰慄スベキモノヽ中ノ一ツデアル、ソレガ遠ク幾百里ヲ離レタル安寧ナル地帶ノ神戸ニ行ハレタト云フコトデアリマス、今次ノ大變災ハ罹災地ノミナラズ、日本全體ニ對シテ、或種ノ「ショック」ヲ國民思想上ニ與ヘタルコトハ、一般ニ認ムル所デアル、戰爭等ガ起レバ、變ナ發狂人ガ殖エル、天變地異ノ時ニハ、又自ラ常ニ想像シ得ラレヌヤウナ精神病者、變態心理ノ所有者ガ續々トシテ現ハレルト云フコトハ、一般心理學者ノ認ムル所デアル、非常ナル國民躁思想、心理狀態ニ「ショック」ヲ與フルヤウナ今次ノ大災害ニ際シマシテハ、日本全國津〻浦〻ニ至ツテサウシタヤウナ不健全ナル精神ノ所有者、或ハ平生何カ社會ノ此缺陷ニ付テ不平ヲ懷イテ居ル所ノ者等ガ、所謂一種ノ突發的精神病者トシテ、變ナ事、卽チ安寧秩序ヲ害スルヤウナ事ガ往々ニシテ行ハレルト云フコトハ、吾々ニ此歷史ヲ以テ示シテ居ルノデアル、ソレガ或ハ堺枯川ガ爲シタ、大杉榮ガドウシタト云ヘバ、或ハ斯ウ云フヤウナ勅令ヲ適用シテ十年以下ノ懲役或ハ禁錮、又ハ三千圓以下ノ罰金ヨリモ以上ノ極刑ヲ附スベキ必要ガアリマスケレドモ、偶發的ニサウシタ富豪ノ財產ハ貧民ヨリ掠奪シタトカ、此時掠奪スベシ、殺人スベシ、强盜勝手氣儘タルベシト云フヤウナコトヲ一人ガ立ツテ言ツテ見タ所デ、何等ノ效力ガアルベキ筈デナイ、而モソレガ罹災地ナラバ率知ラズ、遠ク離レタ神戸ノ貧民窟デ、貧民ヲ二三人集メテ立ツテ演說シタルコトヲ持ツテ來テ、太業ニ十年以下ノ懲役、三千圓以下ノ罰金ノ極刑ニスルトハ、法治國民トシテ實ニ愧カシキ次第デアルト謂ハナケレバナラヌノデアリマス、而モ九月七日ニ出タ此勅令ガ、二十四日迄ノ間ニ十件、十二人ノ犯罪數デアルガ、二十四日以後ニ於テ何等此勅令ノ爲ニ罰セラレタ者ガナイ卽チ十月、十一月、今將ニ十二月ガ盡キントシテ此三箇月間ニ何人モ之ニ引ツ掛ツタ者ガ無イ、有ルナラバソレハサウシタヤウナ事ヲ置イテ置イテモ宜イガ、決シテ無イ、政府當局ノ考フル所ニ依レバ、或ハ露國ノ革命ハ冬ニ於テ起ツタ、夏起ラナイ、世界ノ革命ノ大抵ハ冬季ニアル、寒サト饑ト同時ニ來ルガ爲ニ、革命ハ不平トカ云フモノカラ起ルモノデナクシテ、國民ノ此胃襄カラ、此寒サカラ、革命ハ起ルベキモノデアルカラ、此「バラック」住居、或ハ軒下ニ菰ヲ被ツテ寢テ居ル者ガ帝都ニ多數アルカラ、今將ニ來ラントスル此嚴寒ノ爲ニ刺戟サレテ、我ハ生クベキ權利ヲ有シテ居ル、生存權ヲ有シテ居ル國民ノ一人デアルカラト云ツテ、自己ノ境遇ヲ顧ミテ、此革命的、內亂的、或ハ安寧秩序ヲ紊スヤウナ事柄ヲ起シハシナイカ、是ガ或ハ春暖クナツテ來タナラバ、サウ云フ心配ハナイカラ、其時位ニ廢メヤウト云フ御考カモ分ラナイ、ケレドモ諸君、此震災ト同時ニ芝浦ニ來タ所ノ船ハ澤山デ、揚ゲルコトガ出來ズシ

テ京阪地方ニ逆送シタ物ガアリ、又中ニハ腐ラシテ山成ス如ク積ンダ物モアル、有ユル物資ガ豊富デアリマス、サウシタ心配ガナイ、若シ其山成ス物資——倉糧等ノ如キ、衣服等ノ如キモ來ルコトナク、儼ユル者ガ澤山アツタナラバ、其山成ス物ハ何カ政府當局ノ手ニ依ツテ處分サルベキ筈デアリマスケレドモ、ソレガ今日尚ホ依然トシテ山ヲ成シテ居ルガ如キコトヲ見マシテハ、彼等ヲ危險狀態ニ導クヤウナ境遇ヲ日本全國民ガ造ラシメテ居ラナイト云フ、卽チ玆ニ物資ノ豊富デアルト云フコトヲ、現ニ京阪地方ヨリモ、此東京地方ニ於テ飲食物ノ安イト云フコトハ、之ヲ以テモ證據立テルコトガ出來ルノデアリマス、此意味ニ於キマシテ儼トカ寒サトカ云フ意味カラ來ル所ノ間接ノ遠因、玆ニ是ガ無イ證據デアリマス、又或ハ非常ニ此罹災民——罹災地ニ於テ其他ニ於テモ國民ガ非常ニ冷靜デアル、今假ニ彼ノ無政府主義者等ノ考フル如キモノデアツタナラバ、彼ノ關東ニ於テ非常ナ困難ヲ感ジテ居ル此時ニ、關東ニ何等ノ物資モ與ヘズ、又同情モシナカツタナラバ却テ關東ノ罹災民ハ安寧秩序ヲ害スル行爲ヲ爲スデアラウト云フ考ヲ日本ノ國民ガ多數持ツナラバ、ソレコソ大變デアルガ、日本ノ國民津々浦々ニ至ル迄モ著テ居ル著物ヲ脫イデ關東ヘ送レ、有ユル贅澤物ヲ廢シテ關東ヘ送レト云フ同情ガ翕然トシテ起ツテ居ルコトヲ見マスレバ……

〔柏谷議長退席松田副議長著席〕

此罹災地竝ニ他ノ方面、神戸邊リニ於キマシテモ、サウ云フ危險ナコトガナイ、殊ニ此罹災民ガ非常ニ冷靜デアル、東京市民ハ最モ冷靜デアル、九月一日ノ震災ヲ忘レタカノ如キ態度ハ、本議場ニ於テモ之ヲ見ルコトガ出來ル、何トナラバ他ノ下ラナイ問題デモ傍聽席ガ滿員デアルケレドモ、此震災ノ大問題ヲ議スルニ當ツテモ、東京市民トシテ傍聽ニ來テ居ル者ハ寥々雨夜ノ星デアルコトヲ見マシテモ、實ニ冷靜ニナツテ居ルコトノ是ガ第一ノ證據ト言ハナケレバナラヌノデアリマス、此意味ニ於テ冷靜ナル國民——冷靜ナ國民ニ對シテ一人ヤ五人ヤ、十人位ノ安寧秩序ヲ害セントスル所ノ不穩ノ言動ヲ弄スル者ガアツテモ、ソレハ何等ノ效力ガナイ、丁度ソレハ水ヤ氷ニ燐寸ヲ持ツテ火ヲ付ケントスルヤウナ行動デ、恐ルベキコトハ決シテ無イモノデアリマス（「ソレダカラ此案ハ要ラナイ」ト呼フ者アリ）要ラナイ、殊ニ彼ノ流言浮語ガ禍ヲシマシテ朝鮮人ノ虐殺デアル、或ハ勞働者ノ虐殺デアル、或ハ社會主義者ヲ暗殺シタト云フヤウナ事柄ガ、是ハ官憲モアリ民衆モアリ、マスルケレドモ、サウ云フヤウナ事ヲ爲スベキ者ガアルナラバ、焉ゾ此勅令トカ或ハ法律ノ力ヲ俟タズシテ、我ハ彼ノ頭ニ天誅ヲ加ヘントスル所ノ、我ガ日本國民ガ三千年來培養サレタル所ノ此國民性ガ、卽チ彼ノ自警團トナツタノデアル、行爲其モノハ吾々ハ同意スルコトハ出來ナイガ、其流言浮說、其ノ逞ナル朝鮮人、玆ニ彼ノ根絶ヲ圖ルト云フ行動ニ出デタ所ノ精神ハ、本勅令ヨリモ確ニ效力ノアツタコトヲ吾輩ハ此處ニ斷言シテ憚ラナイノデアリマス、卽チ共存共榮、卽チ我國ヲ守ルベキモノハ一片ノ法律ニ非ズ、一片ノ勅令ニ非ズシテ、卽チ國民精神ノ發露ニ依ツテ斯ノ如キモノハ葬リ去ルコトガ出來ルト云フ共榮共存ノ精神デ以テ、直ニ此國難ニ處シテモ救ヒ得ルダケノ立派ナ國民性ヲ吾々ハ有シテ居ルコトヲ信ズルノデアリマス（拍手）又議會ハ此臨時議會モナク、通常議會モ亦十三年ノ夏頃ニ行ハレルナラバ、本勅令ノ如キモ其位迄持續シテモ宜シイケレドモ、特ニ地震ノ爲ニ發セラレタル此勅令、地震ノ爲ニ行ハレタル此議會ガ玆ニ開カレナガラ、尙且ツ此勅令ヲ以テ國民ニ——緊急勅令ヲ以テ國民ニ相見エテ、サウシテ我國ノ安寧ヲ本勅令ニ依ツテ維持セントスルガ如キハ、是議會ヲ侮辱シテ居ル、立法府ヲ侮辱シテ居ル、法治國民ノ大恥辱ト言ハナケレバナラヌノデアリマス、故ニ斯ノ如キ勅令ハ、一日モ早ク之ヲ廢棄スベシデアリマス、殊ニ橫山君ノ御說ニハ、吾々ハ一年モ二年モ待タナイ、近キ將來ニ於テ廢棄ヲシテ欲シイ、二年モ三年モト云ノ言葉デスラモ吾々ハ戰慄シテ居ルノデアル、今議會ガ開カレテ居ル、近クハ二十五日ヨリ通常議會ガ開カレル、又十三年ニハ又議會ガアルデヤナイカ、議會ト云フ立法府ガアルニ拘ラズ、此勅令ガ二年モ三年モ待ツト云フ事柄ガ、憲政會ノ賢明ナル諸氏、竝ニ殊ニ本案ノ委員長ノ說ニ贊成サレタル立派ナ精神ヲ有セラレル所ノ橫山君ノ口ヲ藉ツテ出ヅルトハ、實ニ奇怪ト言ハナケレバナラヌノデアリマス、又橫山君ノ御說ニ依ルト云フト、公平ナル所ノ、嚴正ナル常ニ其位地ニ立ツテ批判ヲ爲シツヽアル所ノ平沼法相ガ居ラレルカラ、此適用ノ上ニ付テ非常ニ警戒ヲ以テ臨マレンコトヲ願フト云フ、吾々モ平沼法相ノ人格、其從來取來ツタ所ノ——國民ニ臨ンデ居ル所ノ行動ニ對シテハ、實ニ敬服シテ居ルノデアリマス、ケレドモ此本令ヲ直ニ國民ノ上ニ行使スルト云フコトハ、平沼法相トハ何等關係ガナイ、是ハ又檢事或ハ判事等ノ裁判官トハ何等關係ガナイ、唯ソレハ事ガ起ツテ來タ事柄ニ對シテ、其是非曲直、黑白ヲ裁判スルノニ平沼大臣ガ關係アルダケデアル、斯ノ如キコトハ或ハ警察官、卽チ其府縣ノ知事、警察部長、或ハ內務部長、或ハ一警察署長ガ、彼ハ安寧秩序ヲ害スル者デアルト言フ其見込ヲ以テ直ニ先ヅ橫山君ノ御言葉ヲ藉リテ言フナラバ、訊問ニ先ダツテ先ヅ橫面ヲ一ツ毆ツテカラ訊問ヲスルト云フノガ本令デアルト、斯ウ申サレテ居ラレマスルガ、吾輩等モ常ニサウ考ヘル、兎ニ角彼ニ

刑罰ヲ加ヘル、加ヘヌ、或ハ刑ノ量定ニ於テハ裁判所ガ行フノデアルガ、兎ニ角彼ヲ打込ンデシマフ、豚箱ニ打込ンデシマフト云フノガ本令ニナツテ居ル、司法官ガ人權ヲ蹂躙スルト云フコトハ吾々ハ認メナイ、唯〻檢察官ガ、唯、單一ナル感情ノ上カラ見込違ヲ以テ人權ヲ蹂躙スルノ危險ナルヲ吾々ハ之ヲ知ツテ居ルノデアリマス、故ニ如何ニ平沼法相ガ峻嚴ナル態度ヲ以テ、公平ナル批判ヲ國民ノ上ニ加ヘントシテモ、何等之ニ力ガ及バナイデ、一巡査、一警官等ガ之ヲ惡用スルト云フ上ニ於キマシテ、吾々ハ戰慄禁ジ能ハナイノデアリマス、又私ハ委員會ニ於キマシテ、横山君ガ安寧秩序ノ事ニ付キマシテ、林刑事局長ト非常ナ賢問賢答ガ行ハレタ事ニ付キマシテ、安寧秩序トハ如何、其定義ヲ示セ、其定義ハ從來ノ諸種ナル法令ノ上ニアルト云フコト位デ納リガ付イタ、ソレガ只今モ此本席ニ於キマシテ、横山君ガ其安寧秩序ノ我ガ法文ニ現ハレタル總テノ定義ガ分ラナイト云フコトノ、玆ニ所謂泥ヲ吐カレタノデアリマスルガ……（「南君社會主義者ニ金ヲヤツタ奴ヲ打込ンデシマフ法律ヲ拵ヘテ呉レ」ト呼フ者アリ）

○副議長（松田源治君）　靜ニ

○南鼎三君（續）　兎ニ角彼ノ委員十八名ノ中ノ委員長ハ、吾々ノ尊敬スル鵜澤博士デアル、サウシテ委員諸氏全體ハ殆ド法律家デアリマスガ、私ハ法律家デモ何デモナイ、尤モ斯ウシタ法律トカ、解釋トカ云フ事柄ハ、卽チ凝ツハ思案ニ能ハズト言ツテ、却テ突込ンデ行クト云フト分ラヌ、何事モ世ノ中ハ程ライデ決メタモノデアル、總テノ事ハ程ライデ決メタモノデ、ソンナ定義ト云フモノハ、時代ニ依ツテ違ヒマスガ、吾々ノ信ズル所デハ、安寧秩序トハ壓制ノ結果デアルト信ズル、壓制ヲ外シテ秩序ト云フモノハナイノデアル、故ニ本勅令ノ如キモ非常ニ壓制ノ勅令デアル、私ハ甚當時ニ於ケル壓制ノ結果、其秩序ガ維持サレタノデアルカラ、其效果ノ絕大ナルコトヲ信ジマスケレドモ、既ニ餘震モ去ツテ、罹災地ノ國民ガ今ヤ安定ニ就カントシテ居ル時ニ於キマシテ、斯ウ云フヤウナ勅令ハ不必要デアル、丁度吾々ハ雨ガ降ルカラ傘ヲ差スノデアルケレドモ、雨ガ歇メバ傘ト云フモノハ、必要ハナイ、而シテ之ヲ廢棄シタ時ニ於テ、又雨ガ降ツタラ、又傘ヲ差シタラ宜イノデアル、サウ云フ時代ガ來タナラバ、又是ヨリモ一層秩序ヲ維持スル所ノ目的ヲ以テ壓制的ナ勅令ヲ出シテモ、吾々ハ滿足ニ考ヘルノデアル、差シタリ廢メタリ、差シタリ廢メタリスル所ノ妙味ハ、實ニ此勅令——緊急勅令ノ範圍ニアルコトヲ御承知ナイノデアル、此意味ニ於キマシテ、私ハ現時既ニ冷靜ニ、安靜ニ、人心ガ安定ヲシテ居ル今日ニ於キマシテ、斯ウ云フヤウナ不必要ナ勅令ヲ置イテ置クト云フコトハ、啻ニ吾吾法治國國民ノ恥辱ノミナラズ、我ガ立法府ノ一大汚辱デアル、此意味ニ於キマシテ本令ハ直ニ廢棄スベシト云フ、卽チ委員長ノ說ニ反對ヲ唱フル者デアリマス

〔黒住成章君登壇〕

○黒住成章君　私ハ委員長ノ報告通リ、卽チ本勅令ニ承諾ヲ與フベシトノ論ヲ爲ス者デアリマス、贊否共相當ニ長キ議論ガゴザイマシテ、殊ニ贊成論トシテ橫山君カラノ御論モゴザイマシタカラ極メテ簡單ニ申上ゲタイト思ヒマス、本勅令ハ震災直後治安維持上、緊急ノ必要ヨリ生ジタ勅令デゴザイマシテ、此勅令ガ極メテ有要且ツ、適切デアリマシテ相當ノ效果ト成績ヲ擧ゲタルコトハ、萬人ノ認ムル所デアリマス、然ルニ此點ニ關シ或ル論者ハ、本勅令發布後檢擧サレタル者ガ、僅ニ十件、人ニシテ僅ニ十二人、而シテ九月二十四日後ハ檢擧サレタ者ガナイ、故ニ今日ニ於テハ此勅令ハ最早必要ナシトノ論ヲ爲サル人ガゴザイマスガ、私ハ此現象ニ付テハ全ク反對ノ考ヲ持ツテ居ルノデゴザイマス、卽チ震災ニ因リ未曾有ノ慘禍ニ遭遇シテ、人心ノ中正ヲ失ヒタル時ニ際シ、或ハ犯罪ヲ煽動シ、治安ヲ害シ、又此人心惶々タル時ニ流言蜚語ヲ放チ、人心ヲ惑亂シ、到ル處ニ願ル不安ヲ與ヘタコトハ顯著ナ事實デゴザイマス、又是ガ爲ニ種々ナル不祥事モ起ツテ居ルノデゴザイマス、本勅令ガ震災後直ニ發布ニナリマシタルガ故ニ、僅ニ件數ニシテ十件、而シテ人數ニシテ十人ノ檢擧ヲ見ルニ止マツタト云フコトハ、卽チ本勅令ノ效果デアルト本員ハ思フノデアリマス（「ヒヤ〳〵」ソレハ僕等モ贊成ダ　ト呼フ者アリ）勿論人ノ自由ヲ尊重スベシトノ論ニハ大贊成デアル、人ノ權利ト自由ヲ尊重スルト云フコトニ付テハ私モ人後ニ落チヌ者デゴザイマス、併ナガラ同時ニ人心ガ中正ヲ失ヒタル時ニ其亂レントスル秩序維持スルト云フコトハ、變時ニ際シテハ朝野ヲ問ハズ共同ノ責任ガアル、ト思フノデゴザイマス、故ニ多少ノ不備アリトスルモ、變ニ處シ本令ガ發布セラレ、朝野協力努メタル結果、其後大ナル不祥事ナク、又多數檢擧セラレタル者ナキ事ヲ多トスル者デアリマス、此意味ニ於キマシテ私共ハ橫山君ノ御述ニナリマシタヤウナ、此法令文字ガ不明デアリ、行爲ガ汎博デアリ、刑罰ノ範圍カ廣汎デアリ甚ダ怪シカラヌ勅令デアルト云フ論ニハ、私ハ反對デゴザイマス、色〻委員會ニモ例ヲ御擧ゲニナリマシテ、赤イ着物ヲ着テ通ル、髮ヲ長クシテ通ル、直ニ引ツ縛ルニ宜イト云フヤウナ御論ガゴザイマシタガ、左樣ナ御心配ハ無用デアル、本勅令ハ能ク御讀ミニナリマスルト一犯罪ヲ煽動シ安寧秩序ヲ紊亂スルノ目的ヲ以テ」ト書イテアル又「人心ヲ惑亂ス

ルノ目的ヲ以テ」ト書イテアル、即チ目的主義ノ立法デアリマス、横山君設例ノ如キ異裝ヲ爲シテ往來ヲ致シタリトテ、直ニ逮捕ヲサルベキ危險ハ絕對ニ無イノデゴザイマス（ヒヤ〳〵）此點カラ考ヘマシテ、私共ハ此勅令ガ非常ニ效果アリシト同時ニ、今後尙ホ其效力ノ持續ヲ欲スル者デアリマス、而シテ先程ドナタカノ論ニ戒嚴令ガ撤廢サレタ今日、社會ハ平靜ニ復シ、人心ガ安定シタデハナイカト言ハレルガ、警備隊ノアルノハ何故デアリマスカ、是レ未ダ人心全ク安定セズ、社會狀態ガ全ク平靜ニ復セザル所以デゴザイマス、勿論理論カラ、申シマスレバ本令ハ變態立法デゴザイマスルカラ、全リ平靜ニ復シマシタナラバ、當然性質上廢サルベキデゴザイマス、併シナガラ未ダ其不安ハ去リマセヌ、諸君試ニ東京ノ市中ヲ御覽ニナツテモ分ル、如何ニモ表通リニハ「バラック」建築ハ餘程出來マシタガ、一タビ裏通リニ入リマスルト災後ノ慘狀依然タル有樣デアル、殊ニ橫濱ハ然リデアリマス、而シテ九月一日ノ慘禍ハ、日本全國民ニ對シ人心ノ上ニ非常ナル影響ヲ與ヘテ居ルノデゴザイマス、是亦平常ニ復シテ居リマセヌ、故ニ之ニ承諾ヲ與フベカラズ、即チ廢棄セヨトノ論ハ未ダ時期ガ早イト思フ（ヒヤ〳〵）反對論者ハ曰ク必要アレバ勅令ハノベツニ出セバ宜イ、恰モ雨ノ降ツタトキニ唐傘ヲ差シ、雨ガ歇ンダラ唐傘ヲツボメレバ宜イデハナイカ、ト申サルヽノデアルガ、是ハ私ハ反對デゴザイマス、斯ク致シテハ帝國ノ法令ニ權威ヲ傷ケル、即チ朝ニ晩ニノベツニ改廢スベキモノデハナイ、（ソレハ法律デス是ハ勅令ダ」ト呼フ者アリ）併シ勅令デアリマシテモ變態立法デアルコトヲ忘レテハナラヌ、ソレカラ結論ハ贊成論デアルガ、理由ガ如何ニモ反對論ノヤウナコトガアリマシタカラ、橫山君ニ申シマスガ、行爲ノ汎博ニ過ギルト云フコトハ、本令ハ先程申上ゲマシタ通リ目的主義デ引締メテ居ルカラ左樣ノ心配ハナイ、ソレカラ刑罰ノ範圍ガ廣キニ過ギル、即チ十年以下ト云フコトハ餘リ廣汎ニ過ギルト云フ御議論デアリマシタガ、是ハ一度ビ刑法ヲ開イテ御覽ニナレバ舊刑法ト異ナリ新法ハ此刑ノ裁量ヲ廣ク致シマシテ、十年以ドト云フノガ澤山アルノデゴザイマス、又其他ノ特別法モ澤山アルノデゴザイマス、私ハ却テ此刑罰ノ範圍ノ廣キコトガ却テ運用ノ上ニ妙ガアルト思フ、就中斯樣ナ勅令ニ於キマシテハ殊ニ必要デアルト思フノデゴザイマス、ソレカラモウ一ツ承諾ヲ與フベカラズト云ソコトニ贊成ノ出來ナイ理由ハ、委員會ニ於ケル政府當局ノ答辯ニ依リマスルト、本令ニ依ツテ檢擧シ、未ダ確定セザルモノガ數件アルノデゴザイマス、又尙ホ未ダ搜査中ノモノモアルト云フコトデゴザイマス、若シ本議會ガ此勅令ニ承諾ヲ與ヘヌトキニハ、ドウ云フ結果ニナルノデゴザイマスカ、事實此勅令ノ效力アルトキニ檢擧サレテ、其主體ガ之ニ該當致シテ居ルニ拘ラズ、此勅令ガ效力ヲ失ヒマシタルガ爲ニ、之ヲ無罪又ハ其他ノ極メテ輕微ナル新聞紙法、若クハ出版法、其他ノ法律ヲ適用スルニ止メネバナラヌ、斯樣ナコトニ相成リマシテハ社會ノ秩序ハ到底保ツコトハ出來ナイト思フノデアリマス、以上ノ理由ニテ私ハ委員長報告ノ通リニ贊成ヲ致シマス、サリトテ勿論是ガ立派ナ勅令デアルトハ申サヌノデアリマス、故ニ社會狀態ノ安定ヲ待チ、一日モ早ク其廢止ヲ望ムコトハ橫山君ト同論デアル、併ナガラ今日尙未ダ全ク平定セザルノミナラズ、現時各種ノ原因事情ヨリ一般ノ人心頗フル不安デアリマス、即チ思想上ニモ大ニ憂フベキモノガアリマス、故ニ私ハ聽テ本勅令ノ廢棄サレルトキニハ、新ニ內容ノ改善サレタル一ツノ立法ガ出來ルコトヽ考ヘル、此立法ノ出來ルニ付キマシテモ相當ニ社會ノ狀勢ヲ研究スル必要ガアルト信ズルノデアリマス、要スルニ政府ノ聲明ヲ信ジ委員長ノ報告ニ贊成ヲ致ス者デゴザイマス（拍手）

○副議長（松田源治君）　本案ニ付キ討論ハ終局致シマシタ

○高見之通君　本案ハ委員長報告ノ通リ、承諾ヲ與ヘラレンコトヲ望ミマス

〔「贊成」「贊成」ト呼ヒ又「反對」ト呼フ者アリ〕

○副議長（松田源治君）　本案ニ付承諾ヲ與フベシトノ諸君ノ起立ヲ求メマス

〔贊成者　起立〕

○副議長（松田源治君）　多數デアリマス、本案ハ承諾ヲ與フルコトニ決シマシタ——日程第五

○鵜澤總明君　是カラ原夫次郎君提出ノ決議案ノ委員會ヲ開キマスカラ、許可ヲ求メマス

○副議長（松田源治君）　許可致シマス

○鵜澤總明君　委員ノ諸君ハ御參集ヲ願ヒマス

○副議長（松田源治君）　日程第五、農務省新設ニ關スル建議案ヲ議題トシ、提出者ノ說明ヲ求メマス——天春文衞君

第五農務省新設ニ關スル建議案（天春文衞君外九名提出）

農務省新設ニ關スル建議案

農務新設省ニ關スル建議

政府ハ大正十三年度ニ於テ農務省ヲ新設スヘシ

右建議ス

〔天春文衞君登壇〕

○天春文衞君　私ハ農務省新設ニ關スル建議案ノ理由ヲ極メテ簡單ニ說明ヲ致シマスデゴザイマス、申ス迄モナク諸君モ御承知ノ如ク、農村ハ國民生活ノ源泉デアリマシテ、其盛衰ハ國運ノ消長

ニ關スルコトハ、今更私ガ申ス迄モゴザイマセヌコトデゴザイマス、然ルニ農村ノ窮迫ハ歲ヲ追ウテ甚シクゴザイマシテ、是ガ爲ニ農村ノ振興ニ付テハ、既ニ諸君ニ於カセラレマシテモ、最モ憂慮セラレマシテ或ハ地租ノ委讓トカ、或ハ地租ノ輕減、又ハ米穀法ノ運用、或ハ耕地整理、或ハ産業組合、其他諸種ノ農村振興策ニ付キマシテハ、最モ憂慮セラレル所デアリマスガ、併ナガラ其效果ハ甚ダ少クゴザイマス、益〻現在ノ農村ノ有樣ハ困憊ノ狀況ニ陷リマシテ、諸君ノ最モ明知セラレテ居ル所デアリマス、是ハ畢竟農業ニ對スルノ國策ヲ樹ツル所ノ農商務省ハ、極メテ廣汎多端ナル事務デアリマシテ、農商工ノ政務ヲ兼攝スルノ結果、動モスレバ農商工何レニ對シマシテモ、剴切ナル所ノ施設ヲ缺クルノ嫌ガアリマス、殊ニ農業ニ對スル政策ノ不徹底ノ致ス所ト謂ハザルベカラズ、故ニ須ラク農村ニ關スル一切ノ事務ヲ統轄スル農務省ヲ新設シテ、時勢ノ進運ニ伴ヒ、大ニ農村ノ振興ヲ圖リ、國家永久ノ大策ヲ樹テンコトヲ希望スルノデアリマス、殊ニ本年九月ノ大震火災ニ因リマシテ、農商務省ヲ初メ、各省ノ烏有ニ歸シタル際デアリマシテ、新設改築ヲ要スルノ時デアリマスカラ、此時、此機ヲ逸セズ致シマシテ、十三年度ノ豫算ニ農務省ノ經費ヲ計上セラレ、農務省ヲ新設セラレンコトヲ希望スルノデアリマス、聞ク所ニ依リマスレバ、農務省ヲ新設スルニ、經費ハ僅ニ四五十万圓以上、百万圓以下デ足ルト云フコトデアリマス、今回ノ震災ハ振古未曾有ノ大災害デハアリマスルケレドモ、現ニ數億圓ヲ費シマシテモ、帝都復興ヲ圖ラントスルノデアリマセヌカ、然ルニ我帝國全般數千万人ノ農民ノ休戚ニ關スル所ノ農村ノ振興ヲ圖ルガ爲ニ、僅ニ一箇年數十万圓、或ハ百万圓足ラズノ經費ヲ費シマシテ、サウシテ此農務省ノ建設ガ出來ルト云フコトナレバ、何ノ躊躇スル所ガアリマシテカ之ヲ遲延スルト云フコトハ、甚ダ吾々ノ取ラザル所デアリマス、當局ハ宜シク多年ノ此懸案ナル所ノ農務省ノ新設ヲ必ズ十三年度ニ於テ斷行セラレンコトヲ最モ希望致スノデアリマス（拍手）昨日荒川君ハ農務省ノ新設ニハ反對デアルト云フコトヲ唱ヘラレマシタガ、私ハ甚ダ奇異ニ存ジマスルノデアリマシテ、文化ノ發達ニ伴ヒマシテ、複雜ナル事務ヲ處理スル上ニ於テハ、完全ヲ歸セントセバ行政事務ヲモ亦運用ノ發達ヲ遂ゲナケレバナラヌノデアリマス、殊ニ荒川君ハ第四十五議會、大正十一年二月十一日ノ農務省新設ニ關スル建議案ニハ、提出者ノ御一人デハアリマセヌカ、然ルニ今此本建議ニ反對セラレルト云フノハ、甚ダ奇怪千萬ト私ハ思フノデゴザイマス、宜シク荒川君ハ反省セラレマシテ、今回ノ農務省新設建議案ニ贊成サレンコトヲ希望スルノデゴザイマス、終リニ臨ンデ希望ヲ述ベルノデアリマスルガ、此農務省ノ新設ニ關シマシテハ、從來數回本會ニ於キマシテ贊成決定ニナツテ居ルノデゴザイマスガ故ニ、ドウカ既ニ議會モ本日デ終了致シマスル場合デゴザイマスカラ致シマシテ、委員會ニ本案ハ掛ケズシテ、此本會議ニ於テ卽決可決アランコトヲ偏ニ希望致シマス（拍手）

○岩崎勳君　本案ハ只今提案者ノ說明ニアリマシタ通リ、數次ノ議會ニ於テ屢〻本院ノ可決確定ヲ經テ居ルコトデアリマス、會期切迫ノ際デアリマスカラ、此提案者ノ說明ヲ聞キマシテ、卽時ニ決定セラレンコトヲ望ミマス

○副議長（松田源治君）　岩崎君ノ動議、卽チ卽時ニ可決確定ト云フコトニ異議アリマセヌカ

〔「異議ナシ」「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○副議長（松田源治君）　本案ハ可決確定致シマシタ

○岩崎勳君　議事日程變更ニ關スル緊急動議ヲ提出致シマス、卽チ玆ニ貴族院送付、大正十二年勅令第四百十二號、承諾ヲ求ムル件、卽チ權利利益ノ存續期間ノ件ヲ議題ト爲シ、次ニ森恪君外三名提出、相模西部ノ復興ニ關スル建議案、吉植庄一郎君外二十四名提出、震災地方復興ニ關スル建議案、小泉又次郎君外十三名提出、震災地方復興ニ關スル建議案、及星島二郎君提出、震災豫防調査機關設置ニ關スル建議案ヲ一括議題ト爲シ、各委員長ノ報告ヲ求メ、逐次其審議ヲ進メラレンコトニ望ミマス

〔「贊成」「贊成」ト呼フ者アリ〕

○副議長（松田源治君）　岩崎君ノ日程變更ノ動議ニハ異議アリマセヌカ

〔「異議ナシ」「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○副議長（松田源治君）　異議ナシト認メマス、仍テ日程ハ變更サレマシタ、大正十二年勅令第四百十二號、承諾ヲ求ムル件ヲ議題ト致シマス、委員長ノ報告ヲ求メマス、委員長石川玄三君

大正十二年勅令第四百十二號（承諾ヲ求ムル件）權利利益ノ存續期間ノ件（貴族院送付）

（委員長報告）

報告書

一大正十二年勅令第四百十二號（承諾ヲ求ムル件）（貴族院送付）

右ハ本院ニ於テ承諾ヲ與フヘキモノト議決致候此段及報告候也

大正十二年十二月二十三日

大正十二年勅令第四百十二號（承諾ヲ求ムル件）委員長

石川　玄三

衆議院議長柏谷義三殿

〔石川玄三君登壇〕

○石川安三君　本勅令ハ、震災地ノ行政廳ガ九月一日以前、卽チ震災前ニ於テ其權限ニ屬スル處分ニ基ク權利利益ノ將ニ危ウカラントスルモノヲ救濟セントスルノ目的ニ出デマシタノデ、委員會ニ於ケル政府ノ辯明ヲ聽キマシテモ、是等ノ權利ヲ證明スベキ書類ノ大部分ハ、震災ノ當時殆ド燒失シテアリマス、併ナガラ之ニ關聯シタル書類ハ、地方ノ官廳其他ノ關聯シタル所ニ保存シテアルカラ、之ヲ取寄セテ整理スルコトニ今苦心シテ居ル、卽チ其勅令ニ定メタル期間內、三月ノ末日迄ニハ大抵取揃フ見込ガ付イテ居ルト申スコトデ、委員會ニ於キマシテモ、其苦心ノ存スル所ヲ諒トシ、又非常ノ場合ニ於テ已ムヲ得ザルノ所置ト認メマシテ、承諾ヲ與フルコトニ決定致シマシタ

○高見之通君　本案ハ委員長報告ノ通リ承諾ヲ與ヘラレンコトヲ望ミマス

○副議長(松田源治君)　高見君ノ動議ニ異議アリマセヌカ

〔「異議ナシ」「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○副議長(松田源治君)　異議ナシト認メマス、仍テ本案ハ承諾ヲ與フルコトニ決シマシタ、——相模西部ノ復興ニ關スル建議案、震災地方復興ニ關スル建議案、震災豫防調査機關設置ニ關スル建議案、右四案ハ同一委員ニ付託シタル議案ナルニ依リ、一括シテ議題ト爲シ、委員長ノ報告ヲ求メマス、委員長高橋光威君

相模西部ノ復興ニ關スル建議案(森恪君外三名提出)
(委員長報告)
震災地方復興ニ關スル建議案(吉植庄一郎君外二十四名提出)
(委員長報告)
震災地方復興ニ關スル建議案(小泉又次郎君外十三名提出)
(委員長報告)

報告書

一相模西部ノ復興ニ關スル建議案(森恪君外三名提出)
一震災地方復興ニ關スル建議案(吉植庄一郎君外二十四名提出)
一震災地方復興ニ關スル建議案(小泉又次郎君外十三名提出)

右ハ本院ニ於テ三案ヲ併合シテ一案トシテ表題ヲ「震災地方復興ニ關スル建議」トシ別紙ノ通修正スヘキモノト議決致候此段及報告候也

大正十二年十二月二十二日

相模西部ノ復興ニ關スル建議案外二件委員長
高橋　光威

衆議院議長柏谷義三殿

〔別紙〕

震災地方復興ニ關スル建議

東京府神奈川縣(東京橫濱特別都市計畫區域ヲ除ク)千葉縣埼玉縣靜岡縣山梨縣ニ於ケル這回ノ震災地方復興ニ關シ政府ハ速ニ適當ノ案ヲ立テ次期議會ニ提出セラレムコトヲ望ム

右建議ス

震災豫防調査機關設置ニ關スル建議案
(星島二郎君提出)
(委員長報告)

報告書

一震災豫防調査機關設置ニ關スル建議案(星島二郎君提出)

右ハ本院ニ於テ可決スヘキモノト議決致シ候此段及報告候也

大正十二年十二月二十三日

震災豫防調査機關設置ニ關スル建議案委員長
高橋　光威

衆議院議長柏谷義三殿

○高橋光威君　御付託ニナリマシタ森恪君外三名御提出ノ相模西部ノ復興ニ關スル建議案竝ニ吉植庄一郎君外二十四名御提出ノ震災地方復興ニ關スル建議案、同ジク震災地方復興ニ關スル建議案、小泉又次郎君外十三名御提出ノ此三案ニ付キマシテ一括シテ御報告申上ゲマス、此三案ハ內容類似又ハ殆ド全ク同一ノ建議案デアリマスルガ故ニ、委員會ハ提出者ノ提出理由ヲ聽取致シマシテ、之ヲ三案共ニ併合シテ一案ト爲スコトニ致シマシタノデアリマス、提出ノ理由ハ本會議デモ縷陳シテ居ラルヽサウデアリマスカラ、詳シイ事ハ申上ゲマセヌガ、要スルニ今回ノ震災ハ、東京橫濱ト同樣ニ此附近ノ一府五縣ニ亙ツテ、頗ル劇甚ナルモノデアツテ、實ニ氣ノ毒ナ狀況デアル、而シテ臨時議會ハ震災善後ノ爲ニ開カレタモノデアツテ、所謂復興議會トハ云ヒマスルガ、是レ全ク東京橫濱ニノミ重キヲ置キマシテ、ソレト殆ド同樣ノ慘狀ヲ呈シテ居リマスル所ノ他ノ震災地方ニ及ブコトガ甚ダ少ナイノデアル、併ナガラ此費用ハ一般國民ノ負擔ニ歸スルノデアリマシテ、附近ノ慘害ヲ被リタル所ノ一府五縣ノ地方ハ、一方ニハ負擔ヲ受ケ、而シテ一方ニハ東京橫濱ノ如ク國家ノ救濟若クハ補助ヲ受ケテ居ラヌノデアル、斯ノ如キハ甚ダ不都合デアルカラ、政府ハ速ニ是等府縣ニ亙ツテ復興計畫ヲ定メテ、次期議會ニ相當ノ提案ヲスルヤウニト、斯樣ナ趣意デアリマシタ、政府ト多少ノ質疑應答ハアリマシタケレドモ、三案ヲ一括シテ之ヲ修正致シマシテ、可決致シマシタ次第デアリマス、其修正ハ都合上吉植庄一郎君外二十四名提出ノ建議案ガ一番簡單明瞭デアリマスカラ、乙ニ多少ノ修正ヲ加ヘタノデアリマス、卽チ震災地方復興ニ關スル建議「神奈川縣郡部」ト云フ所ヲ削リマシテ「東京府、神奈川縣(東京橫濱特別都市計畫區域ヲ除ク)千葉縣、埼玉縣、靜岡縣、山梨縣ニ於ケル這回ノ震災地方復興ニ關シ政府ハ速ニ適當ノ案ヲ立テ次期議會ニ提出セラレムコトヲ望ム」ト、斯樣ニ修正シタノデアリマス、大多

數デ是ハ通過シタノデアリマスカラ、此段御報告申上ゲマス、次ニ星島二郎君提出ノ震災豫防調査機關設置ニ關スル建議案デアリマス、是ハ現在調査機關ト致シマシテハ、震災豫防調査會ト云フモノガアルサウデアリマス、併ナガラ甚ダ貧弱ナモノデアツテ、經費モ僅カ三万圓ニ過ギヌサウデアリマス、斯ノ如キモノデハ此日本ノ如キ震災國ニ相當シタル機關ト謂フコトハ出來ナイカラ、ドウカセメテハ天文臺測候所ノ如ク數箇所ニ調査所ヲ設ケテ、地震豫知ノ機關ヲ作リ、且ツ其災害豫防若クハ災害輕減ノ方法ヲ講ジタイ、經費ハ三百万圓カ乃至五百万圓デ是ガ出來ルサウデアリマス、願クハ左樣ナル調査機關ヲ設置セラレテ欲シイト云フノガ此建議案ノ趣旨デアリマス、滿場一致是ハ可決スベキモノナリト決議致シマシタ、此段御報告申上ゲマス

〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○副議長(松田源治君)　先ヅ相模西部ノ復興ニ關スル建議案、震災地方復興ニ關スル建議案、震災地方復興ニ關スル建議案、此三案ヲ一括シテ採決致シマス

○高見之通君　三案ヲ併合シテ一案ト爲シ、委員長報告ノ通リ、卽チ委員會ニ於テ修正議決ノ通リ可決確定セラレンコトヲ望ミマス

○副議長(松田源治君)　高見君ノ動議ニ異議アリマセヌカ

〔「異議ナシ」ノ聲起ル〕

○副議長(松田源治君)　異議ナシト認メマス、仍テ三案ハ一案ト爲シ、委員長ノ報告通リ修正可決確定致シマシタ(拍手)次ニ震災豫防調査機關設置ニ關スル建議案ヲ採決致シマス

○高見之通君　本案ハ委員長報告ノ通リ可決確定セラレンコトヲ望ミマス

○副議長(松田源治君)　高見君ノ動議ニ異議アリマセヌカ

〔「異議ナシ」ノ聲起ル〕

○副議長(松田源治君)　異議ナシト認メマス、仍テ本案ハ可決確定致シマシタ

○岩崎勳君　政府ニ對スル質問ニ對シテ政府ヨリ答辯書ガ參ツテ居リマス、其答辯書ニ對シテ更ニ清瀨規矩雄君ヨリ意見ノ陳述ヲ求メラレテ居リマス、此際之ヲ御許シアランコトヲ希望致シマス

〔「贊成」「贊成」ノ聲起ル〕

○副議長(松田源治君)　此際許スコトニ異議アリマセヌカ

〔「異議ナシ」ノ聲起ル〕

○副議長(松田源治君)　異議ナシト認メマス、仍テ之ヲ許シマス、清瀨規矩雄君

政府ノ答辯ニ對スル意見陳述

〔清瀨規矩雄君登壇〕

○清瀨規矩雄君　私ノ對米外交ニ關スル質問ニ付キマシテ、政府ノ御答辯ヲ得マシタノデアリマスルガ、私ハ此御答辯ニ滿足スルコトガ出來ナクテ、實ハ多々卑見ヲ申述ベテ見タイノデアリマスルケレドモ、此議會會期ノ切迫ノ際デアリマスカラ、極メテ簡單ニ唯一二言政府ニ警告致シテ置キタイト思フノデアリマス、亞米利加ニ於ケル日本人ノ農業ノ發達ト云フモノハ、近來極メテ著シイモノデアルト云フコトハ、私ガ管々シク申ス迄モナク諸君御承知ノ通リデアルト思フノデアリマス、現ニ約三百万ノ「キヤリフオルニア」ニ於ケル所ノ農業者ノ中デ、日本人ハ十万人位シカ居ナイノデアリマスガ、其十万人ガ米國「キヤリフオルニア」州ニ於テ、農產物ノ約一割ヲ生產シテ居ルト云フヤウナ有樣デアルノデアリマス、斯ノ如ク日本人ノ農業ガ發達致シマシタノハ、日本人多年ノ苦心經營ノ致ス所デ、實ニ筆ニモ口ニモ盡サレナイ所ノ辛苦經營ヲ繼ケテ今日ノ狀態ヲ呈シテ居ルノデアリマス、然ルニ亞米利加ニ於ケル所ノ不法背理ナル手段ニ依ツテ、日本人ノ農業者ハ、今日殆ド手モ足モ出ナイト云フヤウナ狀態ニナツテ居ル、亞米利加ノ一部ニハドウモ惡イ癖ガアリマシテ、他ノ外國人ヲ有要ノ時ニハ頻リニ利用スル、而シテ一度有要ノ時ガ過ギルト、之ヲ排斥スルト云フヤウナ癖ガアルノデアリマス、現ニ支那人ノ如キモ、大陸鐵道ノ建設ノ時ニハ非常ニ巧ク利用サレテ、而シテ大陸鐵道ガ建設ヲ終ヘルト共ニ、支那人ノ排斥ガ行ハレテ、今日支那人ハ亞米利加ニ一人モ入國スルコトガ出來ナイト云フヤウナ狀態ニアルノデアリマス、是ガ亞米利加ニ往々行ハレル手段デ、今日、日本人ガ其境遇ニ陷ツテ居ル次第デアル、併ナガラ私ハ是ハ亞米利加人多數——亞米利加國民全部ノ意思デハナイ、斯ウ云フコトヲ信ジテ居ル、正義人道ヲ重ンズル所ノ亞米利加人ハ、亞米利加人多數ノ意嚮ハ決シテ日本人排斥ニアルト云フコトハ私ハ信ジナイノデアリマス、是ガ有ツテ動モスレバ日本人ガ酷イ目ニ遭フト云フコトハ、私ノ信ズル所ニ依ルト、日本政府ノ努力ガ足リナイ、日本政府ガ如何ニモ不深切デアリ、且ツ不誠意デアル、其爲ニ亞米利加ニ於ケル所ノ日本人ガ酷イ目ニ遭フヤウニ私ハ考ヘルノデアリマス、現ニ私ノ質問致シマシタ中ニ、國籍法ノ問題ト云フコトガアル、是ハ多年ノ問題デアツテ、亞米利加ノ排日問題ニ避クベカラザル所ノ關係ヲ持ツテ居ル問題デアリマスガ、此國籍法ノ問題ニ致シマシテモ、政府ハ多年研究スル、或ハ調査スルトカ云フコトデ、今日迄研究ハ致シテ居ナイ、又明治四十三年ニ制定セラレマシタル所ノ外人土地法、外國人ニ土地法ヲ許スト云フ法律ノ如キモ、法律ヲ制定サレテカラ十數年間、今日迄其法律ガ未ダ實施セラレテ居ラ

ナイト云フヤウナ有樣デアル

〔松田副議長退席、粕谷議長復席〕

此問題ノ如キモ、現ニ亞米利加ニ於テ日本人ノ土地所有ヲ禁止スルト云フ問題ガ起ツタ時ニ、政府ハ制定致シタノデアリマス、然ルニ其時ヲ過ギルト云フト、殆ド忘レタルガ如ク此問題ヲ打遣ツテシマツテ、今日迄之ヲ實施シナイト云フコトノ怠慢不誠實ナル遣方ヲ致シテ居ルノデアリマス、斯ノ如キコトデ亞米利加ニ於ケル排日問題ヲ解決スルト云フコトハ、到底出來ナイ、既ニ亞米利加ニ居ル日本人ハ、殆ド手モ足モ出ナイヤウナ有樣ニナツテ居リマスルガ、唯、玆ニ唯一ノ且ツ最大ノ權利ガ今日マダ殘ツテ居ルノデアリマス、ウカ〳〵シテ居ルト云フト、私ハ唯一最大ノ權利迄モ失ハナケレバナラヌ情勢ニ立至ルト思フノデアル、現ニ其徵候ハ歷々ト致シテ居ルノデアリマス、今日ハ亞米利加ニ居ル日本人ガ最大ニシテ且ツ唯一ノ權利ヲ擁スル爲ニ、官民共ニ大ナル決心ヲ爲スベキデアルト思フ、政府ハ玆ニ相當ノ手段ヲ取ツテ居ル、私ノ質問ニ對シテ帝國政府ハ直ニ米國政府ニ深甚ナル注意ヲ喚起シ、目下是ニ對スル同政府ヨリノ回付ヲ待チツヽアルト云フコトノ御答辯ヲ爲シテ居ルケレドモ、是ハ日本政府ノ常套手段デ、日本政府ガ深甚ナル注意ヲ喚起シテ、向フガ注意シタ例ガ殆ド無イト謂ウテ宜イト思フノデアリマス、唯、普通ノ手段ヲ以テ米國政府ノ注意ヲ喚起スルト云フヤウナコトデハ、此排日問題ノ解決ハ斷ジテ出來ナイト思フ、此際ハ政府モ國民モ一大決心ヲ以テ此問題ニ對シナケレバ、今日持ツテ居ル所ノ最大ニシテ且ツ唯一ナル權利モ、私ハ失ハレルト思フノデアリマスカラ、政府ニ於テハ須ラク決スル所ガアツテ、大ニ此問題ノ爲ニ御努力アランコトヲ偏ニ希望スルノデアリマス

○三木武吉君　私ハ此場合、總理大臣ノ御出席ヲ求メテ、火保問題ニ關シテ緊急質問ヲ致シタイト存ジマス、適當ナル御處置ヲ願ヒマス

○議長（粕谷義三君）　先刻來、總理大臣ノ出席ヲ要求致シテ居リマスガ、只今マダ貴族院ニ出席中デハナイカト思ヒマス、尙ホ催促ヲ致シテ見マス、其間暫時休憩ヲ致シマス

午後四時五十六分休憩

午後五時十九分開議

○議長（粕谷義三君）　休憩前ニ引續イテ會議ヲ開キマス、日程第六乃至第十二請願特別報告ハ、例ニ依ツテ一括シテ議題ト致シマシテ、委員長ノ報告ヲ求メマス

第六　（特別報告第八號）乳製品輸入稅免除撤廢ノ請願　（委員長報告）

特別報告第八號

意見書

請願文書表第二四號

乳製品輸入稅免除撤廢ノ請願　北海道札幌郡豐平町山本駒吉外二千四百六十七名呈出（紹介議員岡田伊太郎君外五名）

右請願ノ要旨ハ去ル九月十七日勅令第四一七號ヲ以テ生活必需品及建築材料輸入稅免除品目ヲ公布セラレタル結果乳製品ノ如キハ一時ニ輸入品殺到シ震災前一箇年ノ消費量ヲ充タシテ尙餘リアルノ現狀ナルニ免除期間ヲ大正十三年三月マデ繼續セムカ我カ國ノ乳製品業者ハ一大打撃ヲ被ルニ至ルヘク就中北海道農業者ニハ實ニ重大ナル死活問題タリ依テ乳製品輸入稅免除ヲ卽時撤廢セラレタシト謂フニ在リ

衆議院ハ其ノ趣旨ヲ至當ナリト認メ之ヲ採擇スヘキモノト議決セリ依テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及御送付候也

第七　（特別報告第一九號）乳製品輸入稅免除撤廢ノ請願　（委員長報告）

特別報告第十九號

意見書

請願書表第五〇號

乳製品輸入稅免除撤廢ノ請願　東京市京橋區新富町二丁目二番地木村專太郎呈出（紹介議員岡田伊太郎君外二名）

右請願ノ要旨ハ去ル九月十七日勅令第四一七號ヲ以テ生活必需品及建築材料輸入稅免除品目ヲ公布セラレタル結果乳製品ノ如キハ一時ニ輸入品殺到シ震災前一箇年ノ消費量ヲ充タシテ尙餘リアル現狀ナルニ免除期間ヲ大正十三年三月マデ繼續セムカ我カ國ノ乳製品業者ハ一大打撃ヲ被ルニ至ルヘク就中北海道農業者ニハ實ニ重大ナル死活問題タリ依テ乳製品輸入稅免除ヲ卽時撤廢セラレタシト謂フニ在リ

衆議院ハ其ノ趣旨ヲ至當ナリト認メ之ヲ採擇スヘキモノト議決セリ依テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及御送付候也

第八　（特別報告第二〇號）鴛泊漁港修築ノ請願　（委員長報告）

特別報告第二十號

意見書

請願文書表第二五號

鴛泊漁港修築ノ請願　北海道利尻郡鴛泊村公吏高杉寅松外百五十九名呈出（紹介議員東武君外一名）

右請願ノ要旨ハ北海道利尻郡鴛泊村字鴛泊灣ハ古來鰊魚ヲ以テ著名ナル天與ノ港灣ナリト雖現在稚內築港用石材運搬船ノ爲設ケタル一時的防

波木柵アルノミニシテ完全ナル防波堤ナク漁船避難ノ設備亦ナシ依テ速ニ灣内ノ辨天岬ヨリ約百間ノ防波堤ヲ築設シ漁船避難港トシテノ修築ヲ施サレタシト謂フニ在リ

衆議院ハ其趣旨ヲ至當ナリト認メ之ヲ採擇スヘキモノト議決セリ依テ議院法第六十五條ニ依リ別册及御送付候也

第九　（特別報告第二一號）金鵄勳章年金額增加ノ請願　（委員長報告）

特別報告第二十一號

意見書

請願文書表第五五號

金鵄勳章年金額增加ノ請願　香川縣香川郡安原上村甲三百二十七番地藤澤久五郎外七名呈出（紹介議員大森貞資君）

右請願ノ要旨ハ軍人ヲシテ一朝有事ノ場合ニ義勇奉公ノ精神ヲ發揮セシメムカ爲現行金鵄勳章年金令ヲ改正シ其ノ年金額ヲ增加セラレタシト謂フニ在リ

衆議院ハ其ノ趣旨ヲ至當ナリト認メ之ヲ採擇スヘキモノト議決セリ依テ議院法第六十五條ニ依リ別册及御送付候也

第一〇　（特別報告第二二號）東京市魚市場ニ電信取扱郵便局設置ノ請願　（委員長報告）

特別報告第二十二號

意見書

請願文書表第四八號

東京市魚市場ニ電信取扱郵便局設置ノ請願　東京市京橋區南小田原町一丁目河岸三號海産物商森甘四郎外一名呈出（紹介議員菊川惣吉君）

右請願ノ要旨ハ築地海軍造兵廠跡ニ開設セラレタル東京市魚市場ハ通信ノ不便甚大ナリ依テ該市場ニ電信取扱郵便局ヲ設置セラレタシト謂フニ在リ

衆議院ハ其ノ趣旨ヲ至當ナリト認メ之ヲ採擇スヘキモノト議決セリ依テ議院法第六十五條ニ依リ別册及御送付候也

第一一（特別報告第二三號）神戸村ニ無集配郵便局設置ノ請願　（委員長報告）

特別報告第二十三號

意見書

請願文書表第五三號

神戸村ニ無集配郵便局設置ノ請願　三重縣飯南郡神戸村長大西利一郎呈出（紹介議員荻田悦造君）

右請願ノ要旨ハ三重縣飯南郡神戸村ハ近時諸工業ノ勃興ニ伴ヒ人口ノ增加ヲ來シ住民通信上ノ不便ヲ感スルコト甚大ナリ依テ前記神戸村ニ無集配郵便局ヲ設置セラレタシト謂フニ在リ

衆議院ハ其ノ趣旨ヲ至當ナリト認メ之ヲ採擇スヘキモノト議決セリ依テ議院法第六十五條ニ依リ別册及御送付候也

第一二（特別報告第二四號）岩國、德山間鐵道敷設速成ノ請願　（委員長報告）

特別報告第二十四號

意見書

請願文書表第二九號

岩國、德山間鐵道敷設速成ノ請願　山口縣玖珂郡岩國町長森生惟輔外十名呈出（紹介議員吉木陽君）

右請願ノ要旨ハ岩國、德山間ノ鐵道ハ山陽本線局部連絡線路ニシテ既成線ニ比シ距離ヲ短縮シ本線輸送ヲ緩和シ交通ノ敏活ヲ圖ルト共ニ沿道産業ノ促進ヲ期スルモノニシテ豫定線路中最モ重要ナル鐵道ナリ依テ關東大震災ニ依ル政費緊縮ノ影響ヲ蒙ルコトナク起工シ速ニ敷設セラレタシト謂フニ在リ

衆議院ハ其ノ趣旨ヲ至當ナリト認メ之ヲ採擇スヘキモノト議決セリ依テ議院法第六十五條ニ依リ別册及御送付候也

○三木武吉君　總理大臣ガ出席サレマシタカラ……

○議長（粕谷義三君）　今宣告ヲ致シマシタカラ、其方ヲ先ニ致シマス、佐野正雄君ノ報告ヲ求メマス

〔佐野正雄君登壇〕

○佐野正雄君　只今上程セラレマシタル請願七件ハ、請願委員會ニ於キマシテハ愼重ニ審議ヲ遂ゲマシテ、何レモ採擇スルコトニ決シタノデアリマス、之ニテ、本期議會ニ於キマシテ委員會ニ於キマシテ採擇ト決シタルモノガ二十五件、採擇スベキモノニアラズト決シタルモノガ七件政府ニ參考トシテ送付スベキモノト致シタモノガ二十一件、斯ノ如キ結果ヲ呈シタノデアリマス、茲ニ附加シテ御報告ヲ致シテ置キマス

○高見之通君　日程第六以下ノ請願特別報告ハ、之ヲ一括シテ委員長報告通リ採擇アランコトヲ望ミマス

〔「贊成」「贊成」ト呼フ者アリ〕

○議長（粕谷義三君）　高見君ノ動議ニハ御異議ナシト認メマス、仍テ動議ノ如ク採擇スルニ決シマシタ、此際三木武吉君ヨリ火災保險問題ニ關シテ緊急質問ヲ致シタイト云フ要求ガアリマス、之ヲ日程ニ追加シテ許可スルニ御異議アリマセヌカ

〔「異議ナシ」「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○議長（粕谷義三君）　御異議ナシト認メマス、仍

テ之ヲ許可致シマス――三木武吉君

火災保險ニ關スル緊急質問

〔三木武吉君登壇〕

○三木武吉君　私ハ此場合火災保險法案ニ關シマシテ、極ク簡單ニ政府ニ對シテ質問致シテ見タイト存ジマス、爰ニ內閣總理大臣山本伯ハ大震火災ノ結果、關東地方ニ非常ナル慘害ヲ來シ、遂ニ火災保險會社ト罹災家屋ノ所有者、罹災物件ノ所有者トノ間ニ、非常ナル紛爭ヲ生ズルノ虞アル狀態ヲ見ラレマシテ、保險會社ト被保險者トノ間ノ此紛爭ノ解決ハ、須ラク法律ヲ超越シテ德義的ノ解決ヲシナケレバナラヌト云フ旨ノ訓示ヲセラレマシタ、ソレヲ基礎ト致シマシテ、政府ハ今期ノ議會ニ保險會社ニ對スル貸付金ニ關スル法律案、保險會社ニ對スル貸付資金公債法案、及特第二號大正十二年度特別會計歲入歲出豫算追加案是等ノ議案ヲ提出致シマシテ、大震災火災ニ原因シテ生ジマシタル損害ヲ、其被保險者ニ對シテ保險會社ヨリ各〻契約金ノ一割ニ相當スル見舞金ヲ出捐シテ、其急ヲ救ハシムル政策ヲ御執リニナツタノデアリマス、民間ニ此事ガ一タビ傳ハルヤ、保險會社モ、罹災民モ又一般社會ノ人ミモ、其政策ノ善惡ハ兎ニ角トシテ、政府既ニ斯ノ如キ方針ヲ確定セラレ、既ニ議會ニマデモ其案ヲ提議セラレタ以上、必ズヤ其結果ノ見ルベキモノアリト確信シタノデアリマス、此ニ於テ罹災地關係ノ人ミハ、其政府ノ方針ヲ基礎ト致シマシテ、今後ノ處世上或ハ職業復興ノ上ニ於ケル所ノ方針ヲ立テタノデアル、其最モ甚シキニ至リマシテハ、年內ニ保險會社ヨリ一割ノ見舞金ガ得ラレルモノナリトノ前提ノ下ニ、所有スル保險會社ノ保險證券ヲ其權利ト共ニ擔保ニ提供致シマシテ、或ハ七割或ハ八割ノ金錢ノ融通マデモ致シテ居ル者ガ隨分澤山アリマス、又保險會社ノ側ニ於テモ、政府ノ政策ハ議會ノ同志ヲ得テ實行出來ルモノナリト信ジテ、既ニ內々デ拂渡ヲシタモノモアルヤウデゴザイマス、斯ク申ス私ノ如キ者ニ對シテスラモ、斯樣ナル意味ノ下ニ保險會社ヨリ或ル通知ヲ得テ居ルノデアリマス、御目ニ掛ケテモ宜シウゴザイマス、斯ウ云フ事情ニナツテ居リマスニモ拘ラズ、昨日ノ火災保險ノ委員會ニ於テハ、審議ハ之ヲ中止スルト云フ決定ガアリマシテ、今日又此本會議ノ議場ニ於キマシテ、院議ヲ以テ此審議ヲ中止スルト云フコトニナリマシタ、此中止テスルコトニ院議ノ決定セラレタ理由ノ如何ハ、私今玆ニ論ズル必要ハ認メマセヌガ、斯ノ如キ狀態ニ陷リマシタ結果、保險會社モ被保險者モ、及ビ一般ノ民衆モ、非常ナル期待ヲ裏切ラレタ譯ニナツタノデテリマス、私窃ニ思フニ、政府ガ今回執リマシタ處置ガ、甚ダ不合理デアリ、罹災救助ノ爲ニ、不適切ナル政策デアルト云フコトハ、今更ヲ之ヲ論ゼナイデモ、提案ノ當初ニ於テ大體ハ明ニナツテリ居マシタ、併ナガラ一般罹災民トシテハ、縱令其案ガ不合理デアラウガ、不適切デアラウガ、現在言フニ忍ビザルラウガ、不適切デアラウガ、現在言フニ忍ビザル窮境ニ陷ツテ居ルノデアリマス、況ヤ溺レントスル者ハ藁ヲモ摑ムノガ人情、此窮境ニ陷ツテ居ル所ノ罹災民ハ、藁ニモ等シイ此案デモ、之ヲ握ツテ今日ノ窮境ヨリ脫シヤウト云フ望ヲ有チ、其方法ニ向フト云フコトハ、又私ハ無理カラヌ事デアルト斯樣ニ信ジテ居ルノデアリマス、然ルニ前ニモ申シマシタ通リ、事實ハ此期待ヲ裏切ツテ、政府ガ此案ヲ御提出ニナル以前ヨリハ、更ニ一層ノ苦シミヲ吾々罹災民ハ受ケナケレバナラヌコトニナツタ、私ハ是ガ果シテ何人ノ責任デアルカト云フコトヲ考ヘテ見ナケレバナラヌト思フ、人アリ或ハ申シマス、政府ガ折角斯ノ如キ案ヲ具シテ議會ニ問ウタ、然ルニ衆議院ニ於ケル所ノ多數黨デアル政友會ガ、縱令其爲ス所ニ多少ノ道理ガアルニシテモ、所謂此案ノ握潰シテスルト云フコトハ、甚ダ人情ヲ解セナイモノデアル、甚ダ時宜ニ適切ナラザルモノデアルト、斯樣ナル非難ヲ致シマス、私ハ或ハ然ラント思ヒマスルケレドモ、敢テ私ハ政友會ニ對シテ彼此レハ申サナイ、政友會ヲ糺彈スルニハ自カラ途ガアルノデアリマス、又政友會自身モ其非ハ悟ラレテ、他ニ適當ナル方法ヲ講ズルト云フコトヲ言明ナサレテ居ルノデアルカラ、此場合私ハ政友會ヲ彼此レ追窮スルノ必要ハ認メナイ、併シ政友會ガ斯ノ如キ行動ヲ執ルヤウニナツタ其本ヲ探究シテ見ルト云フト、私ハ其處ニ政府ト云フモノヲ見出サナケレバナリマセヌ、私ハ此點ニ付テ政府ニ御所見ヲ承リタイ、政府ハ今日ノ此結果ニ對シテ、玆ニ此結果ニ對スル善後ノ策トシテ、如何ナル御方針ヲ執ラル、御考デアルカ、如何ナル處置ヲ御執リニナル御考デアルカ、新聞紙ノ傳フル所ニ依ルト、此主務大臣デアル所ノ田農商務大臣ハ、既ニ辭表ノ提出ヲセラレタト云フコトデアリマス、私其事實ノ眞ナリヤ否ヤヲ存シマセヌ、併シ私ハ此問題ハ農商務大臣ガ辭職ヲセラレタカラト云ウテ解決ノ出來ルモノデハナイ、又農商務大臣ガ辭職ヲセラレタカラ、吾々百万ノ罹災民ガ救ハレルト云フ譯ノモノデハナイ、私ハ此問題ノ解決ハ、善後ノ處置ヲ適切ニ御執リニナルト云フコトデナケレバナラヌト斯樣ニ考ヘテ居リマス、田農商務大臣ハ昨日、若シ政府ノ此案ガ通過ヲシナイト云フヤウナコトガアツタナラバ、政府ハ此以外ニ適當ナル案ヲ見出スコトガ出來ナイ、是ガ唯一絕對ノモノデアルト云フコトヲ言明セラレタサウデゴザイマス、政府ノ所謂唯一絕對ノ案ト云フモノガ潰レタナラバ、政府ハ最早火災ニ因ツテ窮境ニ陷ツテ居ル我等罹災民ニ對シテ、何等ノ處置ヲ御執リニナラナイノデアルカ、或ハ此善後ノ策

トシテ、相當ノ方法ヲ御講ジニナルノデアルカ、若シ講ゼラルヽトスルナラバ、其時期如何、次ノ通常議會ニ於テデモソレヲ講ゼラレルノデアルカ、人ニ依レバ內閣總理大臣ガ連帶責任デ辭職ヲスレバ宜イデハナイカト云フヤウナコトヲ言フ人モアル、私ハサウ云フコトヲスルノガ善イノカ惡イノカ知ラヌガ、縱令山本伯ノヤウナ方ガ十人二十人辭職セラレテモ、吾々罹災民ハ救ハレルノデナイカラ、私ハ善後ノ策ハ如何ト云フコトヲ此場合ニ明確ニ御答ヲ求メテ置キタイト思ヒマス（拍手）

○議長（粕谷義三君）　山本總理大臣

〔國務大臣伯爵山本權兵衞君登壇〕

○國務大臣（伯爵山本權兵衞君）　只今ノ御質問ニ對シテ御答致シマス、火災問題ハ、政府ニ於キマシテハ震災直後ヨリ研究ニ研究ヲ重ネ、所謂犧牲的精神ノ發揮ヲ進ムルノ意義ニ於テ、長イ間會社ニ對シテ交涉ヲ重ネ來リマシテ、漸ク圓滿ナル解決案ヲ得マシタノデ、議會ニ提案致シマシタノデアリマス、故ニ右提案ガ審査未了ニ終リマシテ、御協贊ヲ得ル能ハザルノ情勢ニ至リマシタルハ、政府トシテ洵ニ遺憾ノ至リニ存ジマス、今後ニ於ケル善後ノ方策ニ付キマシテハ、篤ト調査ヲ遂ゲナケレバナラヌト思ヒマス、仍テ今此處ニ其方策ノ言明ハ致シ兼ネマス（拍手）

○議長（粕谷義三君）　是ニテ會議ハ了リマシタ、諸般ノ報告ガアリマス

〔原田書記官朗讀〕

一議員ヨリ提出セラレタル質問主意書左ノ如シ

新橋停車場復舊ニ關スル質問主意書

提出者　橫山勝太郎君

（以上十二月二十三日提出）

一今二十三日政府ヨリ受領シタル答辯書左ノ如シ

衆議院議員多木久米次郎君提出復興費財源及國債ノ負擔ニ關スル質問ニ對スル答辯書

衆議院議員橫山勝太郎君提出新橋停車場復舊ニ關スル質問ニ對スル答辯書

一今二十三日貴族院ニ於テ本院ノ送付ニ係ル左ノ政府提出案ヲ可決シタル旨同院ヨリ通牒ヲ受領セリ

（第一號）大正十二年度歲入歲出總豫算追加案

（追第一號）豫算外國庫ノ負擔トナルヘキ契約ヲ爲スヲ要スルノ件

（第二號）大正十二年度歲入歲出總豫算追加案

（特第一號）大正十二年度度特別會計歲入歲出豫算追加案

震災ニ因リ租稅ヲ減免セラレタル者ノ法令上ノ納稅資格要件ニ關スル法律案

一今二十三日貴族院ニ於テ本院ノ送付ニ係ル左ノ政府提出案ニ對シ承諾スルコトヲ議決シタル旨同院ヨリ通牒ヲ受領セリ

大正十二年勅令第四百二十三號（承諾ヲ求ムル件）

大正十二年勅令第四百十號（承諾ヲ求ムル件）

大正十二年勅令第四百十一號（承諾ヲ求ムル件）

大正十二年勅令第四百二十四號（承諾ヲ求ムル件）

〔左ノ報告ハ朗讀ヲ經サルモ參照ノ爲茲ニ揭載ス〕

一今二十三日帝都復興計畫法案外二件委員作間耕逸君八田宗吉君有馬秀雄君多木米次郎君中島守利君鈴木隆君辭任ニ付其ノ補闕トシテ石井研二君森恪君竹澤太一君松山常次郎君吉植庄一郎君濱口吉兵衞君ヲ孰レモ議長ニ於テ選定セリ

一參考トシテ政府ニ送付シタル請願書左ノ如シ

町村長及助役選舉ニ關スル請願　一通

火災保險金全額支拂ノ請願　四通

織物消費稅拂戻ノ請願　一通

火災保險金全額支拂ノ請願　七通

娼妓貸座敷營業禁止ノ請願　七通

千葉縣安房郡ニ於ケル縣稅竝戶數割ノ減免義務敎育費ノ國庫負擔及義務敎育設備復舊費補助ノ請願　一通

○議長（粕谷義三君）　諸君、第四十七帝國議會ハ本日ヲ以テ終了致シマシタ、御承知ノ通リ今回ノ議會ハ大震火災善後ノ臨時議會デアリマシテ、其會期ハ延長ト共ニ十三日デアリマス、此間帝都復興計畫法案ヲ始メ、震災ニ關スルモノ、及ビ緊急勅令承諾案等ノ重要議案ガ提出セラレマシタモノガ頗ル多クアリマシタ爲ニ、本會ヲ開クコト九回、部會委員會ヲ開クコト六十四回デアリマス、斯ノ如ク重要案件ノ多クアリマシタニ拘ハラズ、僅ニ十有三日ノ短期間ニ於テ愼重審議、概ネ之ヲ議了致シマシタコトハ、國家ノ爲洵ニ慶賀ニ堪ヘザル次第デアリマス、是レ畢竟諸君御勵精ノ結果デアリマシテ、茲ニ私ハ謹デ諸君ノ連日ノ御勞苦ヲ感謝致シマス

〔拍手起ル〕

○議長（粕谷義三君）　是ニテ散會致シマス

〔拍手起ル〕

午後五時四十二分散會

〔參照〕

本會期ニ於ケル議案ノ總數及結果

豫算案　六件

內

可決シタルモノ　四件

未決ノモノ　二件

承諾ヲ求ムル議案　十三件

內

承諾ヲ與ヘタルモノ　十一件
不承諾ノモノ　一件
政府提出法律案　七件
內
可決シタルモノ　五件
未決ノモノ　二件
議員提出法律案　一件　撤回
上奏案　一件　可決
建議案　十二件
內
可決シタルモノ　二件
併合シタルモノ　三件
未決ノモノ　七件
決議案　三件
內
可決シタルモノ　二件
未決ノモノ　一件
重要動議　三件
內
可決シタルモノ　一件
是認スルニ決シタルモノ　一件
撤回シタルモノ　一件
請願　五十七件
內
採擇スヘキモノト議決シタルモノ　二十五件
政府ニ參考トシテ送付シタルモノ　二十一件
不採擇ト決シタルモノ　七件
未了ノモノ　四件
質問　十二件
書面ニテ答辯アリタルモノ　十二件
緊急質問　一件
口頭ニテ答辯アリタルモノ　一件

復興費財源及國債ノ負擔ニ關スル質問主意書
右成規ニ據リ提出候也
大正十二年十二月二十日
提出者　多木久米次郎
贊成者　天春　文衛
外三十七名
復興費財源及國債ノ費擔ニ關スル質問主意書
一今回ノ震災復興費財源ハ大部分國債ヲ起シテ之ニ充當セラルルコトト思惟ス之ヲ既存ノ國債ト加フレハ其ノ額幾何ニ上リ之カ償還ハ如何ナル方法ニ依ラルル方針ナリヤ
二復興國債ヲ起スニ方リ之ヲ內國債ニ依ルモ將又外國債ニ依ルモ其ノ調達ハ或ハ成功シ得ヘシト雖外國債ニ依ル結果ハ利拂額ヲ增大シテ益財政難ヲ誘致シ遂ニ國庫ノ破產ニ陷ル憂ナキヤ
三現內閣ノ標榜セラレツツアル行政財政ノ整理緊縮及第四十五回議會以來衆議院ノ要望セル陸海軍備ノ縮少整理ニ對シテハ如何ナル程度迄其ノ實現ヲ期セラレツツアリヤ之ト復興費トノ關係如何
四政府ハ我カ國民就中地方農民ノ國費及地方費負擔力ニ對シテ如何ナル觀察ヲ有セラルルヤ特ニ既存ノ國債ヲ初今回起債セラルル復興債トノ合計ニ對シテ能ク之ヲ負擔スルノ力アリト認メラルルヤ
五關稅ノ減免海外諸物資ノ輸入等ニ因リ農村ノ疲弊衰頽益甚シカラムトスル今日政府ハ一部地方ノ復興ニ銳意セラルルノ餘リ地方ノ振興ヲ疎視セラルルノ嫌ナキヤ
右及質問候也
大正十二年十二月二十三日
內閣總理大臣　伯爵山本權兵衞

衆議院議長粕谷義三殿

衆議院議員多木久米次郎君提出復興財源及國債ノ負擔ニ關スル質問ニ對シ別紙答辯書差進候
〔別紙〕
衆議院議員多木久米次郎君提出復興費財源及國債ノ負擔ニ關スル質問ニ對スル答辯書
一一般會計負擔既存ノ國債總數ニ今回ノ復興費財源公債ヲ合計セハ其ノ總額ハ左ノ如シ
大正十二年十一月末現在
一、四三八、六一二、九四八
復興事業費公債　四六八、五〇〇、〇〇〇
計　一、九〇七、一二二、九四八
尙右償還ニ付テハ國債整理基金特別會計法第二條ニ依リ漸次償還スルモノトス
二復興事業費國債ノ一部ヲ外國債ニ依ルモ之カ實行上相當ノ注意ヲ加フレハ敢テ之カ爲特ニ財政難ヲ誘致スルノ憂ナシト認ム
三今後ノ行政財政ノ整理ニ就キテハ追テ調査ノ上其ノ方針ヲ決定スル豫定ナリ又第四十五回帝國議會以來懸案ノ海軍軍備ノ制限竝陸軍ノ整理ハ大正十二年度ヨリ之ヲ實施シ既ニ其ノ大部分ハ完了シ爾後引キ續キ既定ノ計畫ヲ實行中ナリ又復興費ト直接關係ナシ
四國民就中地方農民ノ負擔ニ付テハ政府ハ決シテ之ヲ輕易ナリトハ思惟セス然レトモ國債費ノ負擔ニ堪ヘサルモノトハ認メス
五政府ハ罹災地方ノ復興ニ付キ必要已ムヲ得サルノ程度ニ於テ豫算セルモ之ニ偏シテ他ノ一般地方ノ振興ヲ疎視スルコトナシ
右及答辯候也
大正十二年十二月二十三日
內閣總理大臣　伯爵山本權兵衞
海軍大臣　財部　彪
陸軍大臣　男爵田中義一
農商務大臣　男爵田　健治郎
大藏大臣　井上準之助

新橋停車場復舊ニ關スル質問主意書

右成規ニ據リ提出候也

大正十二年十二月二十三日

提出者　横山勝太郎君

贊成者　三木　武吉君

外三十一名

新橋停車場復舊ニ關スル質問主意書

政府ハ今回ノ震災ニ際シ新橋停車場ノ燒毀ニ罹リタル結果トシテ之ヲ單ニ電車驛トシ汽車ハ全部之ヲ停車セシメサル方針ナリト謂フ其ノ理由如何

二新橋驛ヲ單ニ電車驛トスルハ五十年來ノ歷史ヲ無視スルノミナラス帝都南部ノ經濟ト多數旅客ノ利害ニ重大ナル關係ヲ有スルヲ以テ速ニ復舊セシムルノ必要アリト思料ス政府ノ所見如何

右及質問候也

大正十二年十二月二十三日

内閣總理大臣　伯爵山本權兵衛

衆議院議長柏谷義三殿

衆議院議員横山勝太郎君提出新橋停車場復舊ニ關スル質問ニ對シ別紙答辯書差進候

〔別紙〕

衆議院議員横山勝太郎君提出質問ニ對スル答辯書

新橋驛ハ震災後列車運轉ノ整理及驛設備ノ大破損ノ爲蒸汽列車ヲ停止セシメサルモノナリ

右及答辯候也

大正十二年十二月二十三日

鐵道大臣　山之内一次